

ごん が い せき ぐん
恒 川 遺 跡 群

あしやしき やくしがいと あみだがいとちせき
(新屋敷・薬師垣外・阿弥陀垣外地籍)

— 遺 構 編 —

2003年3月

長野県飯田市教育委員

ごん が い せき ぐん
恒 川 遺 跡 群

あらやしき やくしがいと あみだがいとちせき
(新屋敷・薬師垣外・阿弥陀垣外地籍)

— 遺 構 編 —

2003年3月

長野県飯田市教育委員会

序

飯田市は豊かな自然に恵まれ、古来より交通の要衝に位置してきました。そのため、当市内には建造物・美術工芸品といった文化財のほか、先人たちの足跡を生々しく伝える埋蔵文化財など、貴重なものがたくさん伝えられています。これら文化財は、先人の知恵や思いを知ることのできる大切な宝であり、すべての人々の共有財産です。私たちは、これらができる限り、現状の姿で後世に伝えられるよう努めていかなければなりません。

恒川遺跡群は、一般国道153号座光寺バイパス工事に先立つ発掘調査において、他の集落址では類を見ないほど大掛かりな掘立柱建物址が多数確認されるとともに、多数の硯片や和同開珎銀銭・富寿神宝など特殊な遺物が出土し、古代伊那郡衙の所在地として飯田市を代表する遺跡の一つとなっております。恒川遺跡群は遺構の残りが良く、郡衙研究の上で全国的にも貴重な遺跡といわれています。これを受けて、郡衙の実態解明のための重要遺跡範囲確認調査を昭和57年度以降、国・県の補助事業として実施するとともに、バイパス開通以後、沿線の開発が進むなかで、地権者や地元の皆様の大なるご協力を得まして、随時発掘調査を実施してまいりました。現在、長年にわたって蓄積されてきた調査の成果をあらためて検討する時期にきております。

一方、農業後継者不足や住宅事情の変化から農業用地の宅地化が進んでおり、市内各遺跡を取り巻く環境の変化は深刻です。恒川遺跡群においても例外ではありません。国道バイパス沿線には店舗が進出し、国道から外れた農地では宅地化が進むなど遺跡の景観は大きく変わろうとしております。しかし、誰もが安全でより便利な暮らしを求める権利を有しており、開発に際して私たちはその対応にいつも苦慮いたしております。

幸い今日、地域による社会教育事業の取り組みの中で発掘調査により得られた資料が一般に公開される機会も増え、埋蔵文化財に対する関心や理解が深まってきております。そこで、私たちは恒川遺跡群を広く市民学習の教材として利用していただくために、早急に政庁の位置を確認して古代伊那郡衙の様相を明らかにするとともに、その保護策について地域と一体となった取り組みを進めてまいりたいと思っております。

最後になりましたが、文化財保護に深いご理解をいただき、ご協力いただきました地権者をはじめとする関係者の皆様に深く感謝し、刊行の辞とさせていただきます。

平成15年3月

長野県飯田市教育委員会

教育長 富田 泰 啓

例 言

1. 本書は、国・県の補助を受け、恒川遺跡群内において昭和57年度から平成13年度まで実施した古代伊那郡衙址の内容解明とその保護を進めるための範囲確認調査及び個人住宅建設等のための発掘調査・試掘調査の報告書である。
2. 調査は、飯田市教育委員会の直営事業として、地権者をはじめ地元座光寺地区ほか多くの方々の協力を得て実施した。
3. 本書は、昭和57年度から平成13年度までの調査のうち、新屋敷・薬師垣外・阿弥陀垣外地籍の遺構についての報告書である。
4. 調査実施にあたっての調査区グリットは、昭和57年度から平成4年度までは調査ごとに任意に設定したグリットを用いているが、平成5年度以降は飯田市埋蔵文化財基準メッシュ図に基づいて行っている。そのため、グリット設定が異なる調査区間での図面の付け合せは、方位及び重複する遺構を基に基準メッシュ図に置き換えている。遺構の記述における検出位置は基準メッシュ図によるグリットである。

なお、基準メッシュ図に基づく基準点測量は株式会社ジャステックに委託した。
5. 発掘作業及び整理作業にあたり、作業の簡略化を図るために略号を用いている。恒川遺跡群の場合、遺跡が広範囲にわたるため、地籍ごとの略号に地番を付し、遺構の番号は各地籍ごとに連番を付している。本書においては、新屋敷地籍はARY、薬師垣外地籍はYKS、阿弥陀垣外地籍はAMDとなる。
6. 本書では、遺構には以下の略号(竪穴住居址—SB、掘立柱建物址—ST、溝址—SD、土坑—SK、集石—SI、欄列—SA)を使用している。
7. 本書の記述は地籍ごとに行い、遺構図版及び写真図版は巻末に一括した。また、地籍ごとの全体図は附図としている。
8. 本書の内容は、報告書として報告されていないものについては、全体図及び各遺構の記述・実測図・写真を載せ、報告書刊行済のものについては、全体図及び各遺構の記述のみである。

なお、阿弥陀垣外地籍については、遺構検出のみであることから、全体図に一括して載せてある。
9. 土層の色調については、『新版標準土色帖』1998年度版の表示に基づいて示した。
10. 本書の遺構図の中に記した数字は、遺構については検出面から、住居址内については床面からの深さ(単位cm)を示す。遺構図のアミ掛は焼土の範囲を示す。
11. 本書に関わる図面の整理は、調査員・整理作業員の協力により、伊藤尚志・澁谷恵美子が行った。
12. 本書の執筆は、佐々木嘉和・伊藤・澁谷が行い、伊藤・澁谷が編集した。全体の総括を小林正春が行った。
13. 本書に関連した出土遺物及び図面写真類は飯田市教育委員会が管理し、飯田市考古資料館に保管している。

目 次

序		⑧ 方形周溝墓 (SM)	38
例 言		⑨ 溝址 (SD)・溝状址	39
目 次		2) 葉師垣外地籍 (YKS)	43
第I章 経 過		① 竪穴住居址 (SB)	43
第1節 調査に至るまでの経過	1	② 掘立柱建物址 (ST)	52
第2節 調査の経過	1	③ 槽列 (SA)	52
第3節 調査組織	5	④ 土坑 (SK)	53
第II章 遺跡の環境		⑤ 集石 (SI)・集石土坑	54
第1節 自然環境	7	⑥ 小竪穴	54
第2節 歴史環境	8	⑦ 方形周溝墓 (SM)	55
第III章 調査結果		⑧ 溝址 (SD)	55
第1節 基本層序	10	⑨ 不明 (SX)	56
第2節 遺 構	10	3) 阿弥陀垣外地籍 (AMD)	57
1) 新屋敷地籍 (ARY)	10	① 竪穴住居址 (SB)	57
① 竪穴住居址 (SB)	10	② 掘立柱建物址 (ST)	63
② 掘立柱建物址 (ST)	35	③ 火葬墓	63
③ 槽列 (SA)・柱列址	36	④ 集石 (SI)	63
④ 土坑 (SK)	37	⑤ 小竪穴	63
⑤ 火葬墓	37	⑥ 方形周溝墓 (SM)	63
⑥ 集石 (SI)	38	⑦ 溝址 (SD)	64
⑦ 小竪穴	38	抄 録	163

附 図

附図1 新屋敷・阿弥陀垣外地籍調査位置全体図

附図2 葉師垣外地籍調査位置全体図

挿図目次

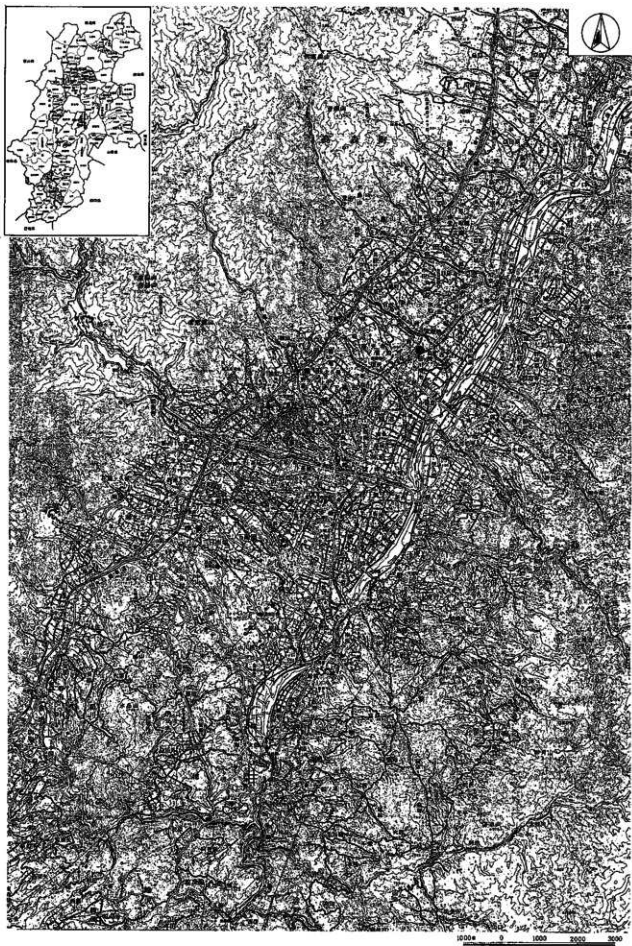
挿図1 恒川遺跡群位置図		挿図4 恒川遺跡群基本層序	10
挿図2 恒川遺跡群地籍図	3	新屋敷地籍 (ARY)	
挿図3 ARY・YKS・AMD調査位置図	4	第1図 SB61~64・168	66
		第2図 SB169・170	67

第3図	S B171・172・180・ ST23・62・65	68	第25図	S T16~18	91
第4図	S T66・S A01・S K24~28	69	第26図	S T19~21	92
第5図	S K29・ 小竪穴14~16・S T11~13	70	第27図	S T22・23	93
第6図	S D09・27~30・42	71	第28図	S K01~04・06・07	94
第7図	S D08・09・34・57・58	72	第29図	S K08~10・14~18	95
第8図	S D03・31~33・48~52	73	第30図	S K19・20・23~32	96
第9図	S D37	74	第31図	S K33~38・41・42	97
薬師塚外地籍 (YKS)			第32図	S K39・40・43	98
第10図	S B01~03	76	第33図	S K44・45・47	99
第11図	S B04~07	77	第34図	S I 01・04~10	100
第12図	S B08~10・12	78	第35図	S D01~05・07	101
第13図	S B15~17	79	第36図	S D10	102
第14図	S B21~25	80	第37図	S D10遺物分布図	103
第15図	S B26~28・31~33	81	第38図	S D11~13	104
第16図	S B34~38・45・46	82	第39図	S D15・16・22・30	105
第17図	S B47~52	83	第40図	S D15遺物(瓦)分布図	106
第18図	S B53・56~60	84	第41図	S D17・20・21・24・32	107
第19図	S B62・64・65・68	85	第42図	S D34	108
第20図	S T01・24	86	第43図	S D35・36・40~42	109
第21図	S T02・03	87	第44図	S M05・06・08	110
第22図	S T04~06	88	第45図	S M07	111
第23図	S T07~09	89	第46図	S A01・S X01・集石土坑・ 小竪穴1・2・S B30・S T14	112
第24図	S T10~13	90	第47図	炭化米分布図・石配置図	113

写真図版目次

図版1	恒川遺跡群	117	図版9	Y K S4687・Y K S4733	125
図版2	A R Y4762・A R Y4946	118	図版10	Y K S4746-1・Y K S4745-4	126
図版3	S B61・62・64・168	119	図版11	Y K S4693-1・Y K S4755	127
図版4	S B169・同カマド・170	120	図版12	S B01・02・同炉	128
図版5	S B171・172・180	121	図版13	S B04・05・08	129
図版6	S T23・62・65	122	図版14	S B08・同カマド・09	130
図版7	S K28・29・ 小竪穴14・16・S I11・13	123	図版15	S B10・12・同カマド	131
図版8	S D09	124	図版16	S B15・同カマド・16	132
			図版17	S B17カマド・21・22	133

図版18	S B23~25	134	図版34	S B64・S T18~20・ 22・23・S K44	150
図版19	S B33・35・36	135	図版35	S K01~04・07・09・14	151
図版20	S B37・同カマド・45	136	図版36	S K15・16・23・33~37	152
図版21	S B46・47	137	図版37	S K38~42・44・45	153
図版22	S B49・同カマド・51	138	図版38	S I01・04~10	154
図版23	S B52・53・56	139	図版39	Fトレンチ(S D03・07)・Fトレンチ (S B04・05)・Kトレンチ(S D01~04)・ Aトレンチ(S B02・S D05・07・S I 01)	155
図版24	S B57・62・68	140	図版40	S D10・15	156
図版25	S T01・02・24	141	図版41	S D15・同瓦出土状況	157
図版26	S T03	142	図版42	S D16・17・20	158
図版27	S T05	143	図版43	S D21・24・32	159
図版28	S T05・06	144	図版44	S D33・34・40	160
図版29	S T07	145	図版45	S M05・07・同埋葬施設	161
図版30	S T07~09	146			
図版31	S T10・11礎石	147			
図版32	S T11・12	148			
図版33	S T13・16・17	149			



挿圖1 恒川遺跡群位置図

第I章 経 過

第1節 調査に至るまでの経過

恒川遺跡群では、昭和52から57年度にかけて実施された一般国道153号座光寺バイパス建設に先立つ緊急発掘調査により、古代伊那郡衙址と位置づけられて以来、昭和57年度から文化庁・長野県の補助を受け、伊那郡衙としての実態把握のため、範囲確認調査を継続的に実施している。特に、平成6・7年度に薬師垣外地籍（YKS4754・4755）において正倉の一部とみられる建物址群が確認されたことで、郡衙としての様相が明らかになりつつある。また、平成4・11年度の2回にわたって実施された「恒川遺跡群検討会」において、現在位置を特定できていない政庁については正倉等との位置関係から新屋敷地籍内北側の一画が想定され、また同地籍の平成3年度緊急調査地点（ARY4820）は、遺構の状況から「館」にあたるもの推定がなされている。しかし、それ以外の場所についても、まだなお検討の余地があり、これまでの調査の報告書の作成と再検討が求められているところである。

現在のところ、郡衙としての実態解明のための調査方針は以下のとおりである。

- ① 政庁の位置特定
- ② 正倉域の範囲特定
- ③ 郡衙を区画するとみられる溝の追跡
- ④ これまでの調査成果の報告書作成により、遺跡内各所の様相を把握し、郡衙中枢部及び関連施設の所在を求める。

第2節 調査の経過（挿図2・3）

恒川遺跡群における新屋敷地籍（ARY）・薬師垣外地籍（YKS）・阿弥陀垣外地籍（AMD）の位置と調査経過は以下のとおりである。なお、位置図Noは挿図3に対応している。

位置図No	調査年度	調査地点	調査原因
⑧	昭和52～57年度	ARY	緊急調査（一部報告済）
①	昭和57年度	ARY4767-8	範囲確認調査
③	昭和57年度	ARY4824-2	範囲確認調査
⑨	昭和57年度	ARY4833	範囲確認調査
⑩	昭和57年度	ARY4838-1	範囲確認調査
⑭	昭和63年度	ARY4742	緊急調査（報告済）
⑫	平成元年度	ARY4737	緊急調査（報告済）
⑦	平成3年度	ARY4820	緊急調査（報告済）
⑪	平成6年度	ARY4942	緊急調査

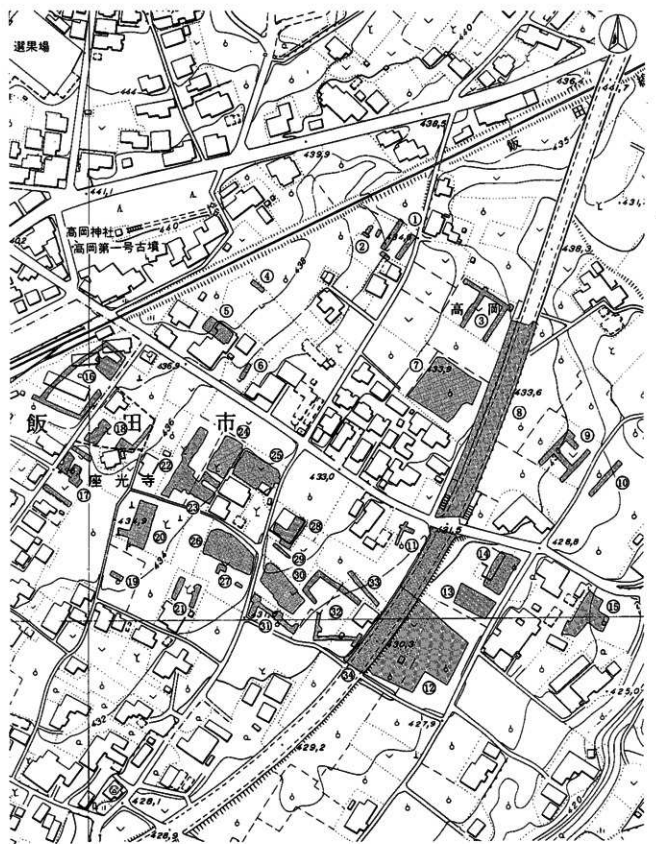
⑮	平成6年度	ARY4946	緊急調査
⑬・⑭	平成8年度	ARY4741・4742	緊急調査（報告済）
③	平成9年度	ARY4824-2	緊急調査
⑥	平成10年度	ARY4764-7	緊急試掘調査
②	平成10年度	ARY4767-7	緊急試掘調査
④	平成10年度	ARY4764-1	緊急試掘調査
⑤	平成11年度	ARY4762	範囲確認調査
⑪	昭和58年度	YKS4674-1	範囲確認調査
⑪	昭和58年度	YKS4699-3	範囲確認調査
⑮	昭和60年度	YKS4753-1	範囲確認調査
⑳	昭和62年度	YKS4687	範囲確認調査
㉔	平成5年度	YKS4746-1	緊急調査
⑲	平成6年度	YKS4684-1	範囲確認調査
㉓	平成6年度	YKS4754	範囲確認調査
⑲	平成7年度	YKS3450-1	範囲確認調査
㉒	平成7年度	YKS4755	範囲確認調査
⑯	平成8年度	YKS3454-5	範囲確認調査
㉑	平成8年度	YKS4758	範囲確認調査
㉑	平成9年度	YKS4733	範囲確認調査
㉕	平成10年度	YKS4753-1	範囲確認調査
㉑	平成11年度	YKS4700-1	範囲確認調査
㉑	平成11年度	YKS4694	範囲確認調査
㉒	平成12年度	YKS4755	範囲確認調査
㉕	平成13年度	YKS4693-1	範囲確認調査
㉓	平成13年度	YKS4745-4	試掘確認調査
㉑	昭和52～57年度	AMD	緊急調査（一部報告済）
㉓	昭和60年度	AMD4742-5	範囲確認調査
㉑	平成8年度	AMD4700-3	緊急調査

また、恒川遺跡群についての概要報告書・報告書は以下のとおりである。

- 「恒川遺跡群 昭和57年度範囲確認調査概報」（1983）
- 「恒川遺跡群 昭和58年度範囲確認調査概報」（1984）
- 「恒川遺跡群 昭和59年度範囲確認調査概報」（1985）
- 「恒川遺跡群——一般国道153号座光寺バイパス用地内埋蔵文化財発掘調査報告——」（1986）
- 「恒川遺跡群 昭和60年度範囲確認調査概報」（1986）
- 「恒川遺跡群 昭和61年度範囲確認調査概報」（1987）
- 「恒川遺跡群 昭和62年度範囲確認調査概報」（1988）
- 「恒川遺跡群 《田中・倉垣外地籍》」（1988）
- 「恒川遺跡群 昭和63年度範囲確認調査概報」（1989）



插图2 恒川遺跡群地籍図



- ① ARY 4767-8 ② ARY 4767-7 ③ ARY 4824-2 ④ ARY 4764-1 ⑤ ARY 4762 ⑥ ARY 4764-7 ⑦ ARY 4820
 ⑧ ARY 153 ㎡² x ⑨ ARY 4833 ⑩ ARY 4838-1 ⑪ ARY 4942 ⑫ ARY 4737 ⑬ ARY 4741 ⑭ ARY 4742
 ⑮ ARY 4946 ⑯ YKS 3454-5 ⑰ YKS 4674-1 ⑱ YKS 3450-1 ⑲ YKS 4684-1 ⑳ YKS 4687 ㉑ YKS 4699-3
 ㉒ YKS 4755 ㉓ YKS 4754 ㉔ YKS 4758 ㉕ YKS 4753-1 ㉖ YKS 4693-1 ㉗ YKS 4694 ㉘ YKS 4746-1
 ㉙ YKS 4745-4 ㉚ YKS 4733 ㉛ YKS 4700-1 ㉜ AMD 4700-3 ㉝ AMD 4742-5 ㉞ AMD 153 ㎡² x

125m

挿図3 ARY・YKS・AMD調査位置図

- 「恒川遺跡群 平成元年度範囲確認調査概報」(1990)
- 「恒川遺跡群 平成元年度緊急調査概報」(1990)
- 「恒川遺跡群 新屋敷遺跡」(1991)
- 「恒川遺跡群 田中・倉垣外地籍」(1991)
- 「恒川遺跡群 平成2年度範囲確認調査概報」(1991)
- 「恒川遺跡群 新屋敷遺跡」(1993)
- 「恒川遺跡群 恒川A地籍」(1993)
- 「富の平遺跡・富士塚遺跡・恒川遺跡群(薬師垣外遺跡)・恒川遺跡群(恒川B地籍)ほか 平成5年度市内緊急発掘調査および試掘調査」(1994)
- 「恒川遺跡群 平成6年度範囲確認調査概報」(1995)
- 「中村中平遺跡・恒川遺跡群(新屋敷遺跡)・円通寺南遺跡 平成6年度市内緊急発掘調査概要報告書」(1995)
- 「恒川遺跡群 平成7年度範囲確認調査概報」(1996)
- 「恒川遺跡群 平成8年度範囲確認調査概報」(1997)
- 「恒川遺跡群 新屋敷遺跡」(1998)
- 「恒川遺跡群 平成9年度範囲確認調査概報」(1998)
- 「溝口の塚古墳・恒川遺跡群倉垣外遺跡・市内遺跡 平成9年度市内遺跡緊急調査概報」(1998)
- 「恒川遺跡群薬師垣外遺跡・宮垣外遺跡他市内遺跡 平成10年度範囲確認調査概報」(1999)
- 「恒川遺跡群他市内遺跡 平成11年度市内遺跡緊急調査概要報告書」(2000)
- 「恒川遺跡群他市内遺跡 平成12年度範囲確認調査概報」(2001)
- 「恒川遺跡群他市内遺跡 平成13年度範囲確認調査概報」(2002)

第3節 調査組織

主管課

- 飯田市教育委員会社会教育課文化係(昭和57年度～平成8年6月)
- 博物館課埋蔵文化財係(平成8年7月～平成12年度)
- 生涯学習課文化財保護係(平成13年度～)

平成14年度(報告書刊行時)

調査主体者

- | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| 教 育 長 | 富田 泰啓 | | | | | |
| 総 括 | 小林 正春 | | | | | |
| 調査担当者 | 佐々木嘉和 | 馬場 保之 | 瀬谷恵美子 | 吉川 金利 | 伊藤 尚志 | |
| | 坂井 勇雄 | 羽生 俊郎 | | | | |
| 作 業 員 | 新井ゆり子 | 池田 幸子 | 伊東 裕子 | 金井 照子 | 木下 早苗 | |

木下 玲子	小池千津子	小平まなみ	小林 千枝	齊藤 徳子
佐々木真奈美	佐藤知代子	関島真由美	高木 純子	竹本 常子
橋 千賀子	田中 薫	筒井千恵子	中田 恵	中平けい子
中村地香子	林 勢紀子	林 ひとみ	橋本 宣子	平栗 陽子
福沢 育子	牧内喜久子	松下 博子	松本 恭子	宮内真理子
森藤美知子	森山 律子	吉川 悦子	吉川紀美子	

指 導

文化庁

独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所

長野県教育委員会文化財・生涯学習課

事 務 局

飯田市教育委員会

教 育 次 長 久保田裕久

生涯学習課長 中島 修

“ 文化財保護係長 小林 正春

“ 文化財保護係 馬場 保之 澁谷恵美子 吉川 金利 伊藤 尚志

坂井 勇雄 羽生 俊郎

学校教育課長 伊藤 昌治

“ 総務係長 高田 清

総 務 係 宮田 和久

第Ⅱ章 遺跡の環境

第1節 自然環境

長野県飯田市は、県南部を南北に並走する伊那山脈と木曾山脈とに挟まれた伊那谷の南端に位置し、天竜川はその中央部を南流する。

伊那谷の地形は、山脈の形成に関わる断層地塊運動に伴う盆地と大きな段丘崖とによって構成された複雑な段丘地形であり、さらに天竜川の浸食によって形成された河岸段丘とによって特徴づけられている。この段丘は、『下伊那の地質解説』によると火山灰土の堆積を基準として高位面・高位段丘・中位段丘・低位段丘Ⅰ・低位段丘Ⅱの5段階に編年されている。

恒川遺跡群がある飯田市座光寺地区は天竜川右岸にあり、市街地の北東4km、飯田市の北端部に位置している。南は飯田市上郷地区となり、北は下伊那郡高森町、東は天竜川を挟んで同郡喬木村と境を接する。山間部を除いた地形は、南北にのびる断層によって形成される段丘崖を境として、俗に上段とと呼ばれる洪積層の標高470m～600m前後の中位段丘及び低位段丘Ⅰと下段と呼ばれる沖積層の低位段丘Ⅱとに大別される。

上段は、木曾山脈の山裾部から大規模な扇状地が発達し、扇端から段丘縁辺にかけては小河川の開折・湧水等微地形の変化が著しい。特に地区を区画する北側の南大島川、南側の土曾川・栃ヶ洞川により扇状地が形成されるとともに、開折谷の浸食は著しい。この一帯は主要な果樹園地帯となっているが、中央自動車道・県道バイパスが南北に走り、宅地化も進んでいる。

下段は、数段の小段丘からなり、南側は比較的段丘面がよく残る。これに対して北側は、南大島川の押し出しにより段丘崖が不明瞭になっている。段丘崖直下に連続して存在する湧水が、湿地帯を形成しており、この一帯が恒川遺跡群で確認される集落の主たる生産域となっていたとみられる。また、低位段丘Ⅱの先端は、南大島川と土曾川の押し出しによる台地であり、天竜川の氾濫原に面する自然堤防状になっており、古代においてはこの氾濫原を生産域とする集落が形成されたと推測できる。低位段丘Ⅱは、天竜川の氾濫原に面した410m前後の南条面と、南北に長く地区内の北側では南大島川の上流へと遡る別府面、そしてその上の標高430～440mの飯沼面とに分けられる。この一帯は古くからこの地区の中心地となっており、近年の座光寺バイパス開通により、沿線に大型店舗が進出している。

恒川遺跡群は座光寺地区下段の低位段丘面Ⅱ飯沼面と別府面に立地する。遺跡群の範囲は座光寺地区下段のほぼ全域を占め、微地形では変化に富むものの全体的には標高430m前後で北西から南東にむかって緩やかに傾斜する比較的平坦な地形をなしている。遺跡群の中央付近には恒川清水といわれる湧水池もあり、利水的にも良好な場所といえる。

第2節 歴史環境

座光寺地区は、埋蔵文化財包蔵地が濃密に分布している。前述の自然環境で概観した地形的特徴が当該地区の遺跡立地に大きく関わっており、上段と下段で遺跡の分布や性格が異なる。また、発掘調査された遺跡が多く、全時代にわたって具体的な様相を描くことができる。上段には縄文時代から弥生時代にかけての遺跡が多く、特に山麓部には縄文時代の遺跡が集中し、鳥居龍蔵の調査で知られた大門原遺跡等、また、扇端から上段の段丘端部にかけては弥生時代後期の標式遺跡である座光寺原・中島遺跡がある。下段には縄文時代から近世にかけての遺跡が複合しており、時代ごとに立地が若干異なる。

旧石器時代の遺跡は上段においては確認されていないが、下段では終末から縄文時代草創期にかけての遺跡として、新井原・石行遺跡で舌尖頭器が出土している。

縄文時代には、上段では早期の遺跡として、押型文土器が出土した宮崎A遺跡・米の原遺跡・大門原遺跡がある。中期になると多くの遺跡が知られているが、発掘調査例は多くはない。中期初頭の竪穴住居址と良好な土器群が出土した大久保遺跡や扇状地扇央部分に立地し、中期中葉から後葉の大集落とみられる大門原遺跡のほか、中期後葉では、宮崎B遺跡・座光寺原遺跡・宮崎南原遺跡がある。後・晩期は断片的な資料だが、後期前葉の注口土器等が出土した大笹遺跡がある。また、南大島川沿いにある大井遺跡では詳細時期不明であるが3基の集石が調査されており、川に面した臨時的な調理場と考えられている。また、南大島川の浸食により形成された谷に面した段丘上にもいくつかの遺跡が存在する。中期以外は明確ではないが、美女遺跡では断片的ではあるが草創期の遺構・遺物が確認されているほか、早期後葉から中期初頭まで断続的に集落が営まれており、早期後葉～前期初頭の良好な土器資料が得られている。特に早期では立野式期の集落が調査されており、立野式土器の成立過程の解明と当地方における縄文社会確立期の姿を明らかにする上で重要な遺跡であるといえる。これ以外では、半の木遺跡で早期の断片的な資料が得られている。晩期終末には、美女遺跡では貯蔵穴群が、半の木遺跡では川に面した低地に水場遺構の存在が推定される。一方、下段では、恒川遺跡群で早期・前期の断片的な資料がある。中期では新井原・石行遺跡で中期後葉の大規模集落の一部が調査され、低位段丘における概期の大規模集落の存在が目される。後期から晩期前半にかけての様相は明らかでない。晩期終末では、新井原・石行遺跡で竪穴住居址と土器群が確認されている。

弥生時代では、上段においてはこれまでに中期の遺跡はほとんど知られていない。後期になると遺跡数が急増し、高燥な台地上へ集落展開する。人口増と生産手段の発達、畑作と稲作による複合農業を生産基盤としたことが背景として考えられる。後期前半では概期の標式遺跡である座光寺原遺跡や大門原B遺跡、後半になると中島遺跡・宮崎A遺跡等の調査例がある。中島遺跡は近年の調査で大規模な集落であることが改めて確認された。下段では、中期前半は断片的な資料があるものの、これまでに遺構は認められていない。後半では、恒川遺跡群で40軒以上の竪穴住居址が確認されている。後期前半は遺構の分布が稀薄であり、居住空間が限定されていた可能性が指摘されている。後半になると恒川遺跡群のほぼ中心部に位置する田中・倉垣外地籍で密な分布がみられる。

当該地区の古墳の数は、竜丘・松尾地区に次いで多い。古墳時代では、上段においては断片的な資料が得られているのみであり、古墳の数も下段に比べると少ない。しかし、段丘端部には前方後円墳の北本城古墳や未調査ではあるが浅間塚古墳がある。前者は当地方における初期横穴式石室を有し、後者は時

期的に古い可能性がある。また、北本城古墳と同種の石室を有し、銀製垂飾付耳飾を出土した畦地1号古墳など円墳群が北側に集中する。下段では、前期には恒川遺跡群において前時代から続く集落展開がみられる。また、半の木道跡で前期の住居址が確認されている。恒川遺跡群では中・後期になると分布域も拡大するが、後期末には新屋敷・恒川B地籍など北側に分布が偏ることから、この時期の集落のあり方は必ずしも一様ではなく、終末期に至って何らかの政治的な規制が加わった可能性が指摘されている。下段においても北側に集中し、集落・生産域と隔絶された立地となる。前期古墳は未確認であるが、中期になると新井原・高岡古墳群において調査例がある。帆立貝形古墳の新井原12号古墳に近接する4号土壇から馬具を装着した馬歯骨が出土し、また新井原2号古墳でも3基の馬の墓が確認されるなど、馬とのかかわりが強い集団の存在が明らかになってきている。後期になると当地方でも有数の前方後円墳である高岡1号古墳がある。北本城古墳や畦地1号古墳と同様の横穴式石室を有する。円墳では壘丈藪3号古墳・ナギジリ1号古墳等が調査されているほか、石塚1・2号古墳など、段丘崖下の傾斜地や土曾川・南大島川の支流の中流域、河川に面した傾斜地に小規模単位の円墳群がみられる。

奈良・平安時代は、上段では断片的な資料が得られているのみであり、現状では古墳時代以降は散在的に小規模な集落があったとみられる。下段では、恒川遺跡群・新井原遺跡で集落が確認されている。

恒川遺跡群はかねてより、「伊那郡衙」ないし『三代実録』にみられる定額の寂光寺の有力な比定地とされてきた。昭和51年度から実施された座光寺バイパス建設に先立つ発掘調査で、「伊那郡衙」として認識された。これまでに、政庁域等は特定できていないが、平成6年度には薬師垣外地籍で正倉群とみられる大型の掘立柱建物址が確認された。平成7・8年度には同地籍で区画溝から軒丸瓦を含む布目瓦が出土しているほか、周辺には古瓦の出土が確認されている。また、金井原瓦窯址では、半地下無段式窯竈1基と工房址2軒が調査され、西三河北野系とみられる瓦が出土している。近年、再確認された「富本銭」もこの下段北部からの出土とみられる。さらに、恒川遺跡群では、平安時代前期には前時代の名残りとして官衙的な遺構・遺物があるが、中期以降一般集落に変貌していく。こうした中で小鍛冶遺構を伴う住居址が多いことから、前代の郡衙との関わりが指摘されている。新井原・石行遺跡では灰軸陶器蔵骨器を伴う火葬墓群が調査されており、官人層の墓所とも考えられている。この遺跡では、平安時代の遺構から押出仏が出土しており、高岡古墳群、古代伊那郡衙、寂光寺等との関連で注目されている。

中世になると上段では、段丘突端に北本城城跡・南本城城跡・浅間宮が築かれ、小河川に開折された複雑な地形を生かした立地となっている。北本城城跡は調査により、4つの曲輪を主体とした居城的な城郭であることが確認された。16世紀中頃松岡氏の支城であったとの伝承がある以外は記録等がなく、その築城・廃城の時期や治めていた氏族等も不明である。現在のところ、座光寺の地名に共通する座光寺氏の居城であるという説が有力である。南本城城跡は、現在でも良好に当時の姿をとどめている城跡であり、防衛施設の整った防衛専門の城郭で、その性格からも北本城城跡との関連が考慮されている。下段では新井原・石行遺跡で土葬墓・火葬墓が多くあり、古墳時代以降連続してこのあたりが墓域であった様子がうかがえると同時に、六道思想定着以前の墓制として、経石を副葬する集石墓があったと考えられている。近世では、大門原Dで火葬墓・土葬墓5基が調査されている。

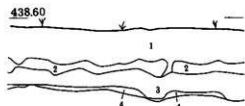
このように、恒川遺跡群は奈良時代の古代伊那郡衙としての役割を担う以前から、連続とした人々の生活痕跡を残す遺跡として、重要な遺跡の一つとして認識されている。

第三章 調査結果

第1節 基本層序

恒川遺跡群は地形的には北から南にかけて低く緩やかに傾斜するが、基本的な土層堆積状況は新屋敷・薬師垣外・阿弥陀垣外地籍では共通する。そのため、基本層序はYKS3454-5の南西壁のものを代表させて載せた。

全域では確認できるのが、第2層で正徳5年(1715)の未満水起源と推測される黄色砂の洪水堆積層である。遺構検出面は黄色砂質土の地山面である。



1. 10YR3/3 暗褐色土
2. 10YR6/6 明黄褐色土
3. 10YR2/2 黒褐色土 黄褐色土混入
4. 10YR2/2 黒褐色土混り 5/6 黄褐色砂土

挿図4 基本層序

第2節 遺 構

遺構の記載については、地籍ごとに、竪穴住居址(SB)、掘立柱建物址(ST)、柵列(SA)・柱列址、土坑(SK)、集石(SI)、火葬墓、小竪穴、方形周溝墓(SM)、溝址(SD)・溝状址の順にそれぞれ観察表を載せた。

1) 新屋敷地籍(ARY)(附図1、第1~9図、図版2~8)

① 竪穴住居址(SB)(第1~3図、図版3~5)

S B 01

検出位置	覆 土	
切 合	切 る	床 面
切 合	切 られる	主 柱 穴
規 模	プラン	住 居 内 施 設
規 模	規模m	貯 蔵 穴
主 軸		入 口
壁 高	形状	カ 敷 備 考
状 態	形状	
特記事項		
欠番		
時代・時期		調査位置

S B 02

検出位置	AR15	覆 土	
切 合	切 る SB04	床 面	堅 固 一 部 貼 り 床
切 合	切 られる ST07	主 柱 穴	1 基 : P 1
規 模	プラン	住 居 内 施 設	
規 模	不明	貯 蔵 穴	
主 軸	規模m (7.1) × -	入 口	
壁 高	N35° W	カ 敷 備 考	
状 態	壁高cm 13		
	形状		
	ほぼ垂直		
特記事項			
	土師器杯・甕・小型壺、土製円盤、臼玉		
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

S B03

検出位置	AO15	覆 土	
切 合	切 る SB54	床 面	軟弱
切られる	SB07, ST05	主柱穴	4基: P1~P4
プラン	隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴 北隅の穴
規模・形状	規模m 5.0×4.5	入 口	
主 軸	N48° W	炉・竈	形状 石芯粘土竈
壁高cm	45	規模	110×100cm
状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	土師器杯・甕、須恵器蓋・甕・短頸壺、白玉、土玉、土製紡錘車		
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

S B05

検出位置	AQ13	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	ST05, 06	主柱穴	
プラン	不明	住居内施設	貯蔵穴
規模・形状	規模m -×-	入 口	
主 軸	不明	炉・竈	形状
壁高cm	-	規模	
状 態	不明	備考	
特記事項	床、壁不明。出土遺物より住居址を想定 壺、磨製石斧		
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARYバイパス

S B07

検出位置	AD08	覆 土	
切 合	切 る SB03	床 面	中央部は堅固
切られる		主柱穴	4基: P1~P4
プラン	隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴
規模・形状	規模m 7.3×6.7	入 口	
主 軸	N45° W	炉・竈	形状 粘土竈
壁高cm	39	規模	100×95cm
状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	土師器杯・高杯・甕・壺、須恵器蓋杯、編物石、白玉		
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

S B09

検出位置	AH09	覆 土	
切 合	切 る SB53	床 面	壁下を除き強固
切られる	SB06	主柱穴	3基: P1~P3
プラン	隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴
規模・形状	規模m 5.4×-	入 口	
主 軸	N140° W	炉・竈	形状 土器埋設炉
壁高cm	10	規模	50×50cm
状 態	やや緩やか	備考	炉緑石3個
特記事項	焼失(焼却) 家屋 注口土器・甕・壺 磨製石斧、打製石斧、端部曲面磨石、有肩扇状形石器		
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARYバイパス

S B04

検出位置	AT18	覆 土	
切 合	切 る	床 面	堅固
切られる	SB02, ST07	主柱穴	4基: P1~P4
プラン	隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴
規模・形状	規模m 4.0×4.0	入 口	
主 軸	N43° W	炉・竈	形状 石芯粘土竈
壁高cm	62	規模	105×100cm
状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	土師器杯・高杯・甕・小型壺・甌		
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

S B06

検出位置	AJ21	覆 土	
切 合	切 る SB09, 51, 53, SD25	床 面	比較的堅固
切られる		主柱穴	3基: P1~P3
プラン	隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴
規模・形状	規模m 4.4×-	入 口	
主 軸	N42° W	炉・竈	形状 石芯粘土竈
壁高cm	60	規模	125×110cm
状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	土師器杯・甕・甌、須恵器蓋杯		
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

S B08

検出位置	AN14	覆 土	
切 合	切 る	床 面	軟弱
切られる		主柱穴	
プラン	不明	住居内施設	貯蔵穴
規模・形状	規模m 5.8×-	入 口	
主 軸	N44° E	炉・竈	形状
壁高cm	27	規模	
状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	土師器甕		
時代・時期	不明	調査位置	ARYバイパス

S B10

検出位置	BA37	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	SB19, SD03	主柱穴	
プラン	不明	住居内施設	貯蔵穴
規模・形状	規模m -×-	入 口	
主 軸	不明	炉・竈	形状
壁高cm	-	規模	
状 態	不明	備考	
特記事項	床面・壁不明。遺物より住居址を想定 壺		
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARYバイパス

S B11

検出位置		覆 土	
BP33		床 面	軟弱
切 合	切 る		
切られる	ST10, 18	主柱穴	3基: P1~P3
プラン	隅丸長方形	貯蔵穴	
規模	4.7×-	入 口	
主 軸	N110° W	炉・電	形状 地床炉(2個か)
壁高	20	規模	46×46cm
状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項			
打製石斧・横刃型石包丁・石鏝・砥石			
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARYバイパス

S B13

検出位置		覆 土	
AL34		床 面	きわめて軟弱
切 合	切 る		
切られる	SD19	主柱穴	2基: P1, P2
プラン	(隅丸方形)	貯蔵穴	
規模	m (9.6)×-	入 口	
主 軸	N27° E	炉・電	形状
壁高	34	規模	
状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項			
土師器杯・高杯・甕、須恵器高杯・小型壺			
時代・時期	古墳後期後半	調査位置	ARYバイパス

S B15

検出位置		覆 土	
AW38		床 面	軟弱 部分的に堅固
切 合	切 る		
切られる	ST03, ST11	主柱穴	2基: P1, P2
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模	m 6.5×-	入 口	
主 軸	不明	炉・電	形状
壁高	10	規模	
状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項			
甕・壺 打製石斧・磨製石斧・横刃型石包丁・横刃型石器・磨製石鏝			
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARYバイパス

S B17

検出位置		覆 土	
AV37		床 面	軟弱な貼り床
切 合	切 る		
切られる	SB14, ST03, SD04	主柱穴	4基: P1~P4
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模	m (4.2)×-	入 口	
主 軸	N58° W	炉・電	形状 石芯粘土壺
壁高	23	規模	100×80cm
状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項			
土師器杯・高杯・甕、鉄斧・鏝			
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

S B12

検出位置		覆 土	
AN31		床 面	軟弱
切 合	切 る		
切られる	ST10	主柱穴	
プラン	隅丸長方形	貯蔵穴	
規模	m (4.2)×3.1	入 口	
主 軸	N55° E	炉・電	形状 石芯粘土壺
壁高	20	規模	90×80cm
状 態	緩やか	備考	
特記事項			
土師器高杯・甕、鉄片			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARYバイパス

S B14

検出位置		覆 土	
AW36		床 面	きわめて堅固な貼り床
切 合	切 る		
切られる	SB17	主柱穴	
プラン	(隅丸方形)	貯蔵穴	
規模	m (4.8)×-	入 口	
主 軸	N54° W	炉・電	形状
壁高	14	規模	
状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項			
焼失(焼却)家屋 土師器杯・高杯・甕、須恵器蓋杯			
時代・時期	古墳後期後半	調査位置	ARYバイパス

S B16

検出位置		覆 土	
AW39		床 面	非常に軟弱
切 合	切 る		
切られる	SB16	主柱穴	
プラン	(隅丸方形)	貯蔵穴	
規模	m 5.6×-	入 口	
主 軸	N60° W	炉・電	形状 石芯粘土壺
壁高	40	規模	85×-cm
状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項			
土師器杯・甕・壺			
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

S B18

検出位置		覆 土	
BCA1		床 面	全体に軟弱
切 合	切 る		
切られる	不明	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模	m (5.7)×-	入 口	
主 軸	N43° W	炉・電	形状 石芯粘土壺
壁高	51	規模	280×260cm
状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項			
土師器杯・高杯・甕・小型壺、須恵器蓋杯・高杯 石製紡錘車、白玉・勾玉・剣形・有孔円板、鉄片			
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

S B19

検出位置	BC39	覆 土	
切 合	切 る SB50	床 面	堅固
	切られる SD03	主柱穴	4 基 : P1~P4
規模・形状	プラン	住居内施設	貯蔵穴
	規模 m		入 口
	主 軸		形状
	壁高 cm		規模
	状 態		備考
特記事項	土師器杯・鉢・高杯・甕、土玉・白玉・磁石、鉄片		
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

S B21

検出位置	BM21	覆 土	
切 合	切 る SB26, ST14	床 面	堅固
	切られる	主柱穴	1 基 : P1
規模・形状	プラン	住居内施設	貯蔵穴
	規模 m		入 口
	主 軸		形状
	壁高 cm		規模
	状 態		備考
特記事項	土師器鉢・甕、須恵器杯・高杯、白玉、編物石31個		
時代・時期	古墳後期後半	調査位置	ARYバイパス

S B23

検出位置	BU29	覆 土	
切 合	切 る 小竪穴 4	床 面	堅固 南側は軟弱
	切られる	主柱穴	
規模・形状	プラン	住居内施設	貯蔵穴
	規模 m		入 口
	主 軸		形状
	壁高 cm		規模
	状 態		備考
特記事項	弥生土器片、打製石斧・磨製石斧・横刃型石器		
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARYバイパス

S B25

検出位置	BN18	覆 土	
切 合	切 る	床 面	きわめて軟弱
	切られる	主柱穴	
規模・形状	プラン	住居内施設	貯蔵穴
	規模 m		入 口
	主 軸		形状
	壁高 cm		規模
	状 態		備考
特記事項	土師器杯・甕・壺・甌、須恵器蓋・長頸瓶・壺		
時代・時期	古墳後期中項	調査位置	ARYバイパス

S B20

検出位置	AA31	覆 土	
切 合	切 る ST16	床 面	堅固
	切られる (SD05と重複)	主柱穴	
規模・形状	プラン	住居内施設	貯蔵穴
	規模 m		入 口
	主 軸		形状
	壁高 cm		規模
	状 態		備考
特記事項	土師器杯・高杯・甕、有孔円板		
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

S B22

検出位置	BQ22	覆 土	
切 合	切 る	床 面	たゞき かわめて堅固
	切られる SD06	主柱穴	2 基 : P1, P2
規模・形状	プラン	住居内施設	貯蔵穴
	規模 m		入 口
	主 軸		形状
	壁高 cm		規模
	状 態		備考
特記事項	打製石斧・台石		
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARYバイパス

S B24

検出位置	BU23	覆 土	
切 合	切 る	床 面	やや軟弱
	切られる ST01, SD05	主柱穴	4 基 : P1~P4
規模・形状	プラン	住居内施設	貯蔵穴
	規模 m		入 口
	主 軸		形状
	壁高 cm		規模
	状 態		備考
特記事項	甕・壺、有肩扇形状石器・打製石斧・磨製石斧・石錘 磨製石鏃		
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARYバイパス

S B26

検出位置	BJ20	覆 土	3 層
切 合	切 る SI01, O2	床 面	堅固な貼り床
	切られる SB21, ST12	主柱穴	8 基 : P1~P8
規模・形状	プラン	住居内施設	貯蔵穴
	規模 m		入 口
	主 軸		形状
	壁高 cm		規模
	状 態		備考
特記事項	土師器杯・高杯・甕・壺・甌、須恵器蓋・高杯・甕 杓子形土製品・土製紡錘車、磁石、ガラス玉、鉄製品		
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

S B 27

検出位置	BX21	覆 土	
切 合	切 る	床 面	軟弱
切られる		主柱穴	
プラン	(隅丸方形)	住居内施設	貯蔵穴
規模m	-×-	入 口	
主 軸	不明	炉・竈	形状
壁高cm	27	備考	規模
状 態	やや緩やか		
特記事項			
須恵器	須恵器		
時代・時期	不明	調査位置	ARYバイパス

S B 29

検出位置	AY33	覆 土	
切 合	切 る	床 面	軟弱
切られる	SB28, 30, SD18	主柱穴	
プラン	不明	住居内施設	貯蔵穴
規模m	-×-	入 口	
主 軸	不明	炉・竈	形状
壁高cm	-	備考	地床炉
状 態	不明		規模
特記事項	壁、床不明。出土遺物より住居址の存在を想定		
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARYバイパス

S B 31

検出位置	BP42	覆 土	
切 合	切 る	床 面	堅固
切られる	SB37, 40, SD13	主柱穴	4基:P1~P4
プラン	隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴
規模m	5.8×-	入 口	
主 軸	N44° W	炉・竈	形状
壁高cm	20	備考	粘土竈か
状 態	ほぼ垂直		150×100cm
特記事項	土師器杯・鉢・高杯・甕・埴、須恵器高杯・甕、白玉、鉄製品		
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

S B 33

検出位置	BR46	覆 土	
切 合	切 る	床 面	軟弱
切られる	SD08, 09	主柱穴	
プラン	不明	住居内施設	貯蔵穴
規模m	-×-	入 口	南隅に1基
主 軸	不明	炉・竈	形状
壁高cm	20	備考	規模
状 態	不明		
特記事項			
土師器杯・須恵器蓋・高杯			
時代・時期	古墳後期後半	調査位置	ARYバイパス

S B 28

検出位置	AY29	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	SD18	主柱穴	
プラン	(方形)	住居内施設	貯蔵穴
規模m	-×-	入 口	
主 軸	不明	炉・竈	形状
壁高cm	20	備考	規模
状 態	緩やか		
特記事項	土師器杯・高杯・甕・甎、磁石		
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス・ARY620

S B 30

検出位置	BA32	覆 土	
切 合	切 る	床 面	軟弱
切られる	SB29	主柱穴	2基:P1, P2
プラン	不整隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴
規模m	5.0×-	入 口	
主 軸	N32° E	炉・竈	形状
壁高cm	40	備考	石芯粘土竈
状 態	やや緩やか		規模
特記事項	土師器杯・高杯・甕・埴、須恵器、鉄製品		
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

S B 32

検出位置	BK40	覆 土	
切 合	切 る	床 面	軟弱
切られる	SB41	主柱穴	2基:P1, P2
プラン	隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴
規模m	7.9×-	入 口	
主 軸	N51° W	炉・竈	形状
壁高cm	41	備考	規模
状 態	ほぼ垂直		
特記事項	SB34、SD22とも重複 土師器杯・高杯・甕・小型壺		
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

S B 34

検出位置	BK43	覆 土	
切 合	切 る	床 面	軟弱で薄貼り床
切られる	SD22	主柱穴	1基:P1
プラン	隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴
規模m	5.7×-	入 口	
主 軸	N45° W	炉・竈	形状
壁高cm	38	備考	不明
状 態	やや緩やか		-×-
特記事項	SB32と重複 土師器杯・高杯・甕・小型壺・甎、須恵器蓋、土玉・白玉・勾玉、炭化米		
時代・時期	古墳後期後半	調査位置	ARYバイパス

S B35

検出位置		覆 土		
切 合	切 る	床 面	堅くたたき状	
	切られる	主柱穴	1基:P1	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設 貯蔵穴 北西隅	
	規模m	7.4×-	入 口	
	主 軸	N37° W	炉 形状	石芯粘土甕
	壁高cm	50	規模	160×140cm
状 態	ほぼ垂直	備考		
特記事項	焼失(焼却)家屋 SD12.22と重複			
土師器杯・高杯・甕・甌、須恵器、土製紡錘車、編物石鉄釘				
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス	

S B37

検出位置		覆 土		
切 合	切 る	床 面		
	切られる	主柱穴		
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設 貯蔵穴	
	規模m	4.3×-	入 口	
	主 軸	N42° W	炉 形状	石芯粘土甕
	壁高cm	40	規模	96×90cm
状 態	緩やか	備考		
特記事項				
土師器杯・甕、須恵器蓋・杯、ガラス玉				
時代・時期	古墳後期後半	調査位置	ARYバイパス	

S B39

検出位置		覆 土		
切 合	切 る	床 面	軟弱	
	切られる	主柱穴		
規模・形状	プラン	不明	住居内施設 貯蔵穴	
	規模m	-×-	入 口	
	主 軸	N57° W	炉 形状	石芯粘土甕
	壁高cm	20	規模	65×60cm
状 態	不明	備考		
特記事項				
土師器甕				
時代・時期	古墳後期後半	調査位置	ARYバイパス	

S B41

検出位置		覆 土		
切 合	切 る	床 面	軟弱	
	切られる	主柱穴		
規模・形状	プラン	不明	住居内施設 貯蔵穴	
	規模m	-×-	入 口	
	主 軸	不明	炉 形状	
	壁高cm	-×-	規模	
状 態	不明	備考		
特記事項	遺物が集中して出土したため住居址とした			
土師器杯、須恵器大甕				
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス	

S B36

検出位置		覆 土		
切 合	切 る	床 面	軟弱	
	切られる	主柱穴	3基:P1~P3	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設 貯蔵穴	
	規模m	5.2×5.2	入 口	
	主 軸	N54° W	炉 形状	石芯粘土甕
	壁高cm	40	規模	120×100cm
状 態	緩やか	備考		
特記事項				
土師器杯・高杯・甕・甌、須恵器蓋・甕、白玉・土玉炭化種子				
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARYバイパス	

S B38

検出位置		覆 土		
切 合	切 る	床 面	軟弱	
	切られる	主柱穴		
規模・形状	プラン	方形	住居内施設 貯蔵穴	
	規模m	-×-	入 口	
	主 軸	不明	炉 形状	
	壁高cm	70	規模	
状 態	やや緩やか	備考		
特記事項	焼失(焼却)家屋			
土師器片、鉄片				
時代・時期	不明	調査位置	ARYバイパス	

S B40

検出位置		覆 土		
切 合	切 る	床 面	堅固	
	切られる	主柱穴	1基:P1	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設 貯蔵穴	
	規模m	6.1×6.0	入 口	
	主 軸	N46° W	炉 形状	不明
	壁高cm	30	規模	100×72cm
状 態	やや緩やか	備考		
特記事項				
土師器杯・高杯・甕、須恵器片				
時代・時期	古墳後期後半	調査位置	ARYバイパス	

S B42

検出位置		覆 土		
切 合	切 る	床 面	北側は堅固	
	切られる	主柱穴		
規模・形状	プラン	不明	住居内施設 貯蔵穴	
	規模m	7.4×-	入 口	
	主 軸	不明	炉 形状	
	壁高cm	20	規模	
状 態	緩やか	備考		
特記事項				
土師器杯・高杯・甕・甌、須恵器蓋杯・杯、鉄鍔・施・鎌ガラス玉・琥珀玉・白玉				
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス	

S B43

検出位置	AH30	覆 土	
切 合	切 る	床 面	きわめて堅固
切られる	SB44	主柱穴	4基：P1～P4
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	南隅P6
規模・形状	規模m 8.1×8.0	住居内施設	
主 軸	N62° W	入 口	南東壁中央部
壁高cm	65	炉・竈	形状 石芯粘土竈
状 態	ほぼ垂直	規模	80×80cm
備考			
特記事項	土師器杯・高杯・甕・甔、須恵器蓋杯・高杯、台石・磨石 跡先・鉄織・鉄環・臼玉		
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

S B45

検出位置	AD29	覆 土	
切 合	切 る	床 面	中央部は堅固
切られる	SB44	主柱穴	4基：P1～P4
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模・形状	規模m 4.6×4.4	住居内施設	
主 軸	N37° W	入 口	P6～P7付近かP8
壁高cm	23	炉・竈	形状 石芯粘土竈
状 態	緩やか	規模	114×100cm
備考			
特記事項	土師器杯・高杯・小型甕・甔		
時代・時期	古墳後期後半	調査位置	ARYバイパス

S B47

検出位置	BH18	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる		主柱穴	1基：P1
プラン	(隅丸方形)	貯蔵穴	
規模・形状	規模m (5.0)×-	住居内施設	
主 軸	N44° W	入 口	
壁高cm	40	炉・竈	形状
状 態	緩やか	規模	
備考			
特記事項	SB48と重複 土師器高杯・甕・甔、須恵器蓋杯、石製紡錘車		
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

S B49

検出位置	BY22	覆 土	
切 合	切 る	床 面	堅固
切られる		主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模・形状	規模m -×-	住居内施設	
主 軸	不明	入 口	
壁高cm	9	炉・竈	形状
状 態		規模	
備考			
特記事項	床面、壁の一部のみ		
時代・時期	不明	調査位置	ARYバイパス

S B44

検出位置	AE30	覆 土	
切 合	切 る	床 面	軟弱
切られる	SB43, 45	主柱穴	
プラン	隅丸長方形	貯蔵穴	
規模・形状	規模m 3.7×-	住居内施設	
主 軸	N143° E	入 口	
壁高cm	29	炉・竈	形状 石芯粘土竈
状 態	緩やか	規模	120×70cm
備考			
特記事項	土師器杯・甕、須恵器蓋・杯・甕・小型甕		
時代・時期	奈良	調査位置	ARYバイパス

S B46

検出位置	AJ27	覆 土	
切 合	切 る	床 面	軟弱
切られる		主柱穴	
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模・形状	規模m 5.4×2.3	住居内施設	
主 軸	N136° E	入 口	
壁高cm	25	炉・竈	形状 石芯粘土竈
状 態	緩やか	規模	110×50cm
備考			
特記事項	土師器高杯・甕、須恵器甕		
時代・時期	奈良	調査位置	ARYバイパス

S B48

検出位置	BH16	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる		主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模・形状	規模m -×-	住居内施設	
主 軸	不明	入 口	
壁高cm	20	炉・竈	形状
状 態	緩やか	規模	
備考			
特記事項	SB47と重複 土師器片、須恵器片		
時代・時期	不明	調査位置	ARYバイパス

S B50

検出位置	BE36	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	SB19, SD03, 18	主柱穴	2基：P1, P2
プラン	方形	貯蔵穴	
規模・形状	規模m 9.3×-	住居内施設	
主 軸	N45° W	入 口	
壁高cm	60	炉・竈	形状 石芯粘土竈
状 態	ほぼ垂直	規模	100×80cm
備考			
特記事項	土師器杯・高杯・甕・埴・甔、須恵器高杯・甕 砥石・勾玉・ガラス玉・臼玉、剣形		
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

S B51

検出位置	AK11	覆 土	
切 合	切 る	床 面	非常に軟弱
	切られる		
	プラン	不明	主柱穴
規模・形状	規模m	-×-	貯蔵穴
	主 軸	不明	入 口
	壁高cm	10	炉・竈
	状 態	不明	形状
			規模
			備考
特記事項	SB53と重複 甕、打製石斧・磨製石鏃・横刃型石包丁		
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARYバイパス

S B53

検出位置	AJ10	覆 土	
切 合	切 る	床 面	軟弱
	切られる		
	プラン	不明	主柱穴
規模・形状	規模m	-×-	貯蔵穴
	主 軸	不明	入 口
	壁高cm	10	炉・竈
	状 態	不明	形状
			規模
			備考
特記事項			
時代・時期	不明	調査位置	ARYバイパス

S B55

検出位置	AY16	覆 土	
切 合	切 る	床 面	非常に硬い
	切られる		
	プラン	隅丸長方形	主柱穴
規模・形状	規模m	5.6×4.2	貯蔵穴
	主 軸	N114° E	入 口
	壁高cm	10	炉・竈
	状 態	やや緩やか	形状
			規模
			備考
特記事項	甕・甕、打製石斧・磨製石斧・横刃型石包丁 磨製石鏃・砥石		
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARYバイパス

S B57

検出位置	BA11	覆 土	
切 合	切 る	床 面	軟弱
	切られる		
	プラン	不明	主柱穴
規模・形状	規模m	-×-	貯蔵穴
	主 軸	不明	入 口
	壁高cm	-	炉・竈
	状 態	不明	形状
			規模
			備考
特記事項	ST13と重複 弥生から中世までの遺物出土		
時代・時期	不明	調査位置	ARYバイパス

S B52

検出位置	AQ15	覆 土	2層
切 合	切 る	床 面	軟弱
	切られる		
	プラン	隅丸方形	主柱穴
規模・形状	規模m	5.0×-	貯蔵穴
	主 軸	N55° W	入 口
	壁高cm	46	炉・竈
	状 態	ほぼ垂直	形状
			石芯粘土甕
			規模
			備考
特記事項	土師器杯・小型甕・長胴甕、編物石		
時代・時期	古墳後期後半	調査位置	ARYバイパス

S B54

検出位置	AO08	覆 土	
切 合	切 る	床 面	軟弱
	切られる		
	プラン	不明	主柱穴
規模・形状	規模m	-×-	貯蔵穴
	主 軸	不明	入 口
	壁高cm	-	炉・竈
	状 態	不明	形状
			規模
			備考
特記事項	壁、床不明。出土遺物より住居址の存在を想定 SB03, ST05, 07, SK04に切られる 蓋		
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARYバイパス

S B56

検出位置	BA22	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
	切られる		
	プラン	不明	主柱穴
規模・形状	規模m	-×-	貯蔵穴
	主 軸	N43° W	入 口
	壁高cm	38	炉・竈
	状 態	ほぼ垂直	形状
			規模
			備考
特記事項	土器片、有肩扁状形石器・打製石斧		
時代・時期	弥生後期	調査位置	ARYバイパス

S B58

検出位置	AX09	覆 土	
切 合	切 る	床 面	軟弱
	切られる		
	プラン	不明	主柱穴
規模・形状	規模m	-×-	貯蔵穴
	主 軸	(N52° W)	入 口
	壁高cm	14	炉・竈
	状 態		形状
			規模
			備考
特記事項	土師器杯・高杯・甕・小型甕		
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

S B59

検出位置	BH34	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	SD18	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模・形状	規模m -×-	入 口	
主 軸	不明	炉・竈	形状
壁高cm	40	規模	備考
状 態	ほぼ垂直		
特記事項	土師器杯・甕、鉄鏝		
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	ARYバイパス

S B61 (第1図)

検出位置	BN31	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	SB64	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	竈脇に1基
規模・形状	規模m -×7.8	入 口	
主 軸	N26° W	炉・竈	形状
壁高cm	60	規模	120×80cm
状 態	やや緩やか		
特記事項			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4824-2

S B63 (第1図)

検出位置	BR23	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる		主柱穴	
プラン	-	貯蔵穴	
規模・形状	規模m -	入 口	
主 軸	-	炉・竈	形状
壁高cm	20	規模	備考
状 態	やや緩やか		
特記事項			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4824-2

S B65

検出位置	AS47	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる		主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模・形状	規模m -×-	入 口	
主 軸	不明	炉・竈	形状
壁高cm	-	規模	備考
状 態	不明		
特記事項	プランのみ確認		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4767-8

S B60

検出位置		覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる		主柱穴	
プラン		貯蔵穴	
規模・形状	規模m	入 口	
主 軸		炉・竈	形状
壁高cm		規模	備考
状 態			
特記事項	欠番		
時代・時期		調査位置	

S B62 (第1図)

検出位置	BU26	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	ST23	主柱穴	
プラン	方形	貯蔵穴	
規模・形状	規模m 2.1×-	入 口	
主 軸	N47° E	炉・竈	形状
壁高cm	16	規模	56×56cm
状 態	緩やか		
特記事項			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4824-2

S B64 (第1図)

検出位置	BM31	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	SB61	主柱穴	
プラン	-	貯蔵穴	
規模・形状	規模m -	入 口	
主 軸	N25° W	炉・竈	形状
壁高cm	50	規模	備考
状 態	やや緩やか		
特記事項			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4824-2

S B66

検出位置	AO02	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる		主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模・形状	規模m -×-	入 口	
主 軸	不明	炉・竈	形状
壁高cm	-	規模	備考
状 態	不明		
特記事項	プランのみ確認		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4767-8

S B67

検出位置	AP02	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
	切られる		主柱穴
規 模・形 状	プラン 不明	住居内施設	貯蔵穴
	規模 m -×-		入 口
	主 軸 不明		炉・竈 形状
	壁高 cm -		規模 備考
	状 態 不明		
特記事項	プランのみ確認		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4767-8

S B69

検出位置	AC00	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
	切られる		主柱穴
規 模・形 状	プラン 隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴
	規模 m 5.3×-		入 口
	主 軸 不明		炉・竈 形状
	壁高 cm -		規模 備考
	状 態 不明		
特記事項	プランのみ確認		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4833

S B71

検出位置	AJ24	覆 土	褐色土
切 合	切 る	床 面	堅固
	切られる		主柱穴 4基 : P1~P4
規 模・形 状	プラン 隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴
	規模 m 6.0×-		入 口 南東壁中央
	主 軸 N55° W		炉・竈 形状 石芯粘土竈
	壁高 cm 35		規模 120×100cm
	状 態 ほぼ垂直		備考
特記事項	SB72と重複 編物石、砥石、鉄製品、白玉		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4742

S B73

検出位置	AH24	覆 土	褐色土
切 合	切 る	床 面	堅固
	切られる		主柱穴
規 模・形 状	プラン 隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴
	規模 m (4.6)×3.4		入 口
	主 軸 不明		炉・竈 形状
	壁高 cm 60		規模 備考
	状 態 ほぼ垂直		
特記事項	土師器瓶、鉄製品、磨製石織		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4742

S B68

検出位置	AA49	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
	切られる		主柱穴
規 模・形 状	プラン 不明	住居内施設	貯蔵穴
	規模 m -×-		入 口
	主 軸 不明		炉・竈 形状
	壁高 cm -		規模 備考
	状 態 不明		
特記事項	プランのみ確認		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4833

S B70

検出位置	AI08	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
	切られる		主柱穴
規 模・形 状	プラン 隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴
	規模 m 5.3×-		入 口
	主 軸 不明		炉・竈 形状
	壁高 cm -		規模 備考
	状 態 不明		
特記事項	プランのみ確認		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4833

S B72

検出位置	AH25	覆 土	褐色土
切 合	切 る	床 面	堅固
	切られる		主柱穴 1基
規 模・形 状	プラン 隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴
	規模 m 4.2×4.2		入 口
	主 軸 N30° W		炉・竈 形状
	壁高 cm 37		規模 備考
	状 態 ほぼ垂直		
特記事項	SB71と重複 海浜石		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4742

S B74

検出位置	AE29	覆 土	褐色土
切 合	切 る	床 面	堅固
	切られる		主柱穴 4基
規 模・形 状	プラン 隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴
	規模 m 6.0×6.0		入 口
	主 軸 不明		炉・竈 形状
	壁高 cm 20		規模 備考
	状 態 やや緩やか		
特記事項	SB81、86と重複 土師器杯・鉢・甕・瓶、須恵器蓋・杯・高杯		
時代・時期	奈良	調査位置	ARY4742

S B75

検出位置	AK23	覆土	褐色
切る		床面	堅固
切られる	SB71	主柱穴	
プラン	(方形)	貯蔵穴	
規模	3.6×-	入口	
主軸	N52° W	形状	炉壁石を持つ地味炉
壁高	20	規模	60×45cm
状態	やや緩やか	備考	焼土が薄く残る
特記事項	甕、磨製石包丁		
時代・時期	弥生後期初頭	調査位置	ARY4742

S B77

検出位置	AC26	覆土	暗褐色土
切る		床面	堅固
切られる		主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模	-×-	入口	
主軸	不明	形状	
壁高	10	規模	
状態	緩やか	備考	
特記事項	SB79, 88と重複 土師器杯、須恵器壺、打製石斧・磨製石斧・敲打器		
時代・時期	不明	調査位置	ARY4742

S B79

検出位置	AB27	覆土	
切る		床面	
切られる		主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模	-×-	入口	
主軸	不明	形状	
壁高	-	規模	
状態	不明	備考	
特記事項	SB77, 87と重複 白玉		
時代・時期	不明	調査位置	ARY4742

S B81

検出位置	AC31	覆土	
切る	SB78, SD36, SM02	床面	
切られる	SB87	主柱穴	3基
プラン	不明	貯蔵穴	
規模	-×-	入口	
主軸	N48° W	形状	石芯粘土壺
壁高	-	規模	75×62cm
状態	不明	備考	
特記事項	SB74, 86と重複 既報告のプランを一部変更 (報告書S B87北壁までをプランとする) 土師器壺・壺、須恵器壺・杯、鍛冶関係鉄製品		
時代・時期	奈良	調査位置	ARY4742

S B76

検出位置	AG24	覆土	暗褐色土
切る		床面	非常に堅固
切られる	SB71, 72, 73, 84, ST74	主柱穴	4基
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模	7.0×6.6	入口	南主柱穴東の穴か
主軸	N63° W	形状	石芯粘土壺
壁高	74	規模	150×140cm
状態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	土師器杯・鉢・高杯、鉄製品、白玉		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4742

S B78

検出位置	AD32	覆土	褐色土
切る	SM02	床面	堅固
切られる	SB81, 87	主柱穴	4基
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模	6.0×-	入口	
主軸	不明	形状	
壁高	50	規模	
状態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	土師器杯・高杯・甕・長頸壺・横瓶、刀子		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4742

S B80

検出位置	AH38	覆土	
切る	SB85	床面	堅固
切られる	SD35	主柱穴	
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模	-×-	入口	
主軸	不明	形状	
壁高	40	規模	
状態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	土師器杯・甕、須恵器高杯、磁石		
時代・時期	奈良	調査位置	ARY4742

S B82

検出位置	AF34	覆土	
切る		床面	堅固
切られる	SD35	主柱穴	1基
プラン	方形	貯蔵穴	
規模	-×-	入口	
主軸	不明	形状	石芯粘土壺
壁高	85	規模	100×90cm
状態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	土師器杯、台石・磁石		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4742

S B83

検出位置	AF20	覆土	2層
切る	SD36	床面	堅固
切られる	ST24	主柱穴	1基
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模m	-×-	入口	
主軸	不明	形状	
壁高cm	20	規模	
状態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	床面中央付近に施す		
	須恵器杯・壺、編物石・石製紡錘車・敲打器		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4742

S B85

検出位置	AI30	覆土	褐色土
切る		床面	やや軟弱
切られる	SB80	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模m	-×-	入口	
主軸	不明	形状	
壁高cm	50	規模	
状態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	土師器杯		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4742

S B87

検出位置	AC28	覆土	
切る	SB74, 78, 81, SM02	床面	堅固
切られる		主柱穴	2基
プラン	不明	貯蔵穴	
規模m	-×-	入口	
主軸	N42° W	形状	石芯粘土壺
壁高cm	-	規模	100×-cm
状態	不明	備考	
特記事項	SB79と重複 既報告のプランを一部変更 (北側へプランを広げる) 土師器壺、須恵器杯・壺		
時代・時期	平安前半	調査位置	ARY4742

S B89

検出位置	BX22	覆土	褐色土
切る	SB90	床面	やや軟弱
切られる	ST26	主柱穴	
プラン	方形	貯蔵穴	
規模m	-×-	入口	
主軸	N25° W	形状	
壁高cm	34	規模	
状態	やや緩やか	備考	
特記事項	土師器杯・高杯・壺、須恵器壺・壺		
時代・時期	古墳終末	調査位置	ARY4737

S B84

検出位置	AD23	覆土	暗褐色土
切る	SB76, 88, SD36	床面	堅固
切られる	ST24	主柱穴	2基
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模m	5.7×-	入口	
主軸	N60° W	形状	石芯粘土壺
壁高cm	20	規模	100×80cm
状態	ほぼ垂直	備考	煙道220cm
特記事項	土師器杯・高杯・壺、須恵器高杯、磁石		
時代・時期	奈良	調査位置	ARY4742

S B86

検出位置	AD28	覆土	
切る	SM02	床面	
切られる	SB74	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模m	-×-	入口	
主軸	不明	形状	
壁高cm	-	規模	
状態	不明	備考	
特記事項	SB81, SD36と重複		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4742

S B88

検出位置	AD25	覆土	
切る		床面	堅固
切られる	SB84, ST24	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模m	-×-	入口	
主軸	不明	形状	地床炉
壁高cm	-	規模	60×50cm
状態	不明	備考	焼土中に土器混入
特記事項	SB77と重複 床面のみ確認 壺・壺、磨製石斧・打製石斧		
時代・時期	弥生中期後半	調査位置	ARY4742

S B90

検出位置	BW24	覆土	
切る		床面	やや堅固
切られる	SB89, ST25, 26	主柱穴	
プラン	方形	貯蔵穴	
規模m	7.0×-	入口	
主軸	N30° W	形状	石芯粘土壺
壁高cm	32	規模	-×-
状態	緩やか	備考	
特記事項	土師器杯・高杯・壺、須恵器蓋・杯・壺		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B91

検出位置	BX25	覆土	
切る	SB92	床面	中央から北側傾い
切られる	ST25, 26	主柱穴	1基:P1
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模m	5.9×-	入口	
主軸	N38° W	炉・竈	形状 規模 備考
壁高cm	46		
状態	ほぼ垂直		
特記事項	土師器杯・高杯・甕・瓶、須恵器蓋杯		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B93

検出位置	BV29	覆土	暗褐色土
切る	SB94	床面	堅固
切られる	不明	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模m	-×-	入口	
主軸	不明	炉・竈	形状 規模 備考
壁高cm	10		
状態	不明		
特記事項	土師器甕		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B95

検出位置	BS20	覆土	
切る	SB105, 107	床面	中央部が堅固
切られる	SB104	主柱穴	4基:P1~P4
プラン	不整形	貯蔵穴	
規模m	(6.6)×-	入口	
主軸	N42° W	炉・竈	形状 規模 備考
壁高cm	18		60×60cm
状態	やや緩やか		
特記事項	土師器杯・高杯・甕、須恵器杯・高杯・甕・壺		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B97

検出位置	BF19	覆土	黒褐色土
切る		床面	
切られる	SD37	主柱穴	
プラン	方形	貯蔵穴	
規模m	-×-	入口	
主軸	不明	炉・竈	形状 規模 備考
壁高cm	20		
状態	緩やか		
特記事項			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B92

検出位置	BW27	覆土	
切る		床面	堅固
切られる	SB91, ST25	主柱穴	
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模m	-×-	入口	
主軸	不明	炉・竈	形状 規模 備考
壁高cm	12		
状態	不明		
特記事項	焼失(焼却)家屋 壺・甕、磨製石斧		
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARY4737

S B94

検出位置	BW29	覆土	
切る		床面	やや軟弱
切られる	SB93	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模m	-×-	入口	
主軸	不明	炉・竈	形状 規模 備考
壁高cm	10		
状態	不明		
特記事項			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B96

検出位置	BN19	覆土	
切る	別記	床面	やや軟弱な貼り床
切られる		主柱穴	4基:P1~P4
プラン	方形	貯蔵穴	
規模m	7.3×7.2	入口	
主軸	N58° W	炉・竈	形状 規模 備考
壁高cm	61		石芯粘土壺 -×-
状態	ほぼ垂直		
特記事項	SB100, 103, 106, 108, 110, 111, 129, ST28を切る 土師器杯・甕、須恵器甕・壺		
時代・時期	奈良	調査位置	ARY4737

S B98

検出位置	BD17	覆土	黒褐色土
切る		床面	堅固
切られる		主柱穴	
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模m	-×-	入口	
主軸	N43° W	炉・竈	形状 規模 備考
壁高cm	27		粘土壺 -×-
状態	ほぼ垂直		
特記事項	土師器杯・高杯・甕・瓶、須恵器蓋・杯・甕 ガラス小玉		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B99

検出位置	BK22	覆 土	
切 合	切 る SB103	床 面	
切られる	SB102	主柱穴	
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模・形状	規模 m -×-	入 口	
主 軸	不明	炉・甕	形状 粘土甕
壁高 cm	-	規模	-×-
状 態	不明	備考	
特記事項			
土師器杯・甕			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B101

検出位置	BH19	覆 土	4層
切 合	切 る SB137	床 面	堅固
切られる	SB103, SD37, S107	主柱穴	2基
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模・形状	規模 m 5.4×-	入 口	
主 軸	N29° W	炉・甕	形状 甕
壁高 cm	29	規模	-×-
状 態	やや緩やか	備考	
特記事項			
土師器杯・高杯・甕、須恵器蓋・杯・器台・甕			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B103

検出位置	BJ20	覆 土	
切 合	切 る SB101	床 面	やや軟弱
切られる	SB96, 99, 102	主柱穴	2基
プラン	方形	貯蔵穴	
規模・形状	規模 m 7.1×-	入 口	
主 軸	N25° W	炉・甕	形状 石芯粘土甕
壁高 cm	36	規模	-×-
状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項			
土師器杯・高杯・鉢・甕、須恵器蓋杯・提瓶・甕			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B105

検出位置	BR21	覆 土	暗褐色土
切 合	切 る	床 面	堅固
切られる	SB95, 104	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模・形状	規模 m -×-	入 口	
主 軸	不明	炉・甕	形状
壁高 cm	-×-	規模	-×-
状 態	不明	備考	
特記事項			
土師器杯・鉢・甕、須恵器甕			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B100

検出位置	BO21	覆 土	
切 合	切 る	床 面	堅固
切られる	SB96, 102, 106, SD38	主柱穴	
プラン	方形	貯蔵穴	
規模・形状	規模 m -×-	入 口	
主 軸	N40° W	炉・甕	形状
壁高 cm	25	規模	-×-
状 態	西側はほぼ垂直	備考	
特記事項			
土師器杯・甕、須恵器蓋			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B102

検出位置	BM22	覆 土	
切 合	切 る SB96, 99, 103	床 面	やや軟弱
切られる		主柱穴	
プラン	(方形)	貯蔵穴	
規模・形状	規模 m -×-	入 口	
主 軸	不明	炉・甕	形状
壁高 cm	27	規模	-×-
状 態	緩やか	備考	
特記事項			
土師器杯・小型皿・高杯・甕、須恵器杯・甕、灰陶器碗 不明土製品			
時代・時期	平安後期	調査位置	ARY4737

S B104

検出位置	BQ23	覆 土	
切 合	切 る SB95, 105, 124	床 面	中心部は堅固
切られる	小壁穴 8	主柱穴	2基
プラン	方形	貯蔵穴	
規模・形状	規模 m 5.4×-	入 口	
主 軸	N38° W	炉・甕	形状 甕
壁高 cm	40	規模	140×110cm
状 態	やや緩やか	備考	
特記事項			
土師器杯・高杯・鉢・甕、須恵器甕・蓋・提瓶、刀子			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B106

検出位置	BQ19	覆 土	褐色土
切 合	切 る SB100, 129	床 面	きわめて堅固
切られる	SB96, SD38	主柱穴	3基：P1~P3
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模・形状	規模 m 4.4×4.0	入 口	
主 軸	N47° W	炉・甕	形状 石芯粘土甕か
壁高 cm	40	規模	-×-
状 態	やや緩やか	備考	
特記事項			
土師器甕片			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B107

検出位置	BU19	覆土	褐色土
切る		床面	
切られる	SB95	主柱穴	3基:P1~P3
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模m	-×-	入口	
主軸	不明	形状	
壁高cm	35	炉・竈	備考
状態	ほぼ垂直		
特記事項	土師器杯・鉢・甕、須恵器壺		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B109

検出位置	BL18	覆土	
切る	SB110, 112	床面	やや軟弱
切られる	SB96, ST28	主柱穴	
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模m	4.6×-	入口	
主軸	N25° W	形状	
壁高cm	17	炉・竈	備考
状態	不明		
特記事項	土師器杯・鉢・甕、須恵器蓋・甕・甌		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B111

検出位置	BP17	覆土	黒褐色土
切る	SB110, 128, 129	床面	堅固
切られる	SB96, 138, ST28	主柱穴	
プラン	方形	貯蔵穴	
規模m	-×-	入口	
主軸	N42° W	形状	竈か
壁高cm	18	炉・竈	-×-
状態	ほぼ垂直	備考	北東隅に焼土
特記事項	土師器杯・高杯・鉢・甕、須恵器蓋杯・甕・壺		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B113

検出位置	BH14	覆土	褐色土
切る	SB108, 115	床面	やや軟弱
切られる	SB114, SD37	主柱穴	
プラン	方形	貯蔵穴	
規模m	6.1×6.0	入口	
主軸	N43° W	形状	
壁高cm	15	炉・竈	備考
状態	緩やか		
特記事項	土師器杯・高杯・甕、須恵器蓋杯・杯・高杯・甕		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B108

検出位置	BK15	覆土	褐色土
切る	SB112	床面	堅固
切られる	別記	主柱穴	4基:P1~P4
プラン	方形	貯蔵穴	
規模m	6.2×6.0	入口	
主軸	N41° W	形状	粘土葺
壁高cm	20	炉・竈	備考
状態	不明		
特記事項	SB110, 113, 114, ST29, SA01に切られる 土師器杯・高杯・鉢・甕、須恵器蓋・杯・甕		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B110

検出位置	BN16	覆土	
切る	SB108, 112, 128	床面	軟弱
切られる	別記	主柱穴	3基:P1~P3
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模m	5.9×5.8	入口	
主軸	N35° W	形状	
壁高cm	32	炉・竈	備考
状態	ほぼ垂直		
特記事項	SB96, 109, 111, 138, ST28, SI04に切られる 土師器杯・高杯・甕、須恵器蓋・杯・高杯・提瓶・甕・壺		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B112

検出位置	BL16	覆土	褐色土
切る	SB108, 109, 110	床面	やや軟弱
切られる	別記	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模m	-×-	入口	
主軸	不明	形状	
壁高cm	9	炉・竈	備考
状態	不明		
特記事項	土師器杯・甕、須恵器壺		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B114

検出位置	BH15	覆土	
切る	SB108, 113	床面	堅固
切られる	SD37	主柱穴	2基:P1, P2
プラン	方形	貯蔵穴	
規模m	5.4×5.2	入口	
主軸	N37° W	形状	
壁高cm	35	炉・竈	備考
状態	ほぼ垂直		
特記事項	焼失(焼却)家屋 土師器杯・高杯・甕、須恵器蓋		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

SB115

検出位置	BE15	覆土	黒褐色土
切る		床面	軟弱
切られる	SB113	主柱穴	
プラン	(方形)	貯蔵穴	
規模	m -×-	入口	
主軸	N27° W	炉・竈	形状
壁高	cm 20	規模	備考
状態	やや緩やか		
特記事項	土師器壺・高杯の小破片		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

SB117

検出位置	BX15	覆土	
切る		床面	堅固
切られる	SB116, 130	主柱穴	
プラン	(方形)	貯蔵穴	
規模	m -×-	入口	
主軸	不明	炉・竈	形状
壁高	cm 25	規模	備考
状態	ほぼ垂直		
特記事項	土師器杯・甕、須恵器蓋・壺		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

SB119

検出位置	BW05	覆土	2層
切る		床面	
切られる	SB118	主柱穴	4基:P1~P4
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模	m 4.5×3.5	入口	
主軸	N27° W	炉・竈	形状
壁高	cm 22	規模	-×-
状態	東側はほぼ垂直		
特記事項	土師器壺杯・高杯・甕・瓶、高杯 須恵器蓋杯・甕・壺		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

SB121

検出位置		覆土	
切る		床面	
切られる		主柱穴	
プラン		貯蔵穴	
規模	m	入口	
主軸		炉・竈	形状
壁高	cm	規模	備考
状態			
特記事項	欠番		
時代・時期		調査位置	

SB116

検出位置	AA13	覆土	
切る	SB117	床面	きわめて堅固
切られる		主柱穴	2基:P1, P2
プラン	方形	貯蔵穴	
規模	m 5.0×-	入口	
主軸	N47° W	炉・竈	形状
壁高	cm 30	規模	-×-
状態	ほぼ垂直		備考
特記事項	土師器高杯・鉢・甕、須恵器蓋		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

SB118

検出位置	BV08	覆土	暗褐色土
切る	SB119	床面	堅固
切られる		主柱穴	4基:P1~P4
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模	m 4.4×4.2	入口	
主軸	N36° W	炉・竈	形状
壁高	cm 20	規模	116×100cm
状態	ほぼ垂直		備考
特記事項	土師器杯・高杯・鉢・甕		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

SB120

検出位置	BV02	覆土	黒褐色土
切る		床面	軟弱な貼り床
切られる		主柱穴	
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模	m 5.9×-	入口	
主軸	N59° W	炉・竈	形状
壁高	cm 25	規模	
状態	ほぼ垂直		備考
特記事項	土師器高杯・甕・瓶、須恵器蓋・甕・脚付壺		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

SB122

検出位置	BS09	覆土	2層
切る		床面	堅固
切られる	ST31	主柱穴	4基:P1~P4
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模	m 5.0×4.6	入口	
主軸	不明	炉・竈	形状
壁高	cm 50	規模	-×-
状態	やや緩やか		備考
特記事項	土師器杯・高杯・甕・壺、須恵器甕・蓋・高杯		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

SB123

検出位置	BX09	覆 土		
切 合	切 る SB131	床 面	堅固	
切られる	SD38	主柱穴	4基: P1~P4	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設 貯蔵穴	
	規模m	4.0×3.9	入 口	
	主 軸	N28° W	炉・竈	形状
	壁高cm	27	規模	備考
	状 態	ほぼ垂直		
特記事項	土師器杯・鉢・高杯・小型甕・甕、須恵器高杯			
時代・時期	平安	調査位置	ARY4737	

SB125

検出位置	BN10	覆 土		
切 合	切 る SB126	床 面	やや軟弱	
切られる	SB127, ST30	主柱穴	3基: P1~P3	
規模・形状	プラン	方形	住居内施設 貯蔵穴	
	規模m	6.8×6.1	入 口	
	主 軸	N41° W	炉・竈	形状
	壁高cm	30	規模	150×90cm
	状 態	やや緩やか		備考
特記事項	土師器杯・鉢・高杯・甕、須恵器蓋・高杯・甕・甕			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737	

SB127

検出位置	BO13	覆 土		
切 合	切 る SB125, 126, 128	床 面	やや軟弱な貼り床	
切られる	SB138	主柱穴	4基: P1~P4	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設 貯蔵穴	
	規模m	6.2×5.9	入 口	
	主 軸	N38° W	炉・竈	形状
	壁高cm	42	規模	石芯粘土甕 150×135cm
	状 態	ほぼ垂直		備考
特記事項	土師器蓋・杯・鉢・高杯・甕、須恵器蓋・杯・高杯・甕			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737	

SB129

検出位置	BQ18	覆 土		
切 合	切 る	床 面	堅固	
切られる	SB106, 110	主柱穴		
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設 貯蔵穴	
	規模m	-×-	入 口	
	主 軸	N40° W	炉・竈	形状
	壁高cm	17	規模	石芯粘土甕 -×-
	状 態	やや緩やか		備考
特記事項	土師器杯・甕、須恵器甕			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737	

SB124

検出位置	BQ24	覆 土		
切 合	切 る	床 面		
切られる	SB104	主柱穴		
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設 貯蔵穴	
	規模m	-×-	入 口	
	主 軸	不明	炉・竈	形状
	壁高cm	10	規模	備考
	状 態	緩やか		
特記事項	土師器鉢・甕・甕			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737	

SB126

検出位置	BP11	覆 土		
切 合	切 る	床 面		
切られる	SB125, 127	主柱穴		
規模・形状	プラン	(方形)	住居内施設 貯蔵穴	
	規模m	-×-	入 口	
	主 軸	不明	炉・竈	形状
	壁高cm	20	規模	備考
	状 態	ほぼ垂直		
特記事項	土師器杯・鉢・甕			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737	

SB128

検出位置	BQ15	覆 土		
切 合	切 る	床 面	堅固	
切られる	SB110, 111, 127, 138	主柱穴		
規模・形状	プラン	方形	住居内施設 貯蔵穴	
	規模m	-×-	入 口	
	主 軸	不明	炉・竈	形状
	壁高cm	30	規模	石芯粘土甕 130×100cm
	状 態	ほぼ垂直		備考
特記事項	土師器杯・鉢・高杯・甕、須恵器甕・甕			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737	

SB130

検出位置	BU16	覆 土		
切 合	切 る SB117, 134, 135	床 面	やや軟弱	
切られる		主柱穴	4基: P1~P4	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設 貯蔵穴	
	規模m	8.4×7.4	入 口	
	主 軸	N49° W	炉・竈	形状
	壁高cm	16	規模	石芯粘土甕 148×100cm
	状 態	やや緩やか		備考
特記事項	土師器杯・高杯・甕、須恵器蓋・杯・高杯・甕・甕			
時代・時期	奈良	調査位置	ARY4737	

S B131

検出位置	BX11	覆土	
切る		床面	
切られる	別記	主柱穴	
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模	4.2×4.0	入口	
主軸	N68° W	形状	
壁高	23	規模	
状態	不明	備考	
特記事項	SB123, SD38, 火葬墓1, 2に切られる		
土師器	杯・甕、須恵器蓋・杯		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B133

検出位置	AC07	覆土	
切る		床面	比較的堅固
切られる	SB132	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模	—×—	入口	
主軸	不明	形状	
壁高	—	規模	
状態	不明	備考	
特記事項	土師器高杯・甕		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B135

検出位置	BS17	覆土	
切る		床面	堅固
切られる	SB130	主柱穴	3基：P1～P3
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模	5.6×—	入口	
主軸	N48° W	形状	
壁高	23	規模	
状態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	土師器鉢・甕		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B137

検出位置	BH20	覆土	
切る		床面	
切られる	SB101, SD37	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模	—×—	入口	
主軸	不明	形状	
壁高	—	規模	
状態	不明	備考	
特記事項	土師器甕		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B132

検出位置	AC08	覆土	
切る	SB133, 136	床面	やや軟弱
切られる	SD38	主柱穴	3基：P1～P3
プラン	不整形	貯蔵穴	
規模	7.4×5.9	入口	
主軸	N30° W	形状	石芯粘土甕
壁高	13	規模	98×98cm
状態	不明	備考	
特記事項	SK08と重複		
土師器	高杯・甕、須恵器蓋・杯・高杯・甕・壺・蓋 灰釉陶器小型皿		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B134

検出位置	BU13	覆土	
切る		床面	
切られる	SB130, SD38	主柱穴	4基：P1～P4
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模	6.4×5.6	入口	
主軸	N40° W	形状	石芯粘土甕
壁高	40	規模	100×70cm
状態	やや緩やか	備考	
特記事項	土師器杯・鉢・高杯・甕・甕、須恵器蓋・杯・甕		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B136

検出位置	AD08	覆土	
切る		床面	
切られる	SB132	主柱穴	
プラン	方形	貯蔵穴	
規模	—×—	入口	
主軸	不明	形状	
壁高	10	規模	
状態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	甕・壺、磨製石斧		
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARY4737

S B138

検出位置	BO15	覆土	
切る	SB110, 111, 128	床面	
切られる	SB127	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模	—×—	入口	
主軸	不明	形状	石芯粘土甕
壁高	—	規模	—×—
状態	不明	備考	
特記事項	甕のみ確認		
土師器	甕・甕		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

SB139

検出位置	BN47	覆土	
切る		床面	軟弱な貼り床
切られる	ST37, 52	主柱穴	
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模	5.5×-	入口	
主軸	N49° W	形状	
壁高	20	規模	
状態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	土師器杯・高杯・甕、高杯、須恵器蓋・甕		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

SB141

検出位置	BC07	覆土	暗褐色土
切る	SB143	床面	きわめて軟弱
切られる	別記	主柱穴	
プラン	方形	貯蔵穴	
規模	6.2×5.8	入口	
主軸	N50° W	形状	粘土甕
壁高	15	規模	-×-
状態	不明	備考	
特記事項	SB140, ST32, 34, 46, 48に切られる 土師器高杯・甕・小型甕、須恵器蓋・杯・甕・平板 帯金具		
時代・時期	奈良	調査位置	ARY4737

SB143

検出位置	BE08	覆土	
切る		床面	やや軟弱
切られる	SB141, 155, ST32, 46	主柱穴	
プラン	不整形	貯蔵穴	
規模	6.3×-	入口	
主軸	不明	形状	
壁高	10	規模	
状態	不明	備考	
特記事項	土師器杯・高杯・甕、須恵器蓋・杯・高杯・甕		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

SB145

検出位置	BG49	覆土	
切る	別記	床面	軟弱
切られる		主柱穴	
プラン	不整形	貯蔵穴	
規模	6.0×5.0	入口	
主軸	N53° W	形状	
壁高	20	規模	
状態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	SB146, 148, 149, 150, 152, ST35, 36, 45を切る 土師器杯・甕、須恵器杯・甕・蓋、灰軸陶器碗		
時代・時期	平安後期	調査位置	ARY4737

SB140

検出位置	BD05	覆土	
切る		床面	軟弱
切られる	別記	主柱穴	4基:P1~P4
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模	5.3×5.2	入口	
主軸	N72° W	形状	石芯粘土甕
壁高	15	規模	160×100cm
状態	不明	備考	
特記事項	SB141, ST32, 33, 34, 38に切られる 土師器杯・高杯・甕、須恵器蓋・杯・高杯・甕		
時代・時期	奈良	調査位置	ARY4737

SB142

検出位置	BG03	覆土	
切る		床面	堅固 難混
切られる	ST34, 38, 47, 48	主柱穴	
プラン	方形	貯蔵穴	
規模	5.2×4.6	入口	
主軸	N48° W	形状	粘土甕
壁高	20	規模	-×-
状態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	土師器杯・鉢・高杯・甕・甕、須恵器蓋・杯・高杯・甕		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

SB144

検出位置	BI08	覆土	
切る		床面	
切られる	SD37, SA01	主柱穴	
プラン	不整形	貯蔵穴	
規模	4.6×4.2	入口	
主軸	N32° W	形状	甕 形状不明
壁高	18	規模	-×-
状態	やや緩やか	備考	
特記事項	土師器杯・高杯・甕・甕、須恵器杯・甕		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

SB146

検出位置	BF00	覆土	
切る	SB147, 148, 149	床面	
切られる	別記	主柱穴	
プラン	不整形	貯蔵穴	
規模	(4.6)×3.2	入口	
主軸	N53° W	形状	
壁高	22	規模	
状態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	SB145, ST34, 35, 36, 38に切られる 土師器杯・鉢・高杯・甕、須恵器杯・甕		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737

S B147

検出位置	BE49	覆土		
切合	切る	床面	軟弱	
切られる	SB149, 146	主柱穴		
規模・形状	プラン	不明	住居内施設	
	規模m	-x-	貯蔵穴	
	主軸	N50° W	入口	
	壁高cm	25	形状	不明
	状態	やや緩やか	規模	130×120cm
特記事項	土師器杯・高杯・甕・瓶、須恵器蓋・壺			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737	

S B149

検出位置	BE00	覆土		
切合	切る	床面	やや軟弱	
切られる	別記	主柱穴	2基：P1, P2	
規模・形状	プラン	方形	住居内施設	
	規模m	7.1×-	貯蔵穴	
	主軸	N46° W	入口	
	壁高cm	52	形状	不明
	状態	ほぼ垂直	規模	-x-
特記事項	SB145, 146, 147, ST35, 36, 38, SD39に切られる土師器杯・甕、須恵器蓋杯・壺・高杯			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737	

S B151

検出位置	BI02	覆土		
切合	切る	床面	堅固	
切られる	別記	主柱穴		
規模・形状	プラン	方形か	住居内施設	
	規模m	-x-	貯蔵穴	
	主軸	不明	入口	
	壁高cm	19	形状	
	状態	緩やか	規模	
特記事項	SB148, 150, ST47, SD37に切られる土師器杯・甕、須恵器蓋杯・壺			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737	

S B153

検出位置	BI45	覆土		
切合	切る	床面	軟弱	
切られる	別記	主柱穴		
規模・形状	プラン	(隅丸方形)	住居内施設	
	規模m	-x-	貯蔵穴	
	主軸	不明	入口	
	壁高cm	20	形状	
	状態	緩やか	規模	
特記事項	SB152, ST41, 43, 44, SD37に切られる土師器杯・甕、須恵器蓋杯・壺、不明土製品			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737	

S B148

検出位置	BH01	覆土		
切合	切る	床面	きわめて堅固	
切られる	SB145, 146, ST45	主柱穴		
規模・形状	プラン	方形	住居内施設	
	規模m	(4.2)×4.1	貯蔵穴	
	主軸	N84° E	入口	
	壁高cm	36	形状	石芯粘土壺
	状態	やや緩やか	規模	100×98cm
特記事項	土師器杯・鉢・高杯・甕・瓶、須恵器蓋・壺・壺			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737	

S B150

検出位置	BI00	覆土		
切合	切る	床面	やや軟弱	
切られる	別記	主柱穴		
規模・形状	プラン	方形	住居内施設	
	規模m	5.0×-	貯蔵穴	
	主軸	N53° W	入口	
	壁高cm	19	形状	
	状態	やや緩やか	規模	
特記事項	SB145, 148, ST45, SD38に切られる土師器杯・高杯・甕、須恵器蓋杯・壺			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737	

S B152

検出位置	BH47	覆土		
切合	切る	床面	やや堅固	
切られる	別記	主柱穴		
規模・形状	プラン	(方形)	住居内施設	
	規模m	6.4×-	貯蔵穴	
	主軸	N67° W	入口	
	壁高cm	20	形状	
	状態	ほぼ垂直	規模	
特記事項	SB145, 149, ST35, 36, 41, 43, 44, SD37に切られる焼失(焼却)家屋土師器杯・鉢・高杯・甕、須恵器蓋杯・壺・壺			
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4737	

S B154

検出位置		覆土		
切合	切る	床面		
切られる		主柱穴		
規模・形状	プラン		住居内施設	
	規模m		貯蔵穴	
	主軸		入口	
	壁高cm		形状	
	状態		規模	
特記事項	欠番			
時代・時期		調査位置		

S B155

検出位置		BE09		覆 土	
切 合	切 る	SB143, ST32	床 面	軟弱	
	切られる	ST46	主柱穴		
規 模・形 状	プラン	不整形	貯蔵穴		
	規模m	4.4×-	入 口		
	主 軸	不明	炉・	形状	石芯粘土壘
	壁高cm	19	壁	規模	120×-cm
	状 態	不明	備考		
特記事項					
時代・時期		平安	調査位置 ARY4737		

S B157

検出位置		BG13		覆 土	
切 合	切 る		床 面		
	切られる	ST56	主柱穴	1基:P4	
規 模・形 状	プラン	方形	貯蔵穴		
	規模m	5.8×-	入 口		
	主 軸	不明	炉・	形状	
	壁高cm	27	壁	規模	
	状 態	ほぼ垂直	備考		
特記事項					
土師器杯・甕、須恵器杯、編物石、土製紡錘車					
時代・時期		古墳後期	調査位置 ARY4820		

S B159

検出位置		BB12		覆 土 4層	
切 合	切 る	SB167	床 面		
	切られる		主柱穴	4基:P1~P4	
規 模・形 状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴		
	規模m	10.2×9.6	入 口		
	主 軸	N52° W	炉・	形状	石芯粘土壘
	壁高cm	40	壁	規模	82×82cm
	状 態	やや緩やか	備考		
特記事項					
土師器杯・高杯・甕、須恵器蓋・杯・甕、砥石 施・不明鉄製品					
時代・時期		古墳後期初頭	調査位置 ARY4820		

S B161

検出位置		AW15		覆 土 6層	
切 合	切 る	SB160, 165, 167	床 面		
	切られる	SD41	主柱穴	4基	
規 模・形 状	プラン	隅丸長方形	貯蔵穴		
	規模m	7.2×4.4	入 口		
	主 軸	N52° E	炉・	形状	石芯粘土壘
	壁高cm	47	壁	規模	210×210cm
	状 態	やや緩やか	備考		
特記事項					
土師器甕、須恵器蓋・杯、灰陶陶器片					
時代・時期		平安	調査位置 ARY4820		

S B156

検出位置		BH05		覆 土	
切 合	切 る		床 面	軟弱	
	切られる	別記	主柱穴		
規 模・形 状	プラン	(方形)	貯蔵穴		
	規模m	一×-	入 口		
	主 軸	不明	炉・	形状	壘 形状不明
	壁高cm	31	壁	規模	140×110cm
	状 態	緩やか	備考		
特記事項					
SB141, 142, ST34, 47, 48, SD37に切られる 土師器杯・鉢・高杯・甕、須恵器杯・甕・壘					
時代・時期		古墳後期	調査位置 ARY4737		

S B158

検出位置		AV06		覆 土	
切 合	切 る		床 面		
	切られる		主柱穴		
規 模・形 状	プラン	不明	貯蔵穴		
	規模m	一×-	入 口		
	主 軸	不明	炉・	形状	
	壁高cm	-	壁	規模	
	状 態	不明	備考		
特記事項					
土師器杯・高杯、須恵器蓋・甕					
時代・時期		不明	調査位置 ARY4820		

S B160

検出位置		AW13		覆 土 4層	
切 合	切 る	SB167	床 面		
	切られる	SB161	主柱穴	4~6基	
規 模・形 状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴		
	規模m	6.0×4.0	入 口		
	主 軸	N47° E	炉・	形状	石芯粘土壘
	壁高cm	38	壁	規模	90×90cm
	状 態	ほぼ垂直	備考		
特記事項					
土師器甕、鉄製刀子					
時代・時期		奈良	調査位置 ARY4820		

S B162

検出位置		AV20		覆 土	
切 合	切 る		床 面		
	切られる	ST57, 58, 59, 60	主柱穴		
規 模・形 状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴		
	規模m	6.0×6.0	入 口		
	主 軸	N37° W	炉・	形状	粘土壘
	壁高cm	30	壁	規模	110×100cm
	状 態	ほぼ垂直	備考		
特記事項					
土師器杯・甕、須恵器蓋、石製模造品、土製紡錘車					
時代・時期		古墳後期	調査位置 ARY4820		

S B163

検出位置	BA20	覆土	
切る		床面	
切られる	ST53, 58	主柱穴	
プラン	少し歪んだ隅丸長方形	貯蔵穴	
規模m	6.0×4.0	入口	
主軸	不明	形状	
壁高cm	30	規模	
状態	ほぼ垂直	備考	
特記事項			
土師器	杯・甕・甔		
時代・時期	不明	調査位置	ARY4820

S B165

検出位置	BA14	覆土	
切る	SB167	床面	
切られる	SB161, ST53	主柱穴	1基:P4
プラン	隅丸長方形	貯蔵穴	
規模m	5.2×(3.8)	入口	
主軸	N43° W	形状	石芯粘土甕
壁高cm	48	規模	130×90cm
状態	ほぼ垂直	備考	
特記事項			
土師器	長胴甕、須臾器蓋、敲打器		
時代・時期	奈良	調査位置	ARY4820

S B167

検出位置	AY13	覆土	6層
切る		床面	
切られる	SB159, 160, 161, 165	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模m	-×-	入口	
主軸	不明	形状	
壁高cm	24	規模	
状態	ほぼ垂直	備考	
特記事項			
甕の底部			
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARY4820

S B169 (第2図)

検出位置	BX20	覆土	単層
切る		床面	軟弱
切られる		主柱穴	4基
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	東隅のP8
規模m	600×-	入口	
主軸	N60° W	形状	甕
壁高cm	31	規模	240×110cm
状態	緩やか	備考	
特記事項	増改築あり(麾下に周溝2本検出)		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4946

S B164

検出位置	BE16	覆土	
切る		床面	
切られる	ST56	主柱穴	
プラン	隅丸長方形	貯蔵穴	
規模m	4.8×4.0	入口	
主軸	不明	形状	
壁高cm	20	規模	
状態	ほぼ垂直	備考	
特記事項			
土師器	甕・甔、須臾器杯		
時代・時期	不明	調査位置	ARY4820

S B166

検出位置		覆土	
切る		床面	
切られる		主柱穴	
プラン		貯蔵穴	
規模m		入口	
主軸		形状	
壁高cm		規模	
状態		備考	
特記事項			
欠番			
時代・時期		調査位置	

S B168 (第1図)

検出位置	BU11	覆土	単層
切る	SB172, 171, SH3, SD43	床面	堅固
切られる		主柱穴	2基
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模m	-×-	入口	
主軸	N57° W	形状	地床炉
壁高cm	80	規模	75×48cm
状態	ほぼ垂直	備考	炉縁石あり
特記事項			
土師器	甕(穿孔のある甕あり)・小型丸底鉄製平根鎌		
時代・時期	古墳前期	調査位置	ARY4946

S B170 (第2図)

検出位置	AD18	覆土	単層
切る		床面	部分的堅固
切られる	SD24	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模m	-×-	入口	
主軸	N12° E	形状	炉1基 石囲炉
壁高cm	-	規模	105×100cm
状態	やや緩やか	備考	炉中に遺物あり
特記事項			
深鉢1個	正位で出土したが埋藏であるか不明		
時代・時期	縄文中期	調査位置	ARY4946

SB171 (第3図)

検出位置	BV10	覆土	単層
切合	切る	床面	軟弱
	切られる	SB172	
規模・形状	プラン	円形	主柱穴 1基
	規模m	-×-	貯蔵穴
	主軸	不明	入口
	壁高cm	21	形状
	状態	ほぼ垂直	規模
			備考
特記事項			
時代・時期	縄文中期	調査位置	ARY4946

SB173

検出位置	AH15	覆土	
切合	切る	床面	
	切られる	小竈穴13	主柱穴
規模・形状	プラン	不明	貯蔵穴
	規模m	-×-	入口
	主軸	不明	形状
	壁高cm	-	規模
	状態	不明	備考
	特記事項	床面のみ検出 焼土あり	
時代・時期	縄文	調査位置	ARY4946

SB175

検出位置	AT38	覆土	6層
切合	切る	床面	明確でない
	切られる		主柱穴 2基
規模・形状	プラン	不整形	貯蔵穴
	規模m	5.5×-	入口
	主軸	不明	形状
	壁高cm	30	規模
	状態	やや緩やか	備考
	特記事項	高杯・甕・壺、打製石斧・横刃型石斧	
時代・時期	弥生後期初頭	調査位置	ARY4741

SB177

検出位置	AN32	覆土	褐色土
切合	切る	床面	堅固
	切られる		主柱穴
規模・形状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴
	規模m	3.8×-	入口
	主軸	不明	形状
	壁高cm	22	規模
	状態	ほぼ垂直	備考
	特記事項	土師器高杯・甕・壺・埴、須恵器甕・壺	
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4741

SB172 (第3図)

検出位置	BT09	覆土	単層
切合	切る	床面	軟弱
	切られる	SB161, 171	主柱穴
規模・形状	プラン	円形	貯蔵穴
	規模m	-×-	入口
	主軸	不明	形状
	壁高cm	40	規模
	状態	ほぼ垂直	備考
	特記事項	周溝2本検出	
時代・時期	縄文中期	調査位置	ARY4946

SB174

検出位置	AF16	覆土	
切合	切る	床面	
	切られる		主柱穴
規模・形状	プラン	不明	貯蔵穴
	規模m	-×-	入口
	主軸	不明	形状
	壁高cm	-	規模
	状態	不明	備考
	特記事項	プランのみ確認	
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4946

SB176

検出位置		覆土	
切合	切る	床面	
	切られる		主柱穴
規模・形状	プラン		貯蔵穴
	規模m		入口
	主軸		形状
	壁高cm		規模
	状態		備考
	特記事項	欠番	
時代・時期		調査位置	調査位置

SB178

検出位置	AN34	覆土	褐色土
切合	切る	床面	非常に良好
	切られる	SB177, ST64	主柱穴 3基:P1~P3
規模・形状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴
	規模m	5.0×-	入口
	主軸	N50°W	形状
	壁高cm	28	規模
	状態	ほぼ垂直	備考
	特記事項		
時代・時期	弥生後期初頭	調査位置	ARY4741

S B179

検出位置	AK34	覆 土	暗褐色土
切 合	切 る	床 面	良好
切られる	ST64, SD45	主柱穴	4基: P1~P4
プラン	隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴
規模	m 5.0×4.2	炉・竈	入口
主 軸	N155° E	形状	地床炉
壁高	cm 35	規模	40×40cm
状 態	ほぼ垂直	備考	炉縁石を持つ
特記事項	壺・甕		
時代・時期	弥生後期初頭	調査位置	ARY4741

S B181

検出位置	BT38	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる		主柱穴	
プラン	不整長方形	住居内施設	貯蔵穴
規模	m 3.5×-	炉・竈	入口
主 軸	不明	形状	
壁高	cm -	規模	
状 態	不明	備考	
特記事項	プランのみ確認		
時代・時期	弥生中期	調査位置	ARY4762

S B183

検出位置	AA11	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる		主柱穴	
プラン	不明	住居内施設	貯蔵穴
規模	m -×-	炉・竈	入口
主 軸	不明	形状	
壁高	cm -	規模	
状 態	不明	備考	
特記事項	SD32と重複、プランのみ確認		
時代・時期	不明	調査位置	ARY4733

S B185

検出位置	AC06	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる		主柱穴	
プラン	隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴
規模	m 8.0×-	炉・竈	入口
主 軸	不明	形状	
壁高	cm -	規模	
状 態	不明	備考	
特記事項	プランのみ確認		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4733

S B180 (第3図)

検出位置	AE05	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	SA01, SD62, SD60	主柱穴	
プラン	隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴
規模	m 3.4×(2.0)	炉・竈	入口
主 軸	N142° E	形状	炉
壁高	cm 5	規模	(45)×(40)cm
状 態	緩やか	備考	
特記事項			
時代・時期	弥生後期初頭	調査位置	ARY4764-1

S B182

検出位置	AD14	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる		主柱穴	
プラン	不明	住居内施設	貯蔵穴
規模	m -×-	炉・竈	入口
主 軸	不明	形状	
壁高	cm -	規模	
状 態	不明	備考	
特記事項	SD32と重複 プランのみ確認		
時代・時期	不明	調査位置	ARY4733

S B184

検出位置	BT06	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる		主柱穴	
プラン	不明	住居内施設	貯蔵穴
規模	m -×-	炉・竈	入口
主 軸	不明	形状	
壁高	cm -	規模	
状 態	不明	備考	
特記事項	プランのみ確認		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4733

S B186

検出位置	BY07	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる		主柱穴	
プラン	隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴
規模	m 4.1×-	炉・竈	入口
主 軸	不明	形状	
壁高	cm -	規模	
状 態	不明	備考	
特記事項	プランのみ確認		
時代・時期	古墳後期	調査位置	ARY4733

S B187

検出位置	BU21	覆 土		
切合	切 る	床 面		
	切られる		主柱穴	
規模・形状	プラン	不明	住居内施設 炉・竈	
	規模m	5.3×-		貯蔵穴
	主 軸	不明		入 口
	壁高cm	-		形状
	状 態	不明		規模
特記事項	プランのみ確認			
時代・時期	不明	調査位置	ARY4838-1	

S B189

検出位置	BR17	覆 土		
切合	切 る	床 面		
	切られる		主柱穴	
規模・形状	プラン	不明	住居内施設 炉・竈	
	規模m	-×-		貯蔵穴
	主 軸	不明		入 口
	壁高cm	-		形状
	状 態	不明		規模
特記事項	プランのみ確認			
時代・時期	不明	調査位置	ARY4838-1	

S B188

検出位置	BT19	覆 土		
切合	切 る	床 面		
	切られる	火葬墓3	主柱穴	
規模・形状	プラン	(隅丸方形)	住居内施設 炉・竈	
	規模m	(5.3)×-		貯蔵穴
	主 軸	不明		入 口
	壁高cm	-		形状
	状 態	不明		規模
特記事項	プランのみ確認			
時代・時期	不明	調査位置	ARY4838-1	

S B190

検出位置	BP16	覆 土		
切合	切 る	床 面		
	切られる		主柱穴	
規模・形状	プラン	不明	住居内施設 炉・竈	
	規模m	-×-		貯蔵穴
	主 軸	不明		入 口
	壁高cm	-		形状
	状 態	不明		規模
特記事項	プランのみ確認			
時代・時期	不明	調査位置	ARY4838-1	

② 竪立柱建物址 (ST) (第3～4区、図版6)

遺構No.	図No.	調査位置	出土位置	(桁×梁) m	間×間	柱間距	柱断面	柱高	柱量	桁行方向	時代	重複関係	出土遺物	備考
ST01		ARY-447-1	AV21	4.6×4.4	3×2	2.2~2.4	1.4~1.6	N47° E	弥生中期以降					
ST02		ARY-447-1	BC43	-x-	(1×1)	0.8	1.2	N46° E	弥生中期以降				土師器小片	
ST03		ARY-447-1	AV38	(3.1)×(2.9)	(1×1)	2.8	3.0	N35° W	古墳以降			SB14, 15, 17を切り, ST04と重複		
ST04		ARY-447-1	A011	9.7×6.0	4×3	1.6~2.0	2.0~2.6	N38° E	奈良			SB03, 54, ST06, 07を切り, SK02, 03と重複		
ST05		ARY-447-1	AS14	9.2×5.5	4×3	1.8~2.2	2.0~2.6	N40° W	奈良			SB05, 09, SK08, SD23を切り, ST07, 08に切られる		
ST06		ARY-447-1	AQ10	x5.0	-x2	2.4~2.5	2.4~2.6	N40° W	奈良			SB02, 04, ST05, 06, SK02, 03を切り		
ST07		ARY-447-1	AQ10	x5.0	-x2	2.4~2.5	2.4~2.6	N40° W	奈良			ST06, 09を切り, SD24と重複		
ST08		ARY-447-1	AT11	2.7×2.2	2×2	1.2~1.3	1.4~1.5	N30° E	奈良			SB11, 12, SD01を切り, ST15と重複		
ST09		ARY-447-1	AM33	10.7×5.2	5×3	1.4~1.8	2.0~2.6	N45° E	奈良			SB15を切り, ST04に切られる		
ST10		ARY-447-1	AX36	2.6×2.3	(1×1)	2.3	2.6	N54° W	弥生中期以降			SB25を切り		
ST11		ARY-447-1	BC20	-x-	-x-	-x-	1.3	1.5	N35° W			SD15, 16に切られ, SB57と重複		
ST12		ARY-447-1	BC12	3.3×2.8	3×2	1.4	1.0~1.2	N29° W	古墳後期以降			SB21, SD06, 07に切られる		
ST13		ARY-447-1	AN24	3.3×2.8	3×2	1.3~1.4	1.0~1.1	N32° W	古墳後期以降			SD02を切り, ST10, 18と重複		
ST14		ARY-447-1	A035	-x6.8	-x3	2.0~2.4	1.6~2.0	N62° W	奈良			SD06に切られ, SD05と重複		
ST15		ARY-447-1	AB31	-x-	-x-	1.8	-	N46° E	奈良			SB11, ST10, SD01, 02, SK09を切り, ST15と重複		
ST16		ARY-447-1	BQ19	4.0×3.5	(1×1)	3.5	4.1	N42° E	古墳以降			ST61に切られ, SD18と重複		
ST17		ARY-447-1	AP31	9.2×5.9	4×3	1.8~2.2	2.0~3.0	N43° E	奈良					
ST18		ARY-447-1	AV28	(8.0×4.0)	(5×2)	1.5~2.6	1.2~2.4	N36° E	奈良					
ST19		ARY-447-1											ARY680で再調査	
ST20													欠番	
ST21													欠番	
ST22													欠番	
ST23	第3区	ARY4824-2	BU25	10.0×-	5×-	1.9~2.0	2.0~2.2	N37° E	奈良					
ST24		ARY4742	AD22	11.5×6.0	5×3	1.8~2.0	1.4~2.0	N73° W	古墳末~奈良			SB72, 73, 75, 83, 84, 88, SD36を切り		
ST25		ARY4737	BW27	6.6×-	4×-	1.4~3.2	1.4~2.2	N24° W	古墳後期以降			SB90, 91, 92を切り		
ST26		ARY4737	BY23	5.4×-	3×-	1.4~1.8	1.4~1.6	N38° W	古墳後期以降			SB88, 90, 91を切り		
ST27		ARY4737	BC08	-x-	-x-	-x-	-	N27° E	1.6~2.0			ST32, 33と重複		
ST28		ARY4737	BN17	7.2×-	4×-	1.6~1.8	1.8~2.0	N42° W	古墳後期以降			SB108, 110, 111を切り, SB96に切られる		
ST29		ARY4737	AJ14	-x-	-x-	1.6~1.8	1.8~2.0	N42° W	古墳後期以降			SB108, 114を切り, SD37と重複		
ST30		ARY4737	BR11	6.8×-	4×-	1.4~1.6	1.8~2.4	N28° E	古墳後期以降			SB125, 126を切り		
ST31		ARY4737	B008	4.0×3.8	3×2	1.4~1.6	1.6~1.8	N39° W	古墳後期以降			SB122を切り		
ST32		ARY4737	BE07	5.6×4.4	3×2	1.6~1.8	1.8	N40° W	古墳後期以降			SB140, 141, 143を切り, ST27, 33と重複		
ST33		ARY4737	B005	-x5.8	-x3	1.8~2.2	1.3~2.0	N50° W	古墳後期以降			SB140を切り, ST27, 32と重複		
ST34		ARY4737	B905	6.8×6.4	4×3	1.4~2.2	2.0~2.1	N38° W	平安初期			SB140, 141, 142を切り, ST38, 48と重複		
ST35		ARY4737	BE00	5.9×5.2	3×2	1.4~2.0	2.0~2.2	N35° W	古墳後期以降			SB146, 147, 149, 152, 小壺穴30を切り, ST36と重複		
ST36		ARY4737	BE01	6.6×-	4×-	1.4~1.5	1.6~1.7	N43° W	古墳後期以降			SB146, 147, 149, 152を切り, ST35と重複		

遺構No.	図記	調査位置	検出位置 (桁×縦) m	間×間 m	柱間幅 m	柱間角	柱間積	桁行方向	時代	重複関係	出土遺物	備考
ST37		ARY4737	B048 6.4×5.0	4×3	1.0~1.8	1.2~2.0	N48° E	奈良小	SB139を切り、ST39, 40, 51, 52, 小壺穴9と重複			
ST38		ARY4737	B05 6.4×6.0	4×2	1.4~1.6	2.9	N40° W	奈良前期	SB140, 142, 146, 149を切り、ST34と重複			
ST39		ARY4737	B01 4.0×3.7	2×2	1.6~1.8	1.6~2.0	N40° E	奈良小	ST37, 40, 52と重複			
ST40		ARY4737	BM02 7.0×5.2	4×3	1.4~1.8	1.4~2.0	N84° W	古墳後部以降	SB139を切り、ST37, 39, 51, 52, 小壺穴9, SD37, SA01と重複			
ST41		ARY4737	B46 5.0×5.8	4×(3)	1.8~2.0	1.2~1.8	N50° W	古墳後部以降	SB152を切り、ST43, 44, SD37と重複			
ST42		ARY4737	B46 5.4×4.8	4×3	1.3~1.4	1.4~1.8	N40° W	古墳後部以降	SB152, SD37, SA01と重複			
ST43		ARY4737	BG45 6.6×3.8	(6)×2	2.0~2.6	1.7~1.8	N37° W	古墳後部以降	SB152, 153を切り、ST41, 44, SD37と重複			
ST44		ARY4737	B44 5.4×5.4	3×3	1.6~2.0	1.4~2.1	N40° W	古墳後部以降	SB152, 153を切り、ST41, 43, SD37と重複			
ST45		ARY4737	B01 -x-	-x-	1.2~1.6	1.2~1.4	N44° E	古墳後部以降	SB145, 148, 150に切られ、SD37と重複			
ST46		ARY4737	BH09 5.0×3.0	(3)×2	1.6~1.8	1.3~1.6	N37° W	中世	SB141, 143, 144を切り、SB156に切られる(?)			
ST47		ARY4737	B02 7.0×-	4×-	1.4~2.0	1.6	N85° W	古墳後部以降	SB142, 156を切り、ST48, SD37と重複			
ST48		ARY4737	B06 4.4×4.0	(3)×2	1.2~1.6	1.6~2.3	N75° W	古墳後部以降	SB141, 142, 156を切り、ST34, 47, SD37と重複			
ST49		ARY4737	BM04 4.0×3.4	2×2	1.7~2.2	1.6~1.7	N7° W	中世	SB113, 114, SD37を切る			
ST50		ARY4737	BG14 4.4×-	3×-	1.2~1.5	1.0~1.2	N47° W	中世	ST40, 42, 50, 小壺穴9, SD37, SA01と重複			
ST51		ARY4737	BL00 -x-	-x-	1.8~2.2	1.6~2.2	N40° W	中世小	SB159を切り、ST37, 39, 40, 小壺穴9, SD37, SA01と重複			
ST52		ARY4737	BM01 6.0×5.0	3×2	1.6~2.2	1.8~3.0	N1° E	古墳後部以降	SB163を切る			
ST53		ARY4680	AY18 10.1×4.8	5×2	1.4~2.6	1.8~2.4	N40° E	奈良	ST56と重複			
ST54		ARY4680	AY26 4.0×3.4	2×2(壁切)	1.5~1.7	1.3~1.6	N65° E	中世	ST54を切り、ST37と重複			
ST55		ARY4680	BB24 5.0×5.0	3×2	1.8~2.6	2.0~4.6	N45° W	古墳以降	SB157, 164を切る			
ST56		ARY4680	BG15 9.4×6.0	3×2	1.3~2.4	1.8~2.4	N55° W	奈良	SB162を切り、SB163に切られ、ST59と重複			
ST57		ARY4680	BA22 8.8×5.6	3×2	2.0~3.0	2.2~2.4	N46° W	平安	SB162を切る			
ST58		ARY4680	AV24 6.4×4.2	3×2	1.6~2.0	1.8~2.2	N46° W	奈良	SB162を切る			
ST59		ARY4680	AT20 8.0×4.8	3×2	1.9~3.0	1.8~2.2	N46° E	奈良	SB162を切り、ST57, ST50と重複			
ST60		ARY4680	AV22 5.6×4.4	2×2	2.1~2.5	1.7~2.0	N45° W	奈良	SB162を切り、ST56, 59と重複			
ST61		ARY4680	AT96 5.0×-	3×-	1.4~2.2	1.2~1.4	N40° E	不明	ST114と重複			
ST62	第3図	ARY4946	BV07 5.0×-	3×-	2.0	2.2	N30° E	奈良	SB162を切り、ST57, ST50と重複			
ST63		ARY4941・0742	AL32 4.6×-	3×-	-	1.3~1.4	N38° E	古墳末~奈良	SD45を切る			
ST64		ARY4941・0742	AM35 6.6×4.8	4×3	1.4~1.6	1.2~1.6	N55° E	古墳末~奈良	SB178, 179を切る			
ST65	第3図	ARY4762	BP45 -x4.4	-x-	-	-	-	-	須磨器蓋			
ST66	第4図	ARY4767-7	AP47 (2.3)×(2.3)	-x-	-	-	-	-	須磨器蓋			

③ 権列(SA)・柱列址(第4図)

遺構No.	図記	調査位置	検出位置 長×幅 m	柱間幅 m	柱間角	柱間積	方向	時代	重複関係	出土遺物	備考
SA01	第4図	ARY4764-1	AF05						SB160, SD52を切る		
柱列址		ARY4737	BK08 54	0.8~1.4	N86° W	奈良			SB103, 108, 144を切り、ST29, 40, 42, 51, 52と重複		

④ 土坑 (SK) (第4~5区、図版7)

遺構No.	図No.	調査位置	出土位置	規模(長×幅×深)cm	形態	時代	重	出土遺物	備考
SK01		ARY447バズ	AS11	80×80×-	円形				
SK02		ARY447バズ	AQ09	110×80×28	長方形	奈良以前	SK03を切り、ST06に切られる		
SK03		ARY447バズ	AQ09	90×100×25	楕円形	奈良以前	ST06, SK02に切られる		
SK04		ARY447バズ	AP08	80×75×31	円形		SB54を切る		
SK05		ARY447バズ	AS13	110×80×-	楕円形	弥生中期以降			
SK06		ARY447バズ	AN11	130×30×61	不定形				
SK07		ARY447バズ	AT12	90×60×40	楕円形	奈良以前	ST09に切られる		
SK08		ARY447バズ	AS15	130×80×57	楕円形	奈良以前	ST06に切られる		
SK09		ARY447バズ	AS13	100×70×34	不定形				
SK10		ARY447バズ	BL17	25×12×34	不明				
SK11		ARY447バズ	AT34	85×40×43	不明	奈良以前	ST10cに切られる		
SK12		ARY447バズ	AR32	(70)×70×63	不明	奈良以前	ST10cに切られる		
SK13		ARY447バズ	AQ36	110×(40)×30	不明		SK14に切られる		
SK14		ARY447バズ	AQ36	110×110×40	円形		SK13, 15を切る		
SK15		ARY447バズ	AQ36	(50)×70×12	不明		SK14に切られる		
SK16		ARY4737	BW03	140×-×44	(楕円)				
SK17		ARY4737	AA06	85×70×36	円形		SB133と重複		
SK18		ARY4737	AB08	120×110×27	不定形	古墳後期以降	SB133を切る		
SK19		ARY4737	BP07	180×160×49	円形				
SK20									欠番
SK21		ARY4946	AB15	190×-×-	不明	縄文前期			
SK22		ARY4741	AR39	250×120×60	不定形				
SK23		ARY4741	AR40	160×80×30	不定形				
SK24	第4区	ARY4764-1	AP04	202×(160)×33	隅丸長方形				
SK25	第4区	ARY4764-1	AP04	282×(269)×34	不定形				
SK26	第4区	ARY4764-1	A506	98×88×40	円形		SD48と重複		
SK27	第4区	ARY4764-7	B900	167×(80)×33	楕円形				
SK28	第4区	ARY4762	BS42	280×278×130	円形				
SK29	第5区	ARY4762	BT41	210×188×61	楕円形				

⑤ 火葬墓

遺構No.	調査位置	出土位置	規模(長×幅×深)cm	形態	時代	重	出土遺物	備考
火葬墓1	ARY4743	BW10	95×85×20	円形	中世		SB131, SD38を切る	
火葬墓2	ARY4743	BN09	75×75×-	円形	中世		SB131を切る	
火葬墓3	ARY4833	AA06	200×150×-	不定形				

⑥ 築石(S1)(第5図、図版7)

遺構No	調査位置	検出位置	規模(長×短×深)cm	形態	主軸方向	壁の状態	時代	重複関係	出土遺物	備考
S101	AMD-バイパス	AJ23	170×170×20	凹形	不定形	やや傾やか	古墳後期	SB26に切られる	弥生土器高杯	
S102	AMD-バイパス	AK23	260×200×20	不整形	不定形	ほぼ垂直	古墳後期以前			掘り方らしき物あり
S103	AMD-バイパス	AM17	168×8×29	不明	長方形	ほぼ垂直	古墳後期か		土師器片、須恵器片	
S104	ARY4737	BN16	140×120×-	不明	方形	やや傾やか	中世	SB110を切る		火葬墓 掘り方なし
S105	ARY4737	BS15	80×50×40	楕円形	楕円形	やや傾やか	中世	SD38を切る		火葬墓 掘り方あり
S106	ARY4737	BW13	80×70×44	楕円形	楕円形	ほぼ垂直	中世			火葬墓 掘り方あり
S107	ARY4737	BI20	110×90×35	不整形	方形	ほぼ垂直		SB101, 103と重複		掘り方あり
S108	ARY4737	BK15	200×100×-	不明	不明	不明				掘り方なし
S109	ARY4737	BH45	170×110×24	楕円形	楕円形	不明	中世			火葬墓 掘り方あり
S110										
S111	第580	ARY4946	AC14	楕円形	楕円形	不明				
S112	第580	ARY4946	AD12	楕円形	楕円形	不明				
S113	第580	ARY4946	BT09	不明	不明	不明				欠番

⑦ 小竪穴(第5図、図版7)

遺構No	調査位置	検出位置	規模(長×短×深)cm	形態	主軸方向	壁の状態	時代	重複関係	出土遺物	備考
小竪穴1	ARY-バイパス	BQ24	(140)×100×20	不定形	不定形	やや傾やか	縄文早期末	小竪穴2と重複	縄文土器厚鉢、石鏃・横刃型石器・特殊磨石	
小竪穴2	ARY-バイパス	BQ24	140×80×30	不定形	長方形	ほぼ垂直	縄文早期末	小竪穴1と重複	縄文土器片、石鏃	
小竪穴3	ARY-バイパス	BT26	100×80×30	長方形	楕円形	ほぼ垂直	縄文早期末		縄文土器片、石鏃	
小竪穴4	ARY-バイパス	BU28	95×65×30	楕円形	楕円形	やや傾やか	縄文早期末	SB23に切られる	縄文土器片、厚碗石片	
小竪穴5	ARY-バイパス	AL29	190×160×78	方形	方形	やや傾やか	縄文早期末		縄文土器片、石皿、横刃型石器	
小竪穴6	ARY-バイパス	BY31	(160)×110×20	楕円形	楕円形	ほぼ垂直	縄文早期末		縄文土器片、石鏃・スクレイパー・磨石	
小竪穴7	ARY-バイパス	BL22	(140)×(80)×110	楕円形	楕円形	ほぼ垂直	縄文後期	SB21, 26に切られる	縄文土器片、高杯・甕、須恵器蓋	
小竪穴8	ARY4737	BP22	370×240×37	方形	方形	ほぼ垂直	古墳後期	ST37, 40, 51, 52と重複	土師器杯・高杯・甕、須恵器蓋・杯	
小竪穴9	ARY4737	BM49	-×155×21	不明	不明	不明	古墳後期	SB107, 105, 102, ST55と重複	土師器杯・高杯・甕、須恵器蓋・杯	
小竪穴10	ARY4737	BF48	-×-×-	不明	不明	不明				
小竪穴11	ARY4820	AX06	-×2.9×10	不明	不明	不明				
小竪穴12	ARY4946	AF19	-×-×-	不明	不明	不明				
小竪穴13	ARY4946	AH15	270×20×-	不明	不明	不明				
小竪穴14	第580	ARY4946	BW09	隅丸方形	隅丸方形	傾やか				
小竪穴15	第580	ARY4824-2	200×(200)×-	隅丸方形	隅丸方形	不明		平安以降		
小竪穴16	第580	ARY4833	228×-×13	不明	不明	傾やか				

⑧ 方形周溝墓(SM)

遺構No	調査位置	規模m	主軸	深m	断面形	主体部規模	主体部主軸	時代	重複関係	備考
SM01	ARY-バイパス	(9.2)×-	N30°W	90~140	逆台形	-	不明	弥生	SB55に切られる	
SM02	ARY4742	(8.0)×-	N40°W	70~100	U字形	-	不明	弥生	SB74, 78, 81, 87に切られ、SB86と重複	打割石斧

⑨ 溝址 (SD)・溝状址 (第6～9区、図版8)

遺構No	調査位置	発出位置	規模 (長×幅×高) m (×穴幅×小室)	主軸	時代	重層関係	出土遺物	備考
SD01	ARY-441-1-1	AT36	(1.4)×1.0×0.2 ×0.6×0.1	西側N68° E 東側N78° W	古墳	SD02を切り、ST10, 16, SK12と重層		
SD02	ARY-441-1-1	AS34	(9.7)×0.8×0.15 ×0.5×0.1	N55° W	古墳以前	ST15, 18, SD01に切られ、SK15と重層		
SD03	ARY-441-1-1	BB38	(17.7)×2.2×0.5 ×1.4×0.26	N53° W	古墳後期	SB10, 19, 50, 59を切り、SD18に切られる	土師器壺・杯・高杯、勾玉	
SD04	ARY4824-2	AJ08	(5.0)×3.0×— ×1.6×—	N44° W	古墳後期	SB70を切る		
SD05	ARY-441-1-1	AU37	(9.5)×1.0×0.4 ×0.8×0.4	N48° W	古墳終末～奈良	SB14, 17を切る	土師器壺小片	
SD06	ARY-441-1-1	BT21	(30.0)×0.8×0.1 ×0.3×0.04	N67° E	弥生中期以降	SB24を切り、SB20, ST16, SD06と重層		
SD06	ARY-441-1-1	BM24	(28.0)×0.8×0.3 ×0.5×0.05	北側N37° W 南側N10° W	弥生中期以降	SB22, ST14, 17を切り、SD07に切られ、SD05と重層	土師器片	
SD07	ARY-441-1-1	BO20	(16.0)×0.7×0.2 ×0.5×0.2	N67° W	古墳以降	SB21, ST14と重層		
SD08	ARY-441-1-1	BT44	(15.0)×1.32×0.3 ×0.96×0.1	N46° W	平安後期以降	SB33を切る	弥生土器片、土師器片	
第7区	ARY4824-2	BY28	(21.0)×1.58×0.29 ×1.3×0.08	N50° W				
SD09	ARY-441-1-1	BT46	(8.0)×2.2×0.6 ×2.0×0.6	N38° W	奈良以降	SB33を切る	土師器壺、須恵器杯・壺	総延長で120m程度
SD09	ARY4824-2	AC30	(29.5)×3.56×0.78 ×2.0×0.24	N58° W			土師器壺 須恵器壺・杯、円面鏡	
第7区	ARY4767-8	AU49	(37.6)×2.44×0.74 ×2.00×0.38	N50° W				
SD10	ARY-441-1-1	BO37	(3.7)×0.5×0.12 ×0.28×0.12	N40° E				
SD11	ARY-441-1-1	BO38	(5.8)×1.0×0.3 ×0.8×0.17	N45° W		SD14と重層		
SD12	ARY-441-1-1	BN39	(5.7)×1.2×0.19 ×0.8×0.13	西側N35° E 東側N50° W		SB41, SD22を切り、SB35と重層		
SD13	ARY-441-1-1	BN42	(16.7)×0.85×0.28 ×0.36×0.08	西側N50° E 東側N46° W	古墳後期以降	SB31, 32, SD22と重層		

遺構№	図№	調査位置	検出位置	規模(長×大欄×大深) m(×小欄×小深)	主軸	時代	重複関係	出土遺物	備考
SD14		ARYバイパス	BP39	(2.9)×0.82×0.2	N44° W		SB31, SD11, 12と重複		
SD15		ARYバイパス	BA18	(23.4)×3.9×0.15 ×1.2×0.1	N75° W	中世以降	SB66, SD16, 17, 21を切り, SB 57, ST13, 溝状壁1と重複	弥生時代遺・土師器 甕・壺、須恵器蓋・杯 山形銅皿・鏡、鉄製品	
SD16		ARYバイパス	AY20	(21.8)×0.6×0.3 ×0.3×0.14	N60° W	奈良以降中世以 前	ST13, SD17, 21を切り, SD15 に切られる		
SD17		ARYバイパス	BB19	(8.6)×1.1×0.7 ×0.5×0.4	N86° E	奈良	SD15, 16を切る	土師器、須恵器片	
SD18		ARYバイパス	AU30	(38.0)×1.5×0.6 ×0.9×0.3	西傾N51° E 東傾N30° W	古墳終末～奈良	SB28, 29, 50, SD03を切り, ST 19と重複	土師器、須恵器片	
SD19		ARYバイパス	AL31	(15.0)×2.0×0.85 ×1.8×0.5	N45° W		SB13, ST10を切りSD20と重複	須恵器杯・壺、円面硯	
SD20		ARYバイパス	AF32	(12.0)×0.66×0.2 ×0.46×0.1	N30° E		SD19と重複		
SD21		ARYバイパス	BC18	(5.5)×0.5×0.1 ×0.16×0.04	N30° E		SD15, 16に切られる		
SD22		ARYバイパス	BL44	(11.0)×0.56×0.70 ×0.18×0.07	N55° W		SB34, SD12, 15, 16に切られ, S B32, 35, SD13と重複		
SD23		ARYバイパス	AQ14	(5.0)×0.66×0.19 ×0.34×0.07	N39° E	奈良以前	ST23に切られる		
SD24		ARYバイパス	AW13	(5.0)×0.70×0.18 ×0.40×0.08	N57° E		ST08と重複		
SD25		ARYバイパス	AK10	(1.2)×0.6×0.2 ×0.5×0.2	N45° W		SB53を切り, SD06に切られる		
SD26									欠番
SD27	第6図	ARY4767-8	AP03	(2.70)×1.10×0.12 ×0.47×0.04	N58° W				
SD28	第6図	ARY4767-8	AQ03	(2.75)×1.30×0.27 ×1.10×0.13	N61° W				
SD29	第6図	ARY4767-8	AQ04	(3.45)×1.65×0.25 ×1.35×0.14	N56° E				
SD30	第6図	ARY4767-8	AT48	(2.60)×0.70×0.23 ×0.22×0.06	N56° W				

遺構No.	図No.	調査位置	検出位置	規模(長×大溝×大溝) m (×小溝×小溝)	主軸	時代	重複関係	出土遺物	備考
SD31	第2図	ARY4833	AF05	8.9×0.8×0.15 ×0.58×0.06	N40° E				
SD32	第3図	ARY4833	AA12	(16)×0.75×0.31 ×0.50×0.06	N35° E				
SD33	第3図	ARY4833	AD04	(3.0)×1.42×0.27 ×0.82×0.10	N36° E				
SD34	第4図	ARY4824.2	AB29	(21.0)×0.96×0.21 ×0.68×0.15	N50° W				
SD35		ARY4742	AH30	(20.0)×1.0×0.4 ×0.5×0.2	北側N30° E 南側N68° W	中世	SB71, 80, 82を切る	天目茶碗	
SD36		ARY4742	AD22	(23.0)×0.46×0.3 ×0.4×0.15	N70° W	古墳前期	SB81, 83, 84, ST24に切られる SB86と重複 SB88を切る		AMD SD04に覆がる 東隣付近の溝底の約50cm 上から黒下層I層の出土。 土壌等は確認できず
SD37	第9図	ARY4737	B100	(52)×3.1×2.0 ×2.3×0.5	西側N82° W 東側N65° W	奈良		土師器杯・高杯・壺 須恵器蓋・杯・高杯・平盤 蓋	
SD38		ARY4737	BV12	(44)×2.5×0.44 ×1.1×0.12	西側N40° W 東側N51° W	中世	SB96, 100, 102, 106, 123, 129~ 135, 溝柱址 3, SK18を切り、SI 05, 火葬墓1, 2に切られる	弥生土器、土師器杯・壺・ 蓋・甕、須恵器蓋・杯・ 壺・甕	
SD39		ARY4737	BC03	(6.2)×(0.8)×0.4 ×0.6×0.3	N65° W	古墳後期		須恵器蓋	
SD40		ARY4820	AT11	(9.2)×2.2×0.8 ×0.8×0.12	N40° E			土師器杯・鉢・高杯・壺	
SD41		ARY4820	AV14	(8.0)×1.2×0.35 ×0.8×0.16	西側N83° E 東側N70° E		SB161を切る		
SD42	第6図	ARY4946	AD17	(18.0)×2.8× ×1.8× -	N25° E				未掘
SD43		ARY4946	BY12	(16.5)×2.3× ×1.5× -	N25° E				未掘
SD44		ARY4946	AC14	(8.6)×0.9× ×0.6× -	N68° W				未掘
SD45		ARY4741	AK30	(5.0)× × -	N64° W	古墳後期	SB179を切り、ST63に切られる	土師器蓋	
SD46									欠番

遺構地	図号	調査位置	検出位置	規模(長×大横×大深) m (×小横×小深)	主軸	時代	重複関係	出土遺物	備考
SD47		ARY4741	AN33	(12.0)×1.5×0.27 ×0.4×0.05	N43° W	古墳		土師器杯	
SD48	第5図	ARY4764-1	AH03	(2.0)×0.6×0.13 ×0.45×0.06	N34° E		SK28と重複		
SD49	第6図	ARY4764-1	AE07	(4.85)×0.4×0.16 ×0.15×0.02	N32° W		SD59を切る	鉄貨	
SD50	第6図	ARY4764-1	AE06	(6.54)×0.45×0.14 ×0.35×0.04	N30° W		SD52, SB180を切る	鉄貨	
SD51	第6図	ARY4764-1	A103	(4.15)×1.9×0.49 ×1.8×0.35	N70° E			円筒埴輪	
SD52	第6図	ARY4764-1	AE05	(3.82)×(2.8)×0.2 ×2.67×0.04	N53° E		SB180を切り、SA01, SK25に 切られる		
SD53		ARY4764-7	BD02	- x - x -	不明				
SD54		ARY4764-7	BD02	- x - x -	不明				
SD55		ARY4764-7	BD02	48.2×22.9×8.2	N18° E			炭化米	
SD56		ARY4764-1	AC04	(3.8)×2.55×- ×1.05×-			SD48, 50を切る		自然流路
SD57	第7図	ARY4824-2	B34	(6.10)×2.00×0.32 ×0.40×0.09	N45° E				
SD58	第7図	ARY4824-2	BY28	(20.4)×1.05×0.24 ×0.80×0.12	北側N50° W 南側N20° W				
溝状址1		ARY4737	BB11	(3.1)×2.4×0.35	N61° W		SB57を切る		
溝状址2		ARY4737	BW04	4.2×0.8×0.2	N45° W	古墳後期	SK16と重複	土師器杯・甕	
溝状址3		ARY4737	AA08	4.6×1.0×0.4	N63° E	古墳後期	SB132を切る		
溝状址4		ARY4737	AC09	- ×0.8×0.4	N49° E	古墳後期	SB132を切る		
溝状址5		ARY4737	AB10	- ×0.9×0.3	N55° E	古墳後期	SB132を切る	土師器甕	

2) 業師垣外地籍 (YKS) (附図2、第10~47図、図版9~45)

① 竪穴住居址 (SB) (第10~19・34・46図、図版12~24)

SB01 (第10図)

検出位置	BU45	覆土	
切る		床面	
切られる	SB03, SB04	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模m	4.8×4.4	入口	
主軸	N53° E	炉・竈	形状 地床炉
壁高cm	47	規模	30×30cm
状態	不明	備考	炉縁石を持つ
特記事項	多量の土器、石器		
時代・時期	弥生後期	調査位置	YKS4674-1

SB02 (第10図)

検出位置	BP40	覆土	
切る		床面	
切られる	SD05, SI01	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模m	2.8×(1.5)	入口	
主軸	N55° E	炉・竈	形状 地床炉
壁高cm	29	規模	53×50cm
状態	不明	備考	炉縁石を持つ
特記事項			
時代・時期	弥生後期	調査位置	YKS4674-1

SB03 (第10図)

検出位置	BT45	覆土	
切る	SB01	床面	
切られる		主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模m	一×一	入口	
主軸	不明	炉・竈	形状
壁高cm	32	規模	
状態	不明	備考	
特記事項	須恵器杯		
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4674-1

SB04 (第11図)

検出位置	BW44	覆土	
切る	SB01, SD05	床面	
切られる		主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模m	(5.7)×5.3	入口	
主軸	N54° E	炉・竈	形状
壁高cm	19	規模	
状態		備考	
特記事項	土師器、須恵器杯		
時代・時期	平安前半	調査位置	YKS4674-1

SB05 (第11図)

検出位置	AN30	覆土	
切る		床面	
切られる		主柱穴	
プラン	隅丸長方形	貯蔵穴	
規模m	一×3.3	入口	
主軸	不明	炉・竈	形状
壁高cm	17	規模	
状態		備考	
特記事項	南・東隅に20×30cmの扁平石あり 須恵器わずか		
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4699-3

SB06 (第11図)

検出位置	AK29	覆土	
切る		床面	
切られる	SB09	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模m	一×一	入口	
主軸	不明	炉・竈	形状
壁高cm	一	規模	
状態	不明	備考	
特記事項	床のみ確認		
時代・時期	弥生中期	調査位置	YKS4699-3

SB07 (第11図)

検出位置	AH34	覆土	
切る		床面	
切られる	SK03	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模m	4.8×一	入口	
主軸	N45° E	炉・竈	形状
壁高cm	41	規模	
状態	不明	備考	
特記事項	土師器高杯		
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4699-3

SB08 (第12図)

検出位置	AL36	覆土	
切る		床面	
切られる	SD08	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模m	(4.3)×(4.2)	入口	
主軸	N30° W	炉・竈	形状 粘土竈
壁高cm	22	規模	80×90cm
状態	不明	備考	支脚は石
特記事項	焼失(焼却)家屋		
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4699-3

SB09 (第12図)

検出位置	AH28	覆 土	
切 合	切 る 切られる	床 面	
規 模・ 形 状	プラン 不明 規模m -×- 主 軸 不明 壁高cm - 状 態 不明	住居内施設 貯蔵穴 入 口 炉・竈 形状 規模 備考	
特記事項			
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4699-3

SB11

検出位置	BE10	覆 土	
切 合	切 る 切られる	床 面	
規 模・ 形 状	プラン 不明 規模m -×- 主 軸 不明 壁高cm - 状 態 不明	住居内施設 貯蔵穴 入 口 炉・竈 形状 規模 備考	
特記事項	プランのみ確認		
時代・時期	弥生後期	調査位置	YKS4687

SB13

検出位置	BB14	覆 土	
切 合	切 る 切られる	床 面	
規 模・ 形 状	プラン 隅丸方形 規模m 4.7×- 主 軸 不明 壁高cm - 状 態 不明	住居内施設 貯蔵穴 入 口 炉・竈 形状 規模 備考	
特記事項	プランのみ確認		
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4687

SB15 (第13図)

検出位置	BH17	覆 土	
切 合	切 る 切られる	床 面	
規 模・ 形 状	プラン 隅丸方形 規模m 5.8×5.7 主 軸 N50° W 壁高cm 80 状 態 やや緩やか	住居内施設 貯蔵穴 入 口 炉・竈 形状 規模 備考	
特記事項	須恵器、土師器多い		
時代・時期	奈良	調査位置	YKS4687

SB10 (第12図)

検出位置	BU13	覆 土	
切 合	切 る 切られる	床 面	堅固
規 模・ 形 状	プラン 不明 規模m -×- 主 軸 不明 壁高cm 26 状 態 緩やか	住居内施設 貯蔵穴 入 口 炉・竈 形状 規模 備考	
特記事項			
時代・時期	弥生中期	調査位置	YKS4753-1

SB12 (第12図)

検出位置	BE13	覆 土	
切 合	切 る 切られる	床 面	
規 模・ 形 状	プラン 隅丸方形 規模m 2.2×- 主 軸 N118° E 壁高cm 28 状 態 緩やか	住居内施設 貯蔵穴 入 口 炉・竈 形状 規模 備考	石芯粘土窓 130×100cm 南隅
特記事項	周溝あり		
時代・時期	平安前半	調査位置	YKS4687

SB14

検出位置	BD19	覆 土	
切 合	切 る 切られる	床 面	
規 模・ 形 状	プラン 不明 規模m -×- 主 軸 N43° W 壁高cm - 状 態 不明	住居内施設 貯蔵穴 入 口 炉・竈 形状 規模 備考	
特記事項	欠番		
時代・時期		調査位置	

SB16 (第13図)

検出位置	BD19	覆 土	
切 合	切 る 切られる	床 面	
規 模・ 形 状	プラン 不明 規模m -×- 主 軸 N43° W 壁高cm - 状 態 不明	住居内施設 貯蔵穴 入 口 炉・竈 形状 規模 備考	石芯粘土窓 -×-
特記事項	プランのみ確認		
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4687

SB17 (第13図)

検出位置	BG19	覆 土			
切 合	切 る	床 面			
切られる	SB19	主柱穴			
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設		
	規模m	6.8×-		貯蔵穴	
	主 軸	N55° W		入 口	
	壁高cm	-		炉・竈	形状 石芯粘土竈
	状 態	不明		備考	規模 -×-
特記事項	プラン・竈の範囲のみ確認				
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4687		

SB19

検出位置	BK18	覆 土			
切 合	切 る	床 面			
切られる	SB15, 17	主柱穴			
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設		
	規模m	7.2×-		貯蔵穴	
	主 軸	不明		入 口	
	壁高cm	-		炉・竈	形状 不明
	状 態	不明		備考	規模 -×-
特記事項	プランのみ確認				
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4687		

SB21 (第14図)

検出位置	BG21	覆 土			
切 合	切 る	床 面			
切られる	SB25	主柱穴	1基:P1		
規模・形状	プラン	不明	住居内施設		
	規模m	-×-		貯蔵穴	
	主 軸	N40° W		入 口	
	壁高cm	57		炉・竈	形状 不明
	状 態	やや緩やか		備考	規模 -×- 北側に竈の痕跡
特記事項	壁下15cm幅の周溝中に小穴点在 須恵器片少量				
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4746		

SB23 (第14図)

検出位置	BB17	覆 土			
切 合	切 る	床 面			
切られる	ST03, SD12	主柱穴			
規模・形状	プラン	不明	住居内施設		
	規模m	-×-		貯蔵穴	
	主 軸	N55° W		入 口	
	壁高cm	45		炉・竈	形状 不明
	状 態	ほぼ垂直		備考	規模 -×- 竈の袖の痕跡
特記事項	細かな暗文のある丸底杯				
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4746		

SB18

検出位置	BK15	覆 土			
切 合	切 る	床 面			
切られる		主柱穴			
規模・形状	プラン	不明	住居内施設		
	規模m	-×-		貯蔵穴	
	主 軸	不明		入 口	
	壁高cm	-		炉・竈	形状 不明
	状 態	不明		備考	規模 -×-
特記事項	プランのみ確認				
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4687		

SB20

検出位置	BF17	覆 土			
切 合	切 る	床 面			
切られる	SB15	主柱穴			
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設		
	規模m	3.1×2.7		貯蔵穴	
	主 軸	不明		入 口	
	壁高cm	-		炉・竈	形状 不明
	状 態	不明		備考	規模 -×-
特記事項	プランのみ確認				
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4687		

SB22 (第14図)

検出位置	BE16	覆 土			
切 合	切 る	床 面			
切られる	SB27, ST03	主柱穴	1基:P2		
規模・形状	プラン	不明	住居内施設		
	規模m	-×-		貯蔵穴	
	主 軸	不明		入 口	
	壁高cm	-		炉・竈	形状 不明
	状 態	不明		備考	規模 -×-
特記事項	須恵器蓋・杯・甕				
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4746		

SB24 (第14図)

検出位置	BE19	覆 土			
切 合	切 る	床 面			
切られる	SB27, SD12	主柱穴			
規模・形状	プラン	不明	住居内施設		
	規模m	3.4×2.7		貯蔵穴	
	主 軸	不明		入 口	
	壁高cm	14		炉・竈	形状 不明
	状 態	やや緩やか		備考	規模 -×-
特記事項	土師器・須恵器				
時代・時期	平安前半	調査位置	YKS4746		

S B25 (第14図)

検出位置	BH20	覆 土	
切 合	切 る	床 面	貼り床あり
切られる	SB21, SD12	主柱穴	1基
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模	m -x-	入 口	
主 軸	N56° W	炉 形状	不明
壁高	cm 30	規 模	-x-
状 態	緩やか	備 考	北西壁で確認
特記事項	竈の本体は調査区外にかかる		
須恵器少量			
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4746

S B27 (第15図)

検出位置	BE18	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	SB22, 24	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模	m 2.8x-	入 口	
主 軸	不明	炉 形状	
壁高	cm 10	規 模	
状 態	やや緩やか	備 考	
特記事項			
時代・時期	不明	調査位置	YKS4746

S B29

検出位置	BU36	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	ST05, SD13	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模	m -x-	入 口	
主 軸	不明	炉 形状	
壁高	cm -	規 模	
状 態	不明	備 考	
特記事項	貼り床のみ確認		
時代・時期	中世	調査位置	YKS4754

S B31 (第15図)

検出位置	BS32	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	SB32, ST05	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模	m -x-	入 口	
主 軸	N47° W	炉 形状	石芯粘土竈
壁高	cm -	規 模	-x-
状 態	不明	備 考	
特記事項			
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4754

S B26 (第15図)

検出位置	BD13	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる		主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	1基:P1
規模	m -x-	入 口	
主 軸	N26° W	炉 形状	
壁高	cm -	規 模	
状 態	不明	備 考	
特記事項	貯蔵穴に炭を確認 竈はその付近か		
須恵器片少量			
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4746

S B28 (第15図)

検出位置	BS41	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	ST06	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模	m -x-	入 口	
主 軸	不明	炉 形状	
壁高	cm -	規 模	
状 態	不明	備 考	
特記事項	プランのみ確認		
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4754

S B30 (第46図)

検出位置	AP08	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる		主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模	m -x-	入 口	
主 軸	N65° W	炉 形状	竈
壁高	cm -	規 模	85×80cm
状 態	不明	備 考	
特記事項	トレンチ調査確認のみ		
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4684-1

S B32 (第15図)

検出位置	BT32	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	SB31, ST05	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模	m -x-	入 口	
主 軸	不明	炉 形状	
壁高	cm -	規 模	
状 態	ほぼ垂直	備 考	
特記事項	プランのみ確認		
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4754

S B33 (第15図)

検出位置	AP05	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
	切られる		主柱穴
規 模・形 状	プラン (円形) 規模m 4.1×- 主 軸 不明 壁高cm 43 状 態 ほぼ垂直	住居内施設 貯蔵穴 入 口 炉・竈 形状 規模 備考	
特記事項			
時代・時期	中世	調査位置	YKS3450-1

S B35 (第16図)

検出位置	AM05	覆 土	
切 合	切 る SB37	床 面	
	切られる SB36		主柱穴
規 模・形 状	プラン 隅丸方形 規模m 2.0×- 主 軸 N33° E 壁高cm 14 状 態 やや緩やか	住居内施設 貯蔵穴 入 口 炉・竈 形状 規模 備考	
特記事項			
時代・時期	中世	調査位置	YKS3450-1

S B37 (第16図)

検出位置	AL05	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
	切られる SB35		主柱穴
規 模・形 状	プラン 隅丸方形 規模m -×- 主 軸 N45° W 壁高cm 31 状 態 ほぼ垂直	住居内施設 貯蔵穴 入 口 炉・竈 形状 規模 備考	石芯粘土竈 110×80cm
特記事項			
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS3450-1

S B39

検出位置	AT41	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
	切られる		主柱穴
規 模・形 状	プラン 不明 規模m 4.6×- 主 軸 不明 壁高cm -×- 状 態 不明	住居内施設 貯蔵穴 入 口 炉・竈 形状 規模 備考	
特記事項	確認のみ		
時代・時期	弥生後期	調査位置	YKS3545-5

S B34 (第16図)

検出位置	AH15	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
	切られる		主柱穴
規 模・形 状	プラン 不明 規模m -×- 主 軸 不明 壁高cm 15 状 態 ほぼ垂直	住居内施設 貯蔵穴 入 口 炉・竈 形状 規模 備考	
特記事項	プランのみ確認		
時代・時期	弥生中期	調査位置	YKS3450-1

S B36 (第16図)

検出位置	AN06	覆 土	
切 合	切 る SB35	床 面	
	切られる		主柱穴
規 模・形 状	プラン 不定形 規模m -×- 主 軸 不明 壁高cm 24 状 態 ほぼ垂直	住居内施設 貯蔵穴 入 口 炉・竈 形状 規模 備考	
特記事項			
時代・時期	中世	調査位置	YKS3450-1

S B38 (第16図)

検出位置	AI02	覆 土	
切 合	切 る SD14	床 面	
	切られる		主柱穴
規 模・形 状	プラン 不明 規模m -×- 主 軸 不明 壁高cm 10 状 態 やや緩やか	住居内施設 貯蔵穴 入 口 炉・竈 形状 規模 備考	
特記事項			
時代・時期	不明	調査位置	YKS3450-1

S B40

検出位置	AX37	覆 土	
切 合	切 る SB41	床 面	
	切られる		主柱穴
規 模・形 状	プラン (長方形) 規模m 3.7×- 主 軸 N33° W 壁高cm -×- 状 態 不明	住居内施設 貯蔵穴 入 口 炉・竈 形状 規模 備考	
特記事項	確認のみ		
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS3545-5

S B41

検出位置	AY38	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	SB40	主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模m	-×-	入 口	
主 軸	不明	形状	
壁高cm	-×-	炉・竈	
状 態	不明	覆 土	
特記事項	SM08と重複	プラン確認のみ	
時代・時期	不明	調査位置	YKS3545-5

S B43

検出位置	BB40	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる		主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模m	-×-	入 口	
主 軸	不明	形状	
壁高cm	-×-	炉・竈	
状 態	不明	覆 土	
特記事項	SM08と重複	プラン確認のみ	
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS3545-5

S B45 (第16図)

検出位置	AL14	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる		主柱穴	
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模m	3.83×3.23	入 口	
主 軸	N22° E	形状	
壁高cm	8	炉・竈	
状 態	やや緩やか	覆 土	
特記事項	土師器、瓦当1点(混入か)		
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4733

S B47 (第17図)

検出位置	AL10	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	SB46, S110	主柱穴	
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模m	5.3×4.8	入 口	
主 軸	N36° E	形状	
壁高cm	35	炉・竈	
状 態	やや緩やか	覆 土	
特記事項	丸底杯(内外面にへら磨き)		
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4733

S B42

検出位置	BE43	覆 土	
切 合	切 る	床 面	堅固
切られる		主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模m	5.6×-	入 口	
主 軸	不明	形状	地床炉
壁高cm	20	炉・竈	
状 態	不明	覆 土	-×-
特記事項	SM08と重複	トレンチ確認のみ	
時代・時期	古墳	調査位置	YKS3545-5

S B44

検出位置	AH49	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	ST01, 24	主柱穴	
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模m	4.5×-	入 口	
主 軸	N55° W	形状	
壁高cm	26	炉・竈	
状 態	やや緩やか	覆 土	北西壁
特記事項	焼失(焼却)家屋		
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4758

S B46 (第16図)

検出位置	AL12	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	SB47	主柱穴	
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模m	2.67×2.37	入 口	
主 軸	N33° E	形状	
壁高cm	18	炉・竈	
状 態	やや緩やか	覆 土	
特記事項			
時代・時期	不明	調査位置	YKS4733

S B48 (第17図)

検出位置	AE14	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	SB52, 53	主柱穴	
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模m	5.0×-	入 口	
主 軸	不明	形状	
壁高cm	5	炉・竈	
状 態	不明	覆 土	
特記事項	壁下に深さ1.5cmの周溝を40cm程確認		
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4733

S B 49 (第17図)

検出位置	AI15	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	SB53, SK31		主柱穴
	ST12		貯蔵穴
規模・形状	プラン 隅丸方形	住居内施設	入口
規模m	5.2×4.65		形状
主 軸	N40° E		不明
壁高cm	22		規模
状 態	やや緩やか		95×90cm
特記事項			備考
須恵器			
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4733

S B 51 (第17図)

検出位置	AJ08	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる			主柱穴
規模・形状	プラン 不明	住居内施設	貯蔵穴
規模m	-×-		入口
主 軸	不明		形状
壁高cm	-		不明
状 態	不明		規模
特記事項	炉のみ確認		86×-cm
			備考
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4733

S B 53 (第18図)

検出位置	AG14	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	SB48, 49, ST13		主柱穴
規模・形状	プラン 不明	住居内施設	貯蔵穴
規模m	-×-		入口
主 軸	不明		形状
壁高cm	-		不明
状 態	不明		規模
特記事項			備考
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4733

S B 55

検出位置	AD12	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる			主柱穴
規模・形状	プラン 不明	住居内施設	貯蔵穴
規模m	-×-		入口
主 軸	不明		形状
壁高cm	-		不明
状 態	不明		規模
特記事項	壙のみ確認		-×-
土師器わずか			備考
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4700-1

S B 50 (第17図)

検出位置	AH18	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	SK24, 25, 26, 27, 30		主柱穴
規模・形状	プラン 不明	住居内施設	貯蔵穴
規模m	5.9×-		入口
主 軸	不明		形状
壁高cm	-		不明
状 態	不明		規模
特記事項			備考
時代・時期	古墳	調査位置	YKS4733

S B 52 (第17図)

検出位置	AE16	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	SB48		主柱穴
規模・形状	プラン 隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴
規模m	2.57×-		入口
主 軸	N20° E		形状
壁高cm	50		不明
状 態	やや緩やか		規模
特記事項			備考
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4733

S B 54

検出位置	BY14	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	SD34		主柱穴
規模・形状	プラン 不明	住居内施設	貯蔵穴
規模m	6.9×-		入口
主 軸	不明		形状
壁高cm	-		不明
状 態	不明		規模
特記事項			備考
時代・時期	不明	調査位置	YKS4700-1

S B 56 (第18図)

検出位置	BT26	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる			主柱穴 2基
規模・形状	プラン 隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴
規模m	3.7×-		入口
主 軸	N33° E		形状
壁高cm	18		不明
状 態	やや緩やか		規模
特記事項			備考
土師器、須恵器蓋			
時代・時期	古墳最終末	調査位置	YKS4755

S B57 (第18図)

検出位置	AM37	覆	土
切	切る	床	面
切	切られる		主柱穴
規模・形状	プラン	隅丸方形	
	規模m	4.85×-	
	主軸	N27° E	
	壁高cm	30	
	状態	やや緩やか	
特記事項	土師器、須恵器、灰釉陶器、鉄器		
時代・時期	平安後半	調査位置	YKS4755

S B59 (第18図)

検出位置	BS30	覆	土
切	切る	床	面
切	切られる		主柱穴
規模・形状	プラン	不明	
	規模m	-×-	
	主軸	不明	
	壁高cm	-	
	状態	不明	
特記事項	SB32と重複		
時代・時期	弥生中期	調査位置	YKS4755

S B61

検出位置	AA42	覆	土
切	切る	床	面
切	切られる		主柱穴
規模・形状	プラン	隅丸方形	
	規模m	5.2×5.0	
	主軸	N43° W	
	壁高cm	-	
	状態	不明	
特記事項	焼矢(焼却)家屋		
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4758

S B63

検出位置		覆	土
切	切る	床	面
切	切られる		主柱穴
規模・形状	プラン	隅丸方形	
	規模m		
	主軸		
	壁高cm		
	状態		
特記事項	欠番		
時代・時期		調査位置	

S B58 (第18図)

検出位置	BX32	覆	土
切	切る	床	面
切	切られる		主柱穴
規模・形状	プラン	隅丸方形	
	規模m	4.85×4.23	
	主軸	N55° W	
	壁高cm	30	
	状態	やや緩やか	
特記事項	土師器、須恵器		
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4755

S B60 (第18図)

検出位置	BU32	覆	土
切	切る	床	面
切	切られる		主柱穴
規模・形状	プラン	隅丸方形	
	規模m	4.2×(2.0)	
	主軸	N48° E	
	壁高cm	-	
	状態	不明	
特記事項			
時代・時期	不明	調査位置	YKS4755

S B62 (第19図)

検出位置	AV62	覆	土
切	切る	床	面
切	切られる		主柱穴
規模・形状	プラン	隅丸方形	
	規模m	6.2×-	
	主軸	不明	
	壁高cm	32	
	状態	やや緩やか	
特記事項	須恵器ごく少量		
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4693-1

S B64 (第19図)

検出位置	AY42	覆	土
切	切る	床	面
切	切られる	SD36, ST22, 23	主柱穴
規模・形状	プラン	隅丸方形	
	規模m	6.6×6.6	
	主軸	N45° W	
	壁高cm	23	
	状態	やや緩やか	
特記事項	須恵器少量		
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4693-1

S B65 (第19図)

検出位置	AX39	覆 土		
切 合	切 る	床 面		
	切られる		主柱穴	
	SD34		貯蔵穴	
規模・形状	プラン 不明	住居内施設	入 口	
	規模m -×-		炉・竈	形状
	主 軸 不明			規模
	壁高cm 35			備考
	状 態 ほぼ垂直			
特記事項				
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4693-1	

S B67

検出位置	BC47	覆 土		
切 合	切 る	床 面		
	切られる		主柱穴	
	プラン 隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴	
規模・形状	規模m 4.76×-		入 口	
	主 軸 不明		炉・竈	形状
	壁高cm -			規模
	状 態 不明			備考
特記事項	土師器、須恵器少量			
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4693-1	

S B69

検出位置	BW03	覆 土		
切 合	切 る	床 面	堅固で平坦	
	切られる		主柱穴	
	SB70, ST09, SD33	住居内施設	貯蔵穴	
規模・形状	プラン 不明		入 口	
	規模m -×-		炉・竈	形状
	主 軸 不明			規模
	壁高cm 80			備考
	状 態 やや緩やか			
特記事項				
時代・時期	古墳	調査位置	YKS4693-1	

S B71

検出位置	BC42	覆 土		
切 合	切 る	床 面		
	切られる		主柱穴	
	ST20	住居内施設	貯蔵穴	
規模・形状	プラン 不明		入 口	
	規模m (8.4)×-		炉・竈	形状
	主 軸 不明			規模
	壁高cm 25			備考
	状 態 緩やか			
特記事項	トレンチ確認のみ			
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4693-1	

S B66

検出位置	BB48	覆 土		
切 合	切 る	床 面		
	切られる		主柱穴	
	プラン 隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴	
規模・形状	規模m 5.5×-		入 口	
	主 軸 不明		炉・竈	形状
	壁高cm -			規模
	状 態 不明			備考
特記事項	プラン確認のみ			
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4693-1	

S B68 (第19図)

検出位置	AQ02	覆 土		
切 合	切 る	床 面	軟弱 凹凸あり	
	切られる		主柱穴	
	SD33, SK40	住居内施設	貯蔵穴	
規模・形状	プラン 隅丸方形か		入 口	
	規模m -×-		炉・竈	形状
	主 軸 不明			規模
	壁高cm 30			備考
	状 態 やや緩やか			
特記事項				
時代・時期	古墳後期	調査位置	YKS4693-1	

S B70

検出位置	AX01	覆 土		
切 合	切 る	床 面		
	切られる		主柱穴	
	プラン 不明	住居内施設	貯蔵穴	
規模・形状	規模m 4.65×-		入 口	
	主 軸 不明		炉・竈	形状
	壁高cm -			規模
	状 態			備考
特記事項				
時代・時期	不明	調査位置	YKS4693-1	

② 獨立柱建物址 (S T) (第20~27・46區、圖版25~34)

遺構No.	區No.	調査位置	検出位置	(桁×梁) m	間×間	柱間幅	柱間距m	桁行方向	時代	重複関係	出土遺物	備考
ST01	第20區	YKS4753-1	AB48	8.4×6.3	4×3 (總柱)	2.1	2.1	N42° E	奈良	SB44, SD32を切る		ST24の礎で替え
ST02	第18區	YKS4687	BF13	6.0×5.8	5×5	0.8~1.8	1.0~1.2	N52° E		SB12を切る		
ST03	第21區	YKS4746	BC15	7.2×6.0	4×3 (總柱)	2.2~2.3	1.8	N36° E		SB22, 23, 26を切り, SD12に切られる		
ST04	第22區	YKS4746	BF12	- x -	- x -	不明	1.7	N30° E				
ST05	第22區	YKS4754	BS35	7.8×5.7	4×3	1.7~2.1	1.7~2.0	N62° W	奈良	SB31, 32, 60を切り, SB29に切られる		
ST06	第22區	YKS4754	BP40	- x 5.6	- x 3	1.8	2.1	N62° W	奈良	SB28を切る		
ST07	第23區	YKS4755	BW28	- x 5.8	- x 3	1.8~1.9	1.7~2.0	N62° W	奈良	ST15, SD38と重複		布圍
ST08	第23區	YKS4756	AC41	4.2×4.2	(3)×3	1.3~1.5	1.2~1.7	N46° E	奈良	SB61を切る		
ST09	第23區	YKS4758	BY45	4.1×4.1	3×3	1.5~1.7	1.3~1.7	N50° E	奈良	SD32を切る		
ST10	第24區	YKS4753-1	BX10	4.0×3.7	3×3	0.8~1.4	1.7	N25° E		SB61を切る		
ST11	第24區	YKS4654-5	BC09	7.0×-	4×-	1.8~2.0	不明	N37° E			炭化米	
ST12	第24區	YKS4733	AH14	4.0×3.7	3×3	1.3~1.4	1.4~1.5	N46° W		SB49, 53を切る		
ST13	第24區	YKS4746	BA14	- x -	3×-	2	1.8	N62° W				礎石建物
ST14	第46區	YKS4684-1	AN10	2.6×(-)	- x -	不明	不明	N55° W				礎石が2個
ST15		YKS4755	BX28	- x -	- x -	不明	1.8	N66° W		ST07と重複		
ST16	第25區	YKS4693-1	AS49	3.7×3.4	2×2	1.7	1.7~2.0	N29° E	古墳	SK39に切られ, ST17と重複		
ST17	第25區	YKS4693-1	AV01	8.8×4.4	4×3	不明	1.7~3.4	N53° W	古墳	ST16, 18, 19と重複		
ST18	第25區	YKS4693-1	AL46	4.6×(3.8)	3×1	0.8~-	-~2.6	N59° W	古墳	SD39を切り, SK44に切られ, ST19と重複		
ST19	第26區	YKS4693-1	AU48	5.2×3.6	3×3	1.1~1.5	1.6~1.9	N60° W	古墳	SD39を切り, SK44に切られ, ST18と重複		
ST20	第26區	YKS4693-1	BB40	3.7×2.6	2×2	1.4	1.5~2.0	N50° W	中世	SB17を切る		
ST21	第26區	YKS4693-1	BB44	5.3×4.0	2×1	3.9	2.3~3.0	N13° W	奈良・平安	SB64, ST22, S108と重複		
ST22	第27區	YKS4693-1	AX42	5.3×3.8	3×1	不明	不明	N50° W	古墳	SB64, ST21, 23と重複		
ST23	第27區	YKS4693-1	AX42	6.6×3.5	- x -	3.4	1.3~2.5	N50° W	古墳	SB64, ST21, 22, S107と重複		
ST24	第20區	YKS4753-1	AB48	9.5×-	4×2	2.3~2.4	2.3~2.4	N45° E	奈良	SB44, SD32を切る		S101の礎で替え前

③ 櫓列 (SA) (第46區)

遺構No.	區No.	調査位置	検出位置	長さm	柱間幅	本数	方向	時代	重複関係	出土遺物	備考
SA01	第46區	YKS4754	BQ36	8.0	0.8~1.2	7	N7° E		ST05と重複		

④ 土坑 (SK) (第28~33図、図版34~37)

遺構No.	図No.	検出位置	調査位置	規模(長×短×深)cm	形態	時代	遺 積	出土遺物	備 考
SK01	第2980	BR37	YKS4674-1	118×75×40	不明		SB07を切る		
SK02	第2980	AJ34	YKS4699-3	180×80×44	楕円形	古墳後期		土師器、須恵器	
SK03	第2980	AG34	YKS4699-3	130×(90)×(14)	不明	中世	SB07を切る	中世の陶磁器	
SK04	第2980	BY08	YKS4753-1	195×185×119	円形				
SK05	第2980	BF16	YKS4687	-×150×-	不明		SB15に切られる		
SK06	第2980	BD17	YKS4687	130×95×18	方形				
SK07	第2980	BG15	YKS4687	-×210×116	不明		SB12を切る		
SK08	第2980	BC14	YKS4687	240×165×40	不定形				
SK09	第2980	AK01	YKS3450-1	135×-×44	楕円形				
SK10	第2980	AM02	YKS3450-1	167×167×32	円形				
SK11		AS4	YKS3346-5	180×150×-	方形		SD17を切る		
SK12		AL07	YKS3346-5	-×80×-	不明		SD26を切る		
SK13		AL07	YKS3346-5	-×-×-	不明				
SK14	第2980	AH6	YKS4758	144×120×21	楕円形				
SK15	第2980	AJ47	YKS4758	117×-×18	不整形				
SK16	第2980	AH48	YKS4758	190×130×82	不整形				
SK17	第2980	AM11	YKS4733	145×-×42	不明		SB47に切られる		
SK18	第2980	AE17	YKS4733	160×150×24	不定形				
SK19	第3080	AF18	YKS4733	122×105×25	楕円形				
SK20	第3080	AD16	YKS4733	95×83×22	円形				
SK21									欠番
SK22									欠番
SK23	第3080	AE17	YKS4733	123×104×22	楕円形				
SK24	第3080	AH18	YKS4733	80×68×16	楕円形		SB50を切る		
SK25	第3080	AG16	YKS4733	140×140×33	円形		SB50, SK30を切る		
SK26	第3080	AG17	YKS4733	(95)×55×42	楕円形		SB50, SM05を切る		
SK27	第3080	AG18	YKS4733	340×135×67	不定形		SB50, SM05を切る		
SK28	第3080	AF19	YKS4733	75×75×45	円形		SM05と重複		
SK29	第3080	AH17	YKS4733	158×80×36	楕円形		SD40と重複		
SK30	第3080	AG16	YKS4733	115×77×34	楕円形		SK25に切られる		
SK31	第3080	AJ13	YKS4733	-×105×37	不定形		SB40と重複		
SK32	第3080	AJ12	YKS4733	120×97×39	楕円形				
SK33	第3180	AI12	YKS4733	113×80×30	楕円形				
SK34	第3180	AI11	YKS4733	110×96×31	楕円形				

遺構No	図No	検出位置	調査位置	規模(長×幅×深)cm	形態	時代	重 複	出土遺物	備 考
SK35	第31図	AH11	YKS4733	-×115×16	不明				
SK36	第31図	AH12	YKS4733	76×72×18	円形				
SK37	第31図	AQ00	YKS4693-1	126×114×33	楕円形	古墳			
SK38	第31図	AR49	YKS4693-1	(282)×260×115	円形	奈良・平安			土師器、須恵器、炭化米
SK39	第32図	AT01	YKS4693-1	292×240×94	楕円形	奈良・平安	ST16を切る		土師器、須恵器、炭化米、炭化物、鉄器
SK40	第32図	AQ01	YKS4693-1	(202)×310×160	楕円形	奈良・平安	SB08と重複		土師器、須恵器、硯片、炭化米
SK41	第31図	AW42	YKS4693-1	152×124×44	楕円形	奈良・平安			土師器
SK42	第31図	AY40	YKS4693-1	110×(92)×8	楕円形	中世			古銭
SK43	第32図	AX45	YKS4693-1	132×119×54	楕円形	古墳			
SK44	第33図	AV48	YKS4693-1	305×275×175	円形	奈良・平安	ST17, 18, 19を切る		土師器、須恵器、硯片、炭化米
SK45	第33図	BX48	YKS4733-1	358×-×133	不明	平安か			炭化米、高杯
SK46		AB10	YKS4700-1	-×-×-	不明				
SK47	第33図	AH8	YKS4758	67×44×9	楕円形				

⑤ 集石(S)・集石土坑(第34・46図、図版38)

遺構No	図No	検出位置	調査位置	規模(長×幅×深)cm	形態	時代	重 複	出土遺物	備 考
SI01	第34図	BN42	YKS4674-1	150×140×20			SB02を切る		
SI02		AR46	YKS3545-1	290×-×-	不明				
SI03									欠番
SI04	第34図	AQ03	YKS4693-1	107×70×-					集石のみ
SI05	第34図	AR03	YKS4693-1	(189)×-×26			SD33に切られる		
SI06	第34図	AX41	YKS4693-1	136×122×47					
SI07	第34図	BA44	YKS4693-1	45×35×-					集石のみ
SI08	第34図	BA46	YKS4693-1	207×160×33					2穴
SI09	第34図	AU04	YKS4693-1	155×123×-					集石のみ
SI10	第34図	AL10	YKS4733	152×84×19	楕円形	奈良・平安			
集石土坑	第46図	AH28	YKS4699-3	124×-×-	楕円形		SB09を切る		

⑥ 小室穴(第46図)

遺構No	図No	調査位置	検出位置	規模(長×幅×深)cm	形態	主軸方向	壁の状態	出土遺物	重複関係	時代	備考
小室穴1	第46図	YKS4758	AH49	170×130×13	不定形	N0° E	やや厚やか		SD41と重複		
小室穴2	第46図	YKS4674-1	AD47	142×-×-	楕円形	不明	不明		SD06と重複		

⑦ 方形周溝墓 (SM) (第44・45図、図版46)

遺構No.	図No.	調査位置	検出位置	規模m	主軸	幅m	深m	断面形	主体部規模	主体部主軸	重複関係	出土遺物	備考
SM01		YKS4687	B121	- X -	不明	65	不明	不明	不明	不明			一部ブランクのみ
SM02		YKS4687	B116	- X -	不明	75~83	不明	不明	不明	不明	SB16に切られる		一部ブランクのみ
SM03		YKS4700-1	BY18	- X -	不明	不明	不明	不明	不明	不明			
SM04		YKS4700-1	AC03	- X -	不明	不明	不明	不明	不明	不明	SD33に切られる		
SM05	第44図	YKS4733	AC08	- X -	N50° E	80~124	25~31	逆台形	不明	不明	不明	SB50, 52, SK26, 27, 28に切られる	
SM06	第44図	YKS4753-1	BS28	- X -	不明	不明	不明	不明	不明	不明			
SM07	第45図	YKS4753-1	EX11	- X -	N30° W	92~170	32	逆台形	1.98×1.3	N42° W			
SM08	第44図	YKS454-5	BA38	10.2×-	不明	50~100	75	逆台形	不明	不明	SB41, 42, 43と重複		SD19, SD23から変更

⑧ 溝址 (SD) (第35~43図、図版40~45)

遺構No.	図No.	調査位置	検出位置	規模 (長×大軸×小深) m (×小軸×小深)	主軸	幅m	深m	時期	代	重複関係	出土遺物	備考
SD01	第35図	YKS4674-1	AG44	- X - X -	不明			近世				
SD02	第35図	YKS4674-1	AG45	- X - X -	N67° E			古墳後期~奈良				
SD03	第35図	YKS4674-1	AH45	- X 1.3 × 0.46 - X 1.1 × 0.51	N67° E			古墳後期~奈良		SD05を切り、SD07と重複		
SD04	第35図	YKS4674-1	AE46	- X 0.7 × 0.46 - X 1.1 × 0.06	N42° E			古墳後期~奈良		SD07と重複		
SD05	第35図	YKS4674-1	AF46	- X 1.95 × 0.41	N50° E			弥生後期		SB02を切り、SB04に切られ、SD07と重複		
SD06		YKS4674-1	AC49	- X 1.3 × -	N78° W			中世				
SD07	第35図	YKS4674-1	AA41	- X 4.7 × 0.78 - X 2.9 × 1.29	N18° E			弥生中期~後期		SK11に切られ、SD08, 05と重複		
SD08		YKS4699-3	AL35	- X - X -	不明					SB08を切る		
SD09												SM07に変更 欠番
SD10	第36図 第37図	YKS4753-1	BV05	(18)×15.7×1.35 (18)×12×0.71	N0° W			平安~中世			上層からカラケ 中下層から土師器杯、黒色杯、灰輪陶器 (墨書あり)、硯	SD31と同じ溝
SD11	第38図	YKS4687	BM19	- X 3.2 × 0.75 - X 3.0 × 0.70	N60° W			奈良~平安			緑釉杯	SD15, 16, 34と同じ溝 区画溝
SD12	第38図	YKS4746	BD18	(19)×0.5×0.14 - X 0.16 × 0.03	N30° E			中世		SB23, 25, ST08を切る		
SD13	第38図	YKS4754	BV37	- X 4.9 × -	N22° W			弥生		SB28, ST05に切られる		SD36と同じ溝
SD14		YKS3450-1	AK02	- X (2.4) × - - X (1.5) × -	N55° W			中世		B38に切られる		
SD15	第39図 第40図	YKS3450-1	AJ49	3.6×0.67 × -	N155° E			奈良~平安			古瓦	SD11, 15, 34と同じ溝
SD16	第39図	YKS345-5	AS49	25.3×3.3×0.96 ×2.5×0.88	上: N42° E 下: N14° E			奈良~平安		SD22に切られ、SD29, 30と重複	古瓦、炭化米	SD11, 15, 34と同じ溝

遺構No.	図No.	調査位置	検出位置	規模 (長×大横×大深) m (×小横×小深)	主軸	時代	重複関係	出土遺物	備考
SD17	第41図	YKS3945-5	AR44	-×3.2×1.1	N25° E		SK11に切られる		SD20と同じ溝か
SD18		YKS3945-5	AW35	(3.3)×0.3×-	N19° W				
SD19		YKS3945-5	BH36	-×1.0×0.75	N62° W	弥生	SB41, 42, 43に切られる		SD23と同じ溝 SM08に変更 SD17と同じ溝か
SD20	第41図	YKS3945-5	BM02	-×3.9×1.0	N170° E				
SD21	第41図	YKS3945-5	BM02	-×3.2×0.9	N140° E				
SD22	第398図	YKS3945-5	BN08	-×5.5×1.4	N45° E		SD18を切る		SD16と同じ溝か SD23と同じ溝 SM08に変更
SD23		YKS3945-5	BD43	-×0.9×-	N65° W	弥生			
SD24	第41図	YKS3945-5	BO06	-×-×1.7	N145° E				
SD25		YKS3945-5	BI10	-×-×(1.9)	不明		SD18と重複		
SD26		YKS3945-5	BK08	-×-×0.8	不明		SK12に切られる		
SD27		YKS3945-5	BC05	-×-×0.41	不明		SD16, 28と重複		
SD28		YKS3945-5	BH06	-×4.8×-	N20° E		SD27, 29と重複		
SD29		YKS3945-5	BJ06	-×-×1.1	不明		SD16, 28と重複		
SD30	第392図	YKS3945-5	AR48	-×-×-	N30° E		SD18と重複		
SD31		YKS4758	AG00	-×-×-	不明	平安~中世			SD10と同じ溝
SD32	第41図	YKS4758	AA45	(12.2)×0.8×0.38 (12.2)×0.18×0.11	上N16° E 中N30° E 下N7° W	中世	ST01, 09, 24と重複		
SD33		YKS4693-1	AO07	(83)×5.8×0.47 -×5.8×0.21	N18° E	10C初期	SB65, 69, SI04, 07, 09, SM04を 切り, SD34, 40と重複		
SD34	第42図	YKS4694	AL49	(79)×2.8×0.73 ×1.0×0.32	N45° W	10C初期	SB54を切り, SD33と重複	鏡	SD11, 15, 16と同じ溝
SD35	第438図	YKS4733	AJ16	3.84×3.5×0.14 -×1.0×0.08	N32° W				
SD36	第438図	YKS4693-1	AF33	(7.0)×(4)×1.1	北西~南東	弥生			
SD37		YKS4755	AA31	(10.2)×(1.0)×-	北西~南東	古墳			
SD38		YKS4755	BY30	(9.5)×(1.5)×-	北西~南東	古墳			
SD39		YKS4693-1	BC47	3.84×3.5×0.14 3.84×1.0×0.08		弥生			
SD40	第438図	YKS4733	AN13	(29.6)×3.5×0.86 (29.6)×1.8×0.16	上N13° W 中N80° W 下N45° W				
SD41	第438図	YKS4758	AG49	(3.85)×0.48×0.2 (3.85)×0.24×0.09	上N10° W 下N10° E		小聖穴と重複		
SD42	第438図	YKS4930-1	AJ01	-×1.1×0.2 -×0.6×1.5	N55° W		SK(09)に切られる		

⑨ 不明 (S×)

遺構No.	図No.	調査位置	検出位置	規模 m	主軸方向	時代	出土遺物	重複関係	備考
SDX01	第468図	YKS4755	AC32	2.3×2.1	N40° W				

3) 阿弥陀塚外地籍 (AMD) (附図1)

① 竪穴住居址 (SB)

S B01

検出位置	AE03	覆 土	
切 合	切 る SB08	床 面	堅固
切られる	SD01	主柱穴	4基:P1~P4
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設
	規模m	4.2×3.7	貯蔵穴
	主 軸	N50° W	入 口
	壁高cm	25	炉・竈
状 態	ほぼ垂直		
特記事項			
土師器杯・高杯・甕・埴・甌、須恵器蓋・甕、白玉、鉄滓			
時代・時期	古墳後期後半	調査位置	AMDバイパス

S B03

検出位置	AH03	覆 土	
切 合	切 る SB10, SM01	床 面	壁際を除き堅固
切られる		主柱穴	4基:P1~P4
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設
	規模m	4×(3.8)	貯蔵穴
	主 軸	N44° W	入 口
	壁高cm	30	炉・竈
状 態	ほぼ垂直		
特記事項			
土師器杯・甕、須恵器高杯片・提籃			
時代・時期	古墳後期後半	調査位置	AMDバイパス

S B05

検出位置	BX49	覆 土	
切 合	切 る SB11, 12, 18	床 面	
切られる	ST02	主柱穴	
規模・形状	プラン	不明	住居内施設
	規模m	—×—	貯蔵穴
	主 軸	不明	入 口
	壁高cm	30	炉・竈
状 態	やや緩やか		
特記事項	炭化物、5~20cmの棒状礫を多量に含む 須恵器蓋・杯・高台付杯・甕・壺、円面硯		
時代・時期	奈良	調査位置	AMDバイパス

S B07

検出位置	AD48	覆 土	
切 合	切 る SB06	床 面	軟弱
切られる	SB13	主柱穴	1基:P1
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設
	規模m	4.6×—	貯蔵穴
	主 軸	不明	入 口
	壁高cm	20	炉・竈
状 態	やや緩やか		
特記事項			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMDバイパス

S B02

検出位置	AF08	覆 土	
切 合	切 る	床 面	
切られる	SD01	主柱穴	2基:P1, P2
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設
	規模m	4.7×—	貯蔵穴
	主 軸	N42° W	入 口
	壁高cm	30	炉・竈
状 態	ほぼ垂直		
特記事項			
土師器杯・鉢・高杯・甕・小型甕・甌、須恵器蓋片			
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	AMDバイパス

S B04

検出位置	AC05	覆 土	
切 合	切 る	床 面	西側は堅固
切られる	SB08	主柱穴	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設
	規模m	4.4×—	貯蔵穴
	主 軸	N43° W	入 口
	壁高cm	10	炉・竈
状 態	やや緩やか		
特記事項	甕、有孔磨製石包丁・有肩扇状形石器		
時代・時期	弥生後期	調査位置	AMDバイパス

S B06

検出位置	AC47	覆 土	
切 合	切 る SB07, 13	床 面	堅固
切られる		主柱穴	2基:P1, P2
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設
	規模m	5.4×—	貯蔵穴
	主 軸	不明	入 口
	壁高cm	30	炉・竈
状 態	やや緩やか		
特記事項	土師器杯・高杯・甕・甌、須恵器蓋片		
時代・時期	古墳後期後半	調査位置	AMDバイパス

S B08

検出位置	AC02	覆 土	
切 合	切 る SB04, 13, 17	床 面	
切られる	SB01, SD01, 05	主柱穴	4基:P1~P4
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設
	規模m	8.5×8.5	貯蔵穴
	主 軸	N37° W	入 口
	壁高cm	60	炉・竈
状 態	ほぼ垂直		
特記事項			
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	AMDバイパス

S B09

検出位置	AG06	覆 土		
切 合	切 る SB10	床 面	軟弱	
切られる	SD01	主柱穴	4基:P1~P4	
規模・形状	プラン	隅丸長方形	住居内施設	
	規模m	4.2×3.6	貯蔵穴	
	主 軸	N128° E	入 口	
	壁高cm	30	炉・竈	形状 石芯粘土竈
	状 態	ほぼ垂直	規模	100×100cm
特記事項	土師器杯・高杯・甕、須恵器甕			
時代・時期	古墳後期前半	調査位置	AMDバイパス	

S B11

検出位置	BY48	覆 土		
切 合	切 る SB12, 18	床 面	堅固な貼り床	
切られる	SB05, ST02, SD01	主柱穴		
規模・形状	プラン	不明	住居内施設	
	規模m	-×-	貯蔵穴	
	主 軸	不明	入 口	
	壁高cm	-	炉・竈	形状 粘土竈
	状 態	不明	規模	備考
特記事項				
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMDバイパス	

S B13

検出位置	AEO0	覆 土		
切 合	切 る SB17	床 面		
切られる	SB06, 07, 08, 16	主柱穴		
規模・形状	プラン	不明	住居内施設	
	規模m	-×-	貯蔵穴	
	主 軸	不明	入 口	
	壁高cm	-	炉・竈	形状 規模
	状 態	不明	備考	
特記事項	土師器杯、須恵器甕			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMDバイパス	

S B15

検出位置	AH00	覆 土		
切 合	切 る	床 面		
切られる	SB14, 16	主柱穴		
規模・形状	プラン	(隅丸方形)	住居内施設	
	規模m	-×-	貯蔵穴	
	主 軸	不明	入 口	
	壁高cm	-	炉・竈	形状 規模
	状 態	不明	備考	
特記事項	須恵器甕片、鉄滓			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMDバイパス	

S B10

検出位置	AI06	覆 土		
切 合	切 る	床 面	軟弱	
切られる	SB03, 09	主柱穴	3基:P1~P3	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設	
	規模m	4.7×-	貯蔵穴	
	主 軸	N40° W	入 口	
	壁高cm	10	炉・竈	形状 石芯粘土竈
	状 態	緩やか	規模	110×90cm
特記事項	土師器杯片・甕、石製紡織車			
時代・時期	古墳後期後半	調査位置	AMDバイパス	

S B12

検出位置	BY49	覆 土		
切 合	切 る SB18	床 面	きわめて堅固	
切られる	SB05, 11, ST04	主柱穴		
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設	
	規模m	4.8×4.8	貯蔵穴	
	主 軸	N39° W	入 口	
	壁高cm	52	炉・竈	形状 粘土竈
	状 態	ほぼ垂直	規模	120×110cm
特記事項	土師器杯・高杯・甕			
時代・時期	古墳後期後半	調査位置	AMDバイパス	

S B14

検出位置	AI01	覆 土		
切 合	切 る SB15	床 面	堅固	
切られる		主柱穴	1基:P1	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設	
	規模m	3.8×-	貯蔵穴	
	主 軸	不明	入 口	
	壁高cm	8	炉・竈	形状 規模
	状 態	緩やか	備考	
特記事項	土師器杯片・甕			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMDバイパス	

S B16

検出位置	AF49	覆 土		
切 合	切 る SB13, 15, 17	床 面	軟弱	
切られる		主柱穴	1基:P1	
規模・形状	プラン	隅丸方形	住居内施設	
	規模m	4.2×-	貯蔵穴	
	主 軸	不明	入 口	
	壁高cm	25	炉・竈	形状 規模
	状 態	やや緩やか	備考	
特記事項	土師器杯・小型甕、鉄滓			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMDバイパス	

SB17

検出位置	AF01	覆土	
切合	切る	床面	内側が堅固
切られる	SB07, 08, 13, 16	主柱穴	
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模	規模m - × -	入口	
主軸	不明	炉・竈	形状 土器埋設炉
壁高	5	規模	48×50cm
状態	不明	備考	
特記事項	甕・壺		
時代・時期	弥生中期	調査位置	AMDバイパス

SB19

検出位置	BX04	覆土	
切合	切る	床面	
切られる		主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模	規模m - × -	入口	
主軸	不明	炉・竈	形状
壁高	25	規模	
状態	緩やか	備考	
特記事項			
時代・時期	不明	調査位置	AMDバイパス

SB21

検出位置	BS42	覆土	
切合	切る	床面	
切られる	SB20	主柱穴	3基:P1~P3
プラン	方形	貯蔵穴	P6
規模	規模m 8.8×-	入口	
主軸	不明	炉・竈	形状
壁高	-	規模	
状態	50	備考	
特記事項	土師器杯・高杯、須恵器蓋、有孔円板、白玉 編物石・台石		
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMDバイパス

SB23

検出位置	BM44	覆土	
切合	切る	床面	きわめて堅固
切られる		主柱穴	6基:P1~P6
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模	規模m 5.9×-	入口	
主軸	N49° W	炉・竈	形状 石芯粘土竈
壁高	50	規模	116×83cm
状態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	土師器杯・甕、須恵器蓋・甕、刀子・鎌		
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMDバイパス

SB18

検出位置	AW47	覆土	
切合	切る	床面	きわめて堅固
切られる	SB11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19	主柱穴	1基:P2
プラン	不明	貯蔵穴	
規模	規模m 4.7×-	入口	
主軸	不明	炉・竈	形状 土器埋設炉
壁高	23	規模	52×44cm
状態	やや緩やか	備考	
特記事項	鉢・甕・壺、打製石斧・磨製石斧・磨製石鏃		
時代・時期	弥生中期	調査位置	AMDバイパス

SB20

検出位置	BT42	覆土	
切合	切る	床面	
切られる		主柱穴	
プラン	不明	貯蔵穴	
規模	規模m - × -	入口	
主軸	不明	炉・竈	形状
壁高	-	規模	
状態	不明	備考	
特記事項	土師器壺片、編物石、鎌		
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMDバイパス

SB22

検出位置	BQ39	覆土	
切合	切る	床面	堅固
切られる	火葬墓1	主柱穴	2基:P1, P2
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模	規模m 6.4×-	入口	
主軸	不明	炉・竈	形状
壁高	40	規模	
状態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	土師器甕、須恵器杯・甕、フイゴの羽口、鉄滓、編物石		
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMDバイパス

SB24

検出位置	BL39	覆土	
切合	切る	床面	
切られる	SB25, 26, 28	主柱穴	1基:P1
プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
規模	規模m 5.3×5.2	入口	
主軸	N127° E	炉・竈	形状 石芯粘土竈
壁高	26	規模	99×94cm
状態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	土師器杯・皿、須恵器高杯、刀子、飾り金具、不明鉄製品		
時代・時期	平安終末	調査位置	AMDバイパス

S B25

検出位置	BL41	覆 土		
切 合	切 る	床 面	堅固	
切られる	SB24	主柱穴	4基 : P1~P4	
規模・形状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
	規模m	3.6×3.0	入 口	
	主 軸	N49° W	形状	不明
	壁高cm	41	規模	80×70cm
	状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	土師器杯・小型甕、白玉			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMDバイパス	

S B27

検出位置	BL36	覆 土		
切 合	切 る	床 面	軟弱	
切られる	GOB SB53	主柱穴		
規模・形状	プラン	(隅丸方形)	貯蔵穴	
	規模m	-×-	入 口	
	主 軸	不明	形状	
	壁高cm	30	規模	
	状 態	やや緩やか	備考	
特記事項	土師器甕、須恵器杯・蓋・壺			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMDバイパス	

S B29

検出位置	BV02	覆 土		
切 合	切 る	床 面		
切られる		主柱穴		
規模・形状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
	規模m	6.0×-	入 口	
	主 軸	不明	形状	
	壁高cm	50	規模	
	状 態	やや緩やか	備考	
特記事項	土師器高杯・壺、須恵器蓋			
時代・時期	不明	調査位置	AMDバイパス	

S B31

検出位置	BT00	覆 土		
切 合	切 る	床 面		
切られる	ST03	主柱穴		
規模・形状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
	規模m	2.5×-	入 口	
	主 軸	不明	形状	
	壁高cm	20	規模	
	状 態	やや緩やか	備考	
特記事項				
時代・時期	不明	調査位置	AMDバイパス	

S B26

検出位置	BM37	覆 土		
切 合	切 る	床 面	堅固	
切られる	SB24	主柱穴	4基 : P1~P4	
規模・形状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
	規模m	5.6×5.0	入 口	
	主 軸	N29° W	形状	石芯粘土電
	壁高cm	45	規模	120×98cm
	状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	土師器杯・高杯・甕			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMDバイパス	

S B28

検出位置	BM39	覆 土		
切 合	切 る	床 面	堅固	
切られる	SB24, 26	主柱穴		
規模・形状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
	規模m	2.9×-	入 口	
	主 軸	N42° W	形状	石芯粘土電
	壁高cm	16	規模	90×-cm
	状 態	ほぼ垂直	備考	
特記事項	土師器杯・高杯・甕・小型甕			
時代・時期	古墳後期後半	調査位置	AMDバイパス	

S B30

検出位置	BK36	覆 土		
切 合	切 る	床 面	軟弱	
切られる	SB26, 27	主柱穴		
規模・形状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴	
	規模m	3.4×3.4	入 口	
	主 軸	不明	形状	
	壁高cm	30	規模	
	状 態	やや緩やか	備考	
特記事項	土師器甕・須恵器蓋			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMDバイパス	

S B32

検出位置	BJ37	覆 土		
切 合	切 る	床 面		
切られる	SD03, 04, 小壜穴2	主柱穴	1基 : P1か	
規模・形状	プラン	不明	貯蔵穴	
	規模m	-×-	入 口	
	主 軸	不明	形状	
	壁高cm	30	規模	
	状 態	やや緩やか	備考	
特記事項	土師器杯・甕			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMDバイパス	

S B33

検出位置	AN37	覆 土	
切 合	切 る 切られる	床 面	
規模・形状	プラン	不明	住居内施設 貯蔵穴 入 口 形状 炉・竈 規模 備考
	規模m	4.2×-	
	主 軸	不明	
	壁高cm	-	
	状 態	不明	
特記事項	SD06と重複		
時代・時期	不明	調査位置	AMD4742-5

S B35

検出位置	AJ01	覆 土	
切 合	切 る 切られる	床 面	
規模・形状	プラン	不明	住居内施設 貯蔵穴 入 口 形状 炉・竈 規模 備考
	規模m	-×-	
	主 軸	不明	
	壁高cm	-	
	状 態	不明	
特記事項			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMD4742-5

S B37

検出位置	AF45	覆 土	
切 合	切 る 切られる	床 面	
規模・形状	プラン	不明	住居内施設 貯蔵穴 入 口 形状 炉・竈 規模 備考
	規模m	-×-	
	主 軸	不明	
	壁高cm	-	
	状 態	不明	
特記事項			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMD4742-5

S B39

検出位置	BQ38	覆 土	
切 合	切 る 切られる	床 面	
規模・形状	プラン	(隅丸方形)	住居内施設 貯蔵穴 入 口 形状 炉・竈 規模 備考
	規模m	6.6×-	
	主 軸	不明	
	壁高cm	-	
	状 態	不明	
特記事項	一部プランのみ確認		
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMD4700-3

S B34

検出位置	AM39	覆 土	
切 合	切 る 切られる	床 面	
規模・形状	プラン	不明	住居内施設 貯蔵穴 入 口 形状 炉・竈 規模 備考
	規模m	3.5×-	
	主 軸	不明	
	壁高cm	-	
	状 態	不明	
特記事項			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMD4742-5

S B36

検出位置	AG44	覆 土	
切 合	切 る 切られる	床 面	
規模・形状	プラン	不明	住居内施設 貯蔵穴 入 口 形状 炉・竈 規模 備考
	規模m	-×-	
	主 軸	不明	
	壁高cm	-	
	状 態	不明	
特記事項			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMD4742-5

S B38

検出位置	BS32	覆 土	
切 合	切 る 切られる	床 面	
規模・形状	プラン	不明	住居内施設 貯蔵穴 入 口 形状 炉・竈 規模 備考
	規模m	8.9×-	
	主 軸	不明	
	壁高cm	-	
	状 態	不明	
特記事項	一部プランのみ確認		
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMD4700-3

S B40

検出位置	BW25	覆 土	
切 合	切 る 切られる	床 面	
規模・形状	プラン	不明	住居内施設 貯蔵穴 入 口 形状 炉・竈 規模 備考
	規模m	-×-	
	主 軸	不明	
	壁高cm	-	
	状 態	不明	
特記事項	一部プランのみ確認		
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMD4700-3

S B 41

検出位置	AF24	覆 土		
切 合	切 る	床 面		
	切られる	主柱穴		
規模・形状	プラン	不明	住居内施設	
	規模m	-×-		貯蔵穴
	主 軸	不明		入 口
	壁高cm	-		炉 形状
	状 態	不明		炉・竈 規模備考
特記事項	一部プランのみ確認			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMD4700-3	

S B 43

検出位置	AM28	覆 土		
切 合	切 る	床 面		
	切られる	主柱穴		
規模・形状	プラン	不明	住居内施設	
	規模m	8.0×-		貯蔵穴
	主 軸	不明		入 口
	壁高cm	-		炉 形状
	状 態	不明		炉・竈 規模備考
特記事項	一部プランのみ確認			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMD4700-3	

S B 45

検出位置	AF39	覆 土		
切 合	切 る	床 面		
	切られる	主柱穴		
規模・形状	プラン	不明	住居内施設	
	規模m	-×-		貯蔵穴
	主 軸	不明		入 口
	壁高cm	-		炉 形状
	状 態	不明		炉・竈 規模備考
特記事項	一部プランのみ確認			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMD4700-3	

S B 42

検出位置	AJ22	覆 土		
切 合	切 る	床 面		
	切られる	主柱穴		
規模・形状	プラン	不明	住居内施設	
	規模m	6.1×-		貯蔵穴
	主 軸	不明		入 口
	壁高cm	-		炉 形状
	状 態	不明		炉・竈 規模備考
特記事項	一部プランのみ確認			
時代・時期	古墳後期	調査位置	AMD4700-3	

S B 44

検出位置	AJ33	覆 土		
切 合	切 る	床 面		
	切られる	SD97	主柱穴	
規模・形状	プラン	不明	住居内施設	
	規模m	5.9×-		貯蔵穴
	主 軸	不明		入 口
	壁高cm	-		炉 形状
	状 態	不明		炉・竈 規模備考
特記事項	一部プランのみ確認			
時代・時期	平安	調査位置	AMD4700-3	

② 独立柱建物址 (S T)

遺構No	調査位置	検出位置	(桁×梁) m	間×間	柱間距m	柱間距m	桁行方向	時代	重複関係	出土遺物	備考
ST01	AMD₁バイパス	BN42	3.6×3.2	2×2	1.6~2.0	1.5~1.8	N50° W	古墳後期以降	SB18を切る	土師器片、須臾器片	
ST02	AMD₂バイパス	BP43	- X -	(3×3)	1.5~1.8	1.3~1.5	N48° E	奈良以降	SB05, 11, 18を切る		
ST03	AMD₃バイパス	BL43	- X -	3×-	1.1~1.2	1.4	N47° E	弥生以降	SB31を切る		
ST04	AMD₄バイパス	BR45	- X -	- X -	2.3	1.9	N41° W	不明	SB12, SD01を切る		
ST05	AMD₅バイパス	BK41	3.5×3.4	2×2	1.4~1.8	1.4~1.8	N37° W	不明	SB08を切る		

③ 火葬墓

遺構No	調査位置	検出位置	規模(長×短×深)cm	形勢	時代	重複	出土遺物	備考
火葬墓1	AMD₁バイパス	BQ39	(100)×(160)×-	楕円形	中世	SB22を切る	古銭、焼骨	

④ 築石 (S I)

遺構No	調査位置	検出位置	規模(長×短×深)cm	形勢	時代	重複	出土遺物	備考
SI01	AMD₁バイパス	BW50	110×90×27	楕円形	不明			
SI02	AMD4742-5	AL49	160×92×-	不定形				フランクのみ確認
SI03	AMD4742-5	AK00	115×75×-	不定形				フランクのみ確認
SI04	AMD4742-5	AH02	195×175×-	円形				フランクのみ確認

⑤ 小竈穴

遺構No	調査位置	検出位置	規模(長×短)cm	深cm	形勢	壁の状態	主軸方向	時代	重複関係	出土遺物	備考
小竈穴1	AMD₁バイパス	BW47	290×200	38	楕円形	壁やか	N45° W	弥生中期以降	SB18を切る		
小竈穴2	AMD₂バイパス	BL37	200×170	50	楕円方形	ほぼ垂直	N45° E	古墳後期~奈良	SB32を切り、SD08に切られる		SD08に伴う可能性も
小竈穴3	AMD4742-5	AO47	291×-	18	不明	やや壁やか	不明		SB33と重複		
小竈穴4	AMD4742-5	AE05	250×-	7	不明	やや壁やか	不明				

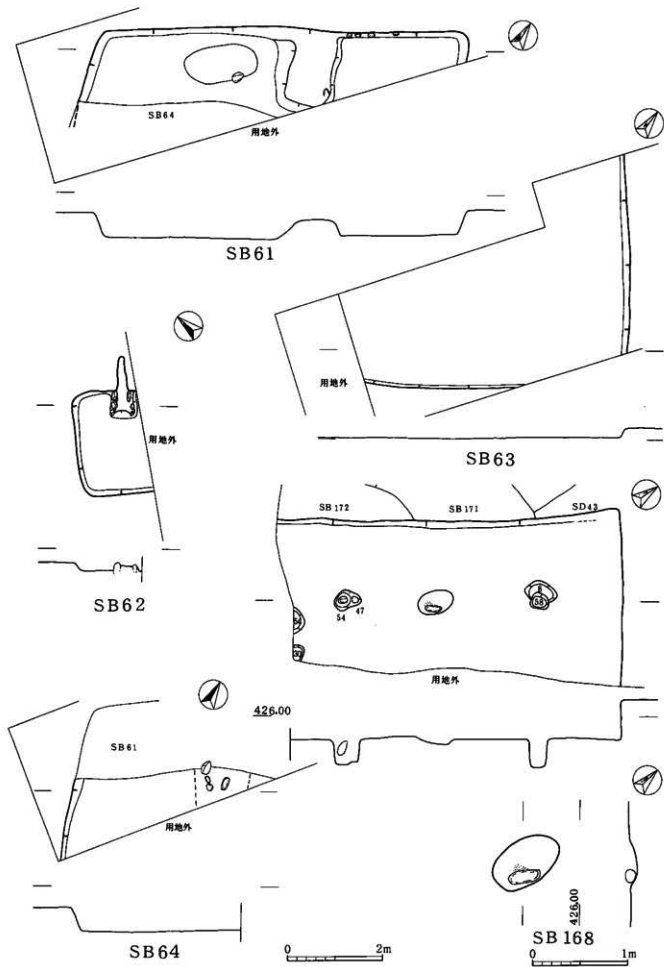
⑥ 方形周溝墓 (S M)

遺構No	調査位置	検出位置	規模m	深cm	主軸	断面形	主体部傾斜m	主体部主軸	時代	重複関係	出土遺物	備考
SM01	AMD₁バイパス	AJ02	- X -	140~50	N50° E	U字形	不明	不明	不明	SB03, SD02に切られる		
SM02	AMD4700-3	AA25	- X -	100	不明	不明	不明	不明	不明	発生		

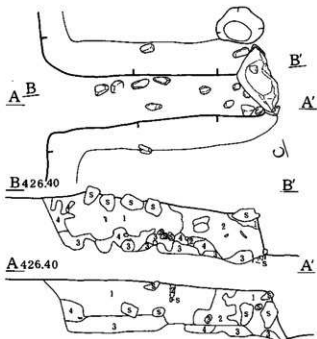
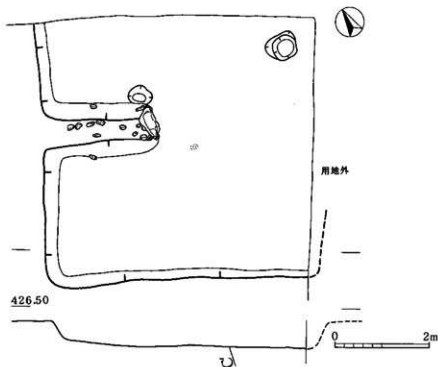
⑦ 溝址 (SD)

透視地	調査位置	検出位置	規模 (長×大端×小端) m (×小端×小端)	主軸	時代	重複関係	出土遺物	備考
SD01	AMD-1-1バス	AC01	(25)×1.5×0.3 ×0.6×0.3	西: N130° E 東: N72° E	江戸後期	SB01, 02, 08, 09, 12を切る	土師器杯・高杯・甕・甌 須恵器蓋片・甕	
SD02	AMD-1-1バス	AJ03	(4.5)×0.8×0.2 ×0.4×0.1	N110° E	不明	SM01を切る		
SD03	AMD-1-1バス	BJ09	(8.0)×1.2×0.3 ×1.0×0.3	N45° W	奈良～平安	SB32, SD04, 小聖次?を切る	土師器杯・高杯・甕、須恵器蓋・杯	
SD04	AMD-1-1バス	BJ40	(10.0)×2.8×0.6 ×2.0×0.4	N66° E	奈良	SB32を切り、SD03に切られる	土師器高杯・甕、須恵器蓋・杯・皿・甌	
SD05	AMD-1-1バス	BX01	(8.0)×0.8×0.3 ×0.3×0.03	N146° W	古墳後期前半以降	SB08を切る		
SD06	AMD4742-5	AM38	(4.5)×0.7× ×0.5×-	N105° E		SB33と重複		
SD07	AMD4700-3	AK02	(8.0)×0.8×0.3 ×0.3×0.03	N65° E		SB44を切る		

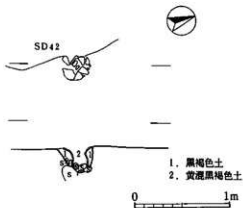
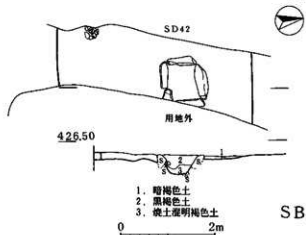
新屋敷地籍遺構図



第1圖 SB61, 62, 63, 64, 168



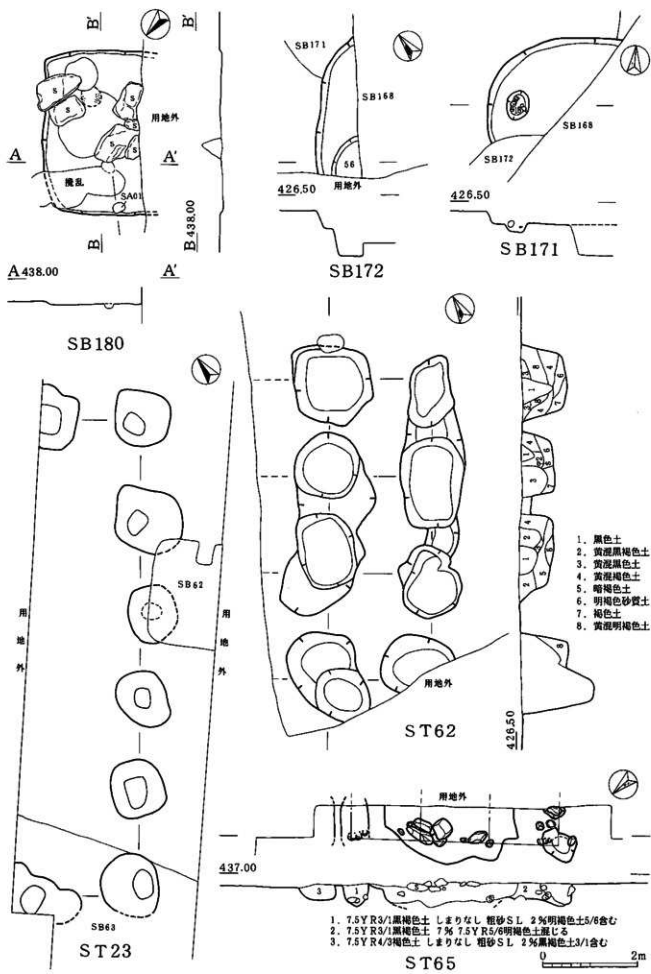
1. 黒色土
2. 焼土混り黒色土
3. 黄色砂土混じり黒色土
4. 3より黄色砂土の混入が少ない



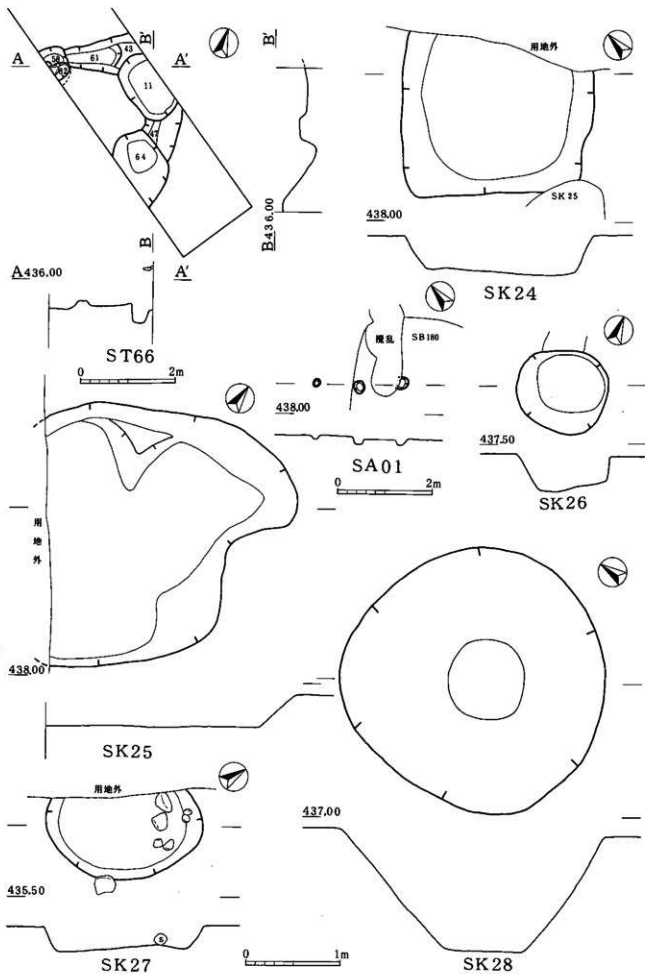
1. 暗褐色土
2. 黒褐色土
3. 焼土混り暗褐色土

1. 黒褐色土
2. 黄褐色土

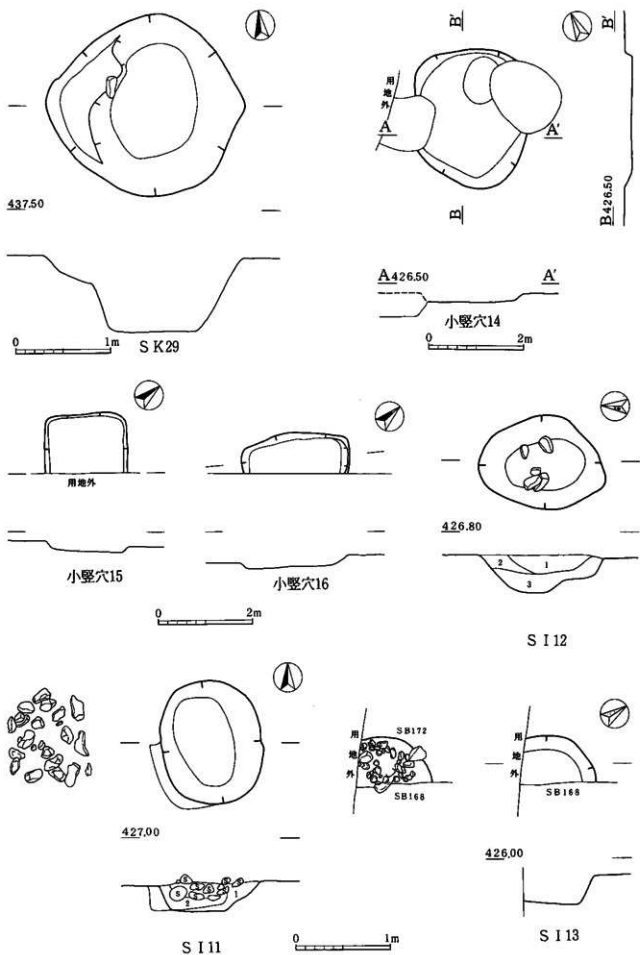
第2図 SB169, 170



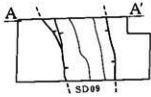
第3図 SB171, 172, 180, ST23, 62, 65



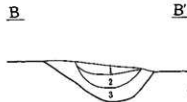
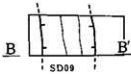
第4圖 ST66, SA01, SK24~28



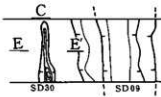
第5图 SK 29. 小竖穴14~16, S I 11~13



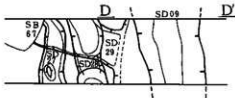
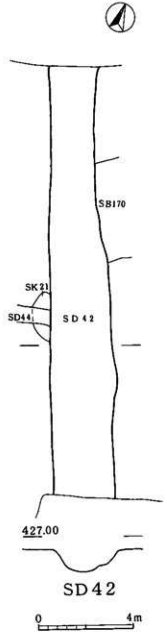
1. 黄褐色砂質土
2. 褐色土
3. 黒褐色土
4. 黒色土
5. 黒褐色土(黄色砂土混り)



1. 黒色土(多少黒土が混る)
2. 褐色土
3. 黒褐色土



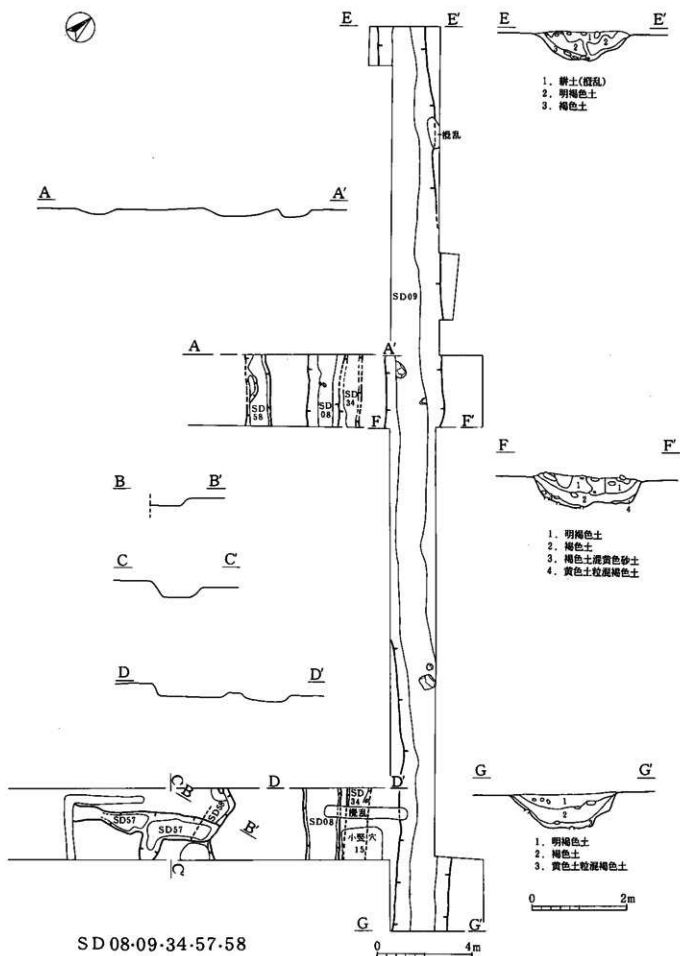
1. 黒褐色土
2. 褐色土
3. 黒色土
4. 黒色土(黄色砂土混り)



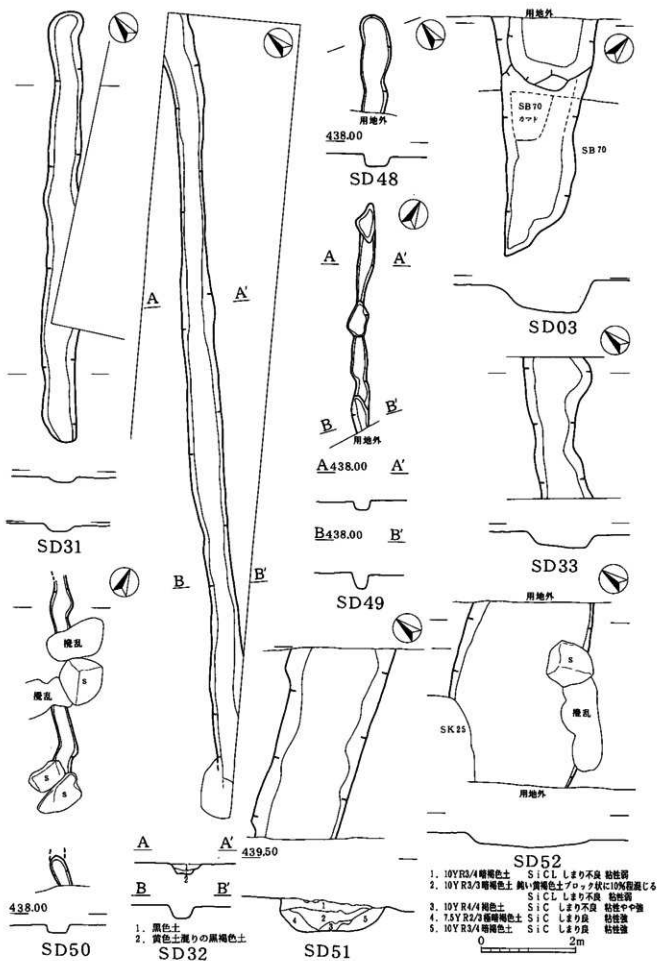
SD 09・27・28・29・30



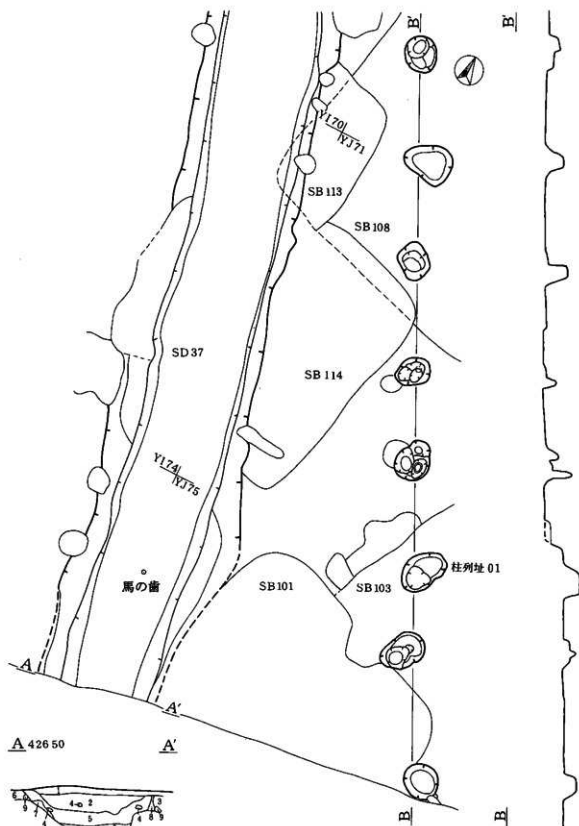
第6図 SD09, 27, 28, 29, 30, 42



第7圖 SD08, 09, 34, 57, 58



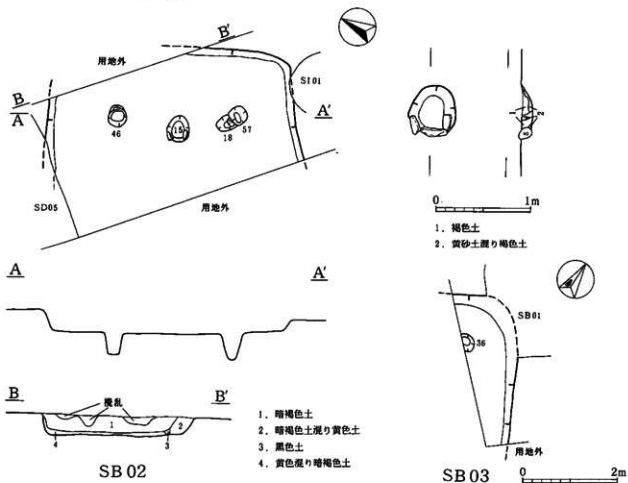
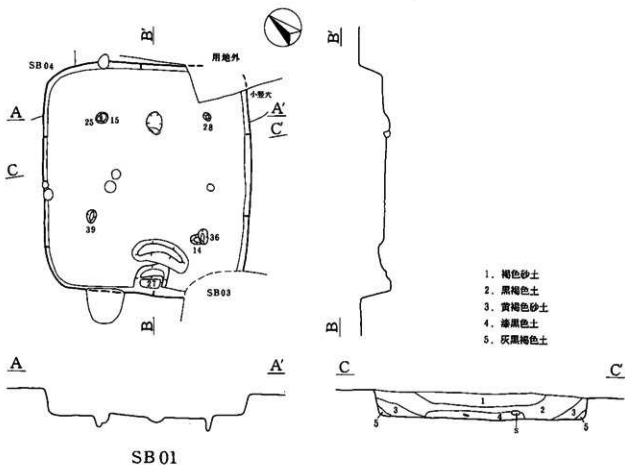
第8図 SD03, 31~33, 48~52



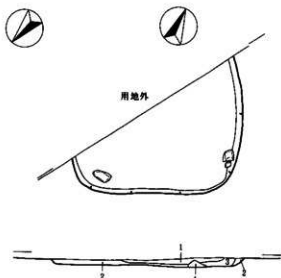
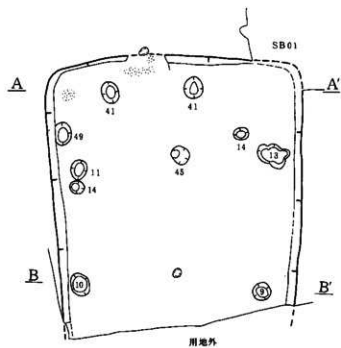
- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 褐色土 | 5. 暗褐色土 |
| 2. 暗黄褐色土 | 6. 黒褐色土 |
| 3. 黒色土 | 7. 黄色土混黒褐色土 |
| 4. 暗黄色土ブロック | 8. 黄色土混暗褐色土 |
| | 9. 黄色砂質土(ブロック) |

第9図 SD37

葉師垣外地籍遺構図



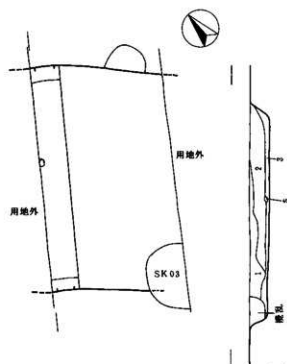
第10図 SB01, 02, 03



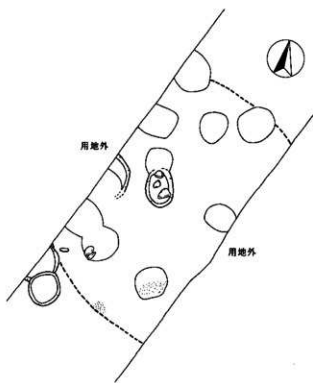
- SB 05
1. 暗褐色土
 2. 暗褐色土混り黄色土
 3. 黄色土混り褐色土
 4. 黄色砂質土(地山)



SB 04



SB 07

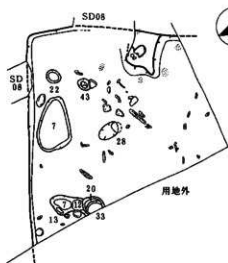


SB 06

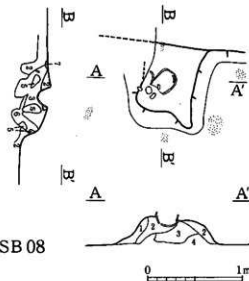
1. 黒色土
2. 暗褐色土
3. 黄色土混り褐色土

0 2m

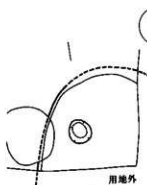
第11図 SB04, 05, 06, 07



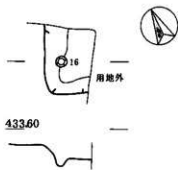
SB 08



1. 粘土・焼土混り黒褐色土
2. 黒褐色土
3. 焼土混り黒色土
4. 黄色粘質砂土
5. 灰土ブロック
6. 黒色土混り黄色土
7. 焼土

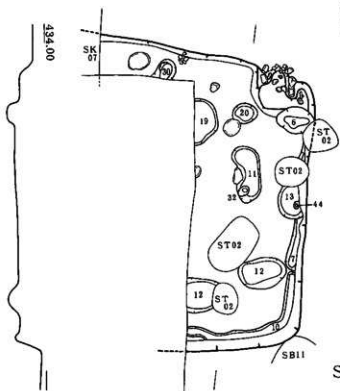


SB 09



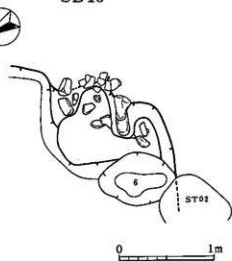
433.60

SB 10



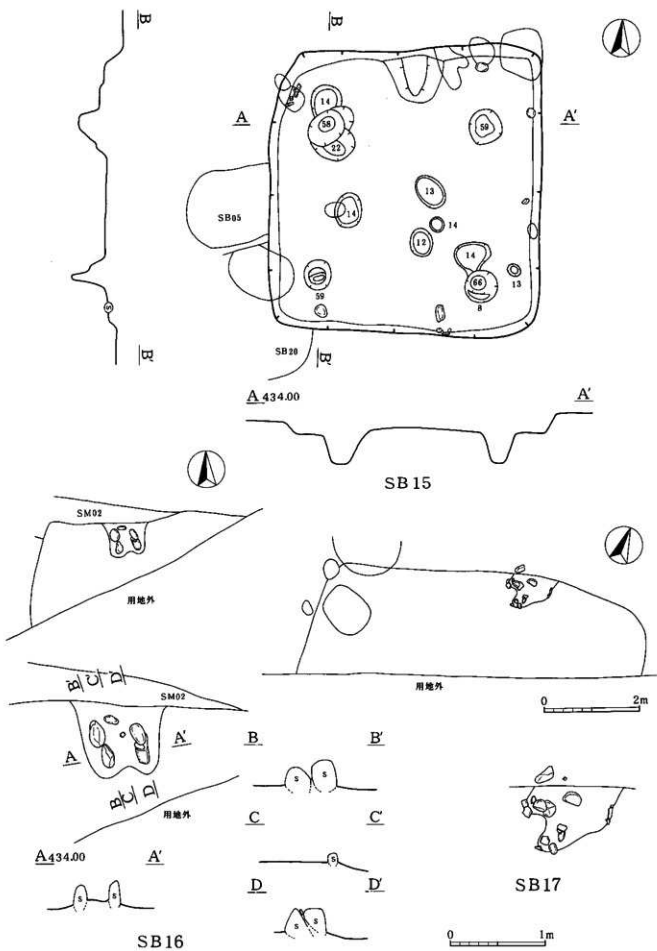
SB 12

0 2m

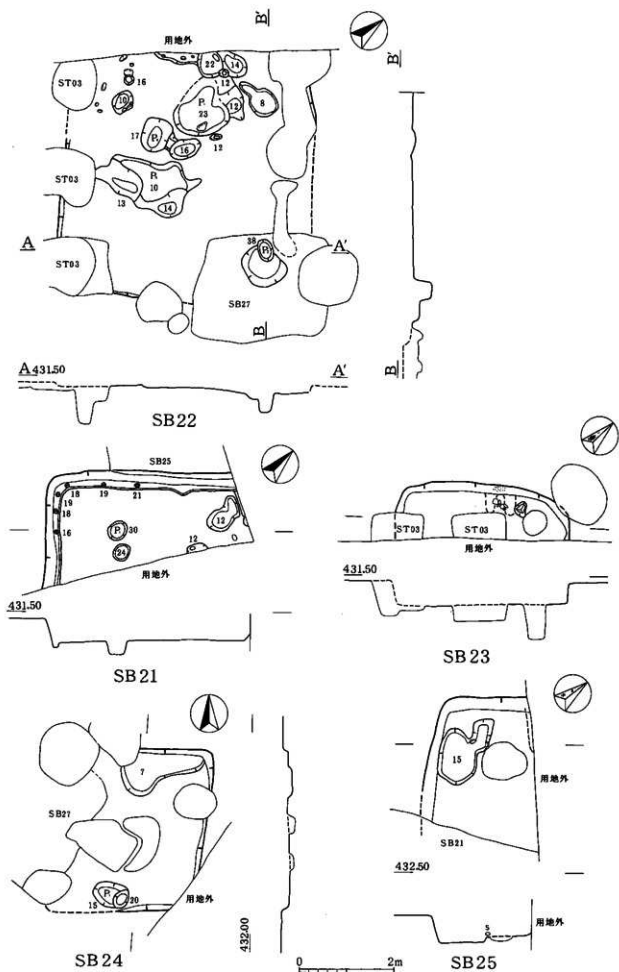


0 1m

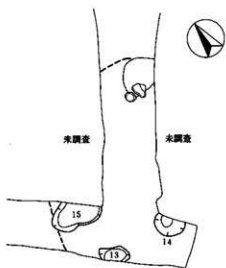
第12図 SB08, 09, 10, 12



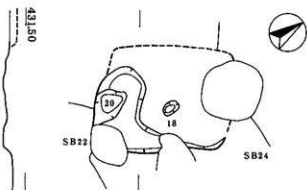
第13図 SB15, 16, 17



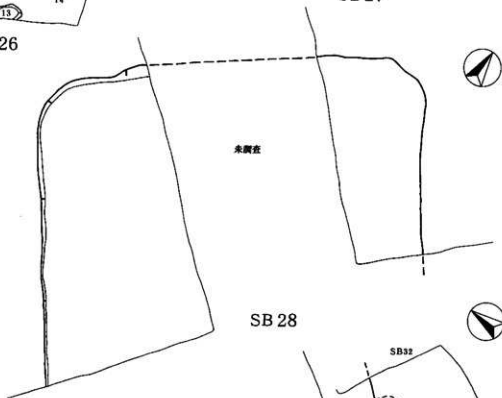
第14图 SB21, 22, 23, 24, 25



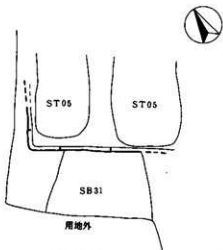
SB 26



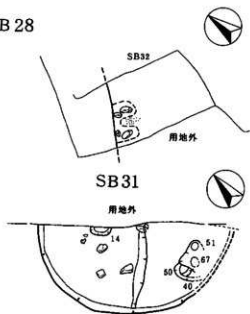
SB 27



SB 28



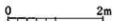
SB 32



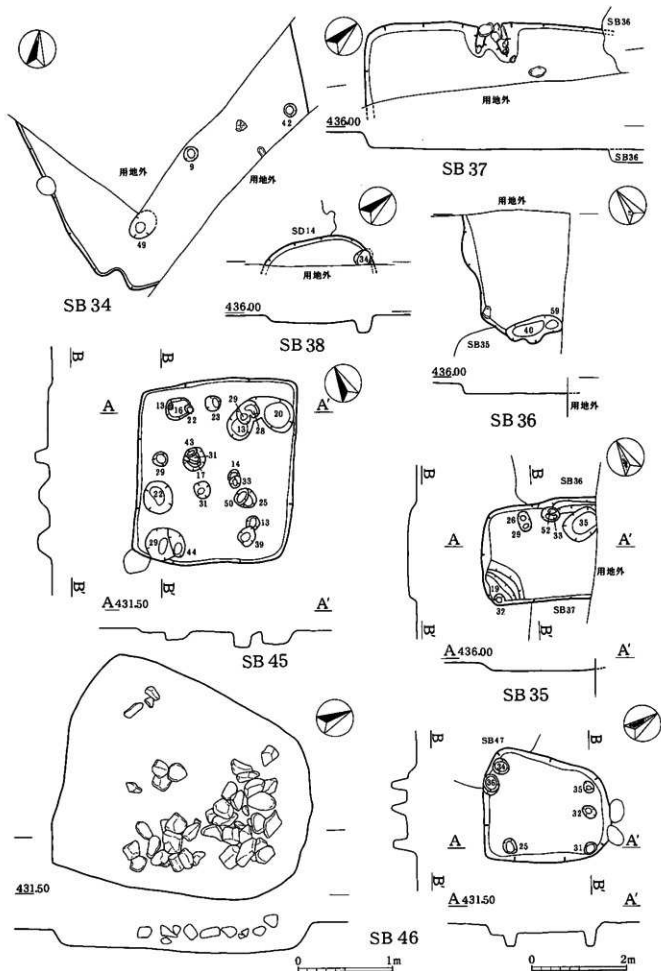
SB 31



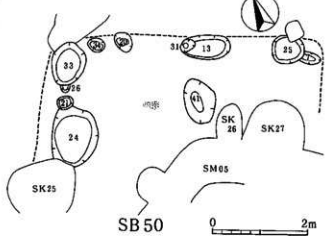
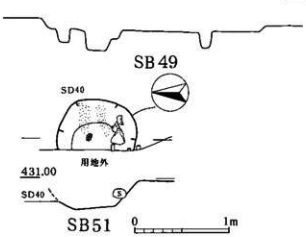
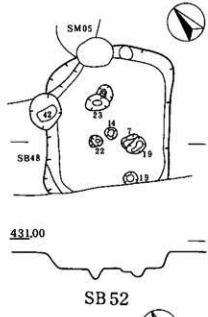
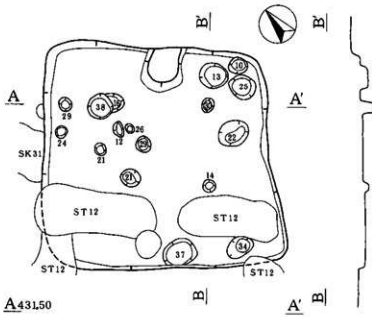
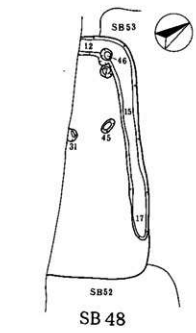
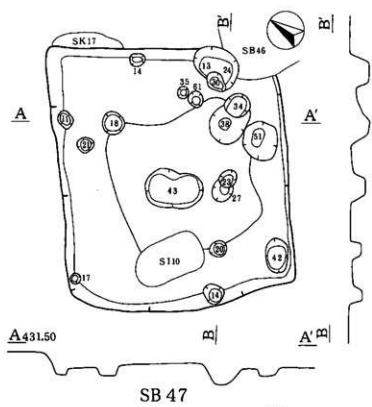
SB 33



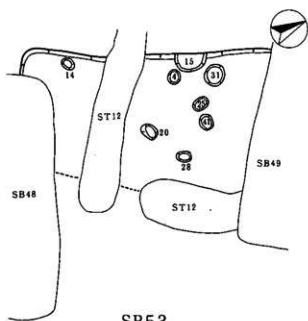
第15図 SB 26, 27, 28, 31, 32, 33



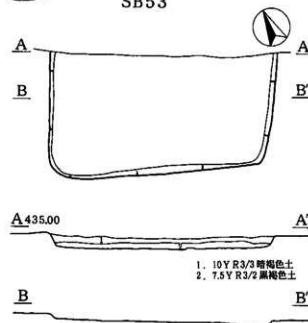
第16圖 SB34, 35, 36, 37, 38, 45, 46



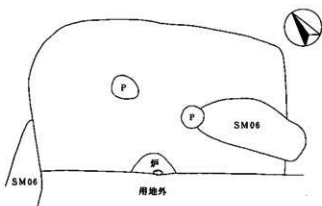
第17圖 SB47, 48, 49, 50, 51, 52



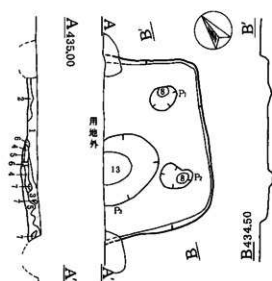
SB53



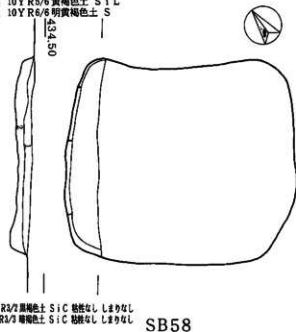
SB57



SB59

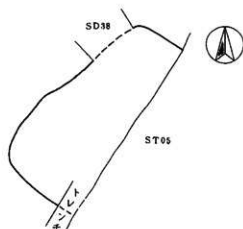


1. 10YR3/2 黒褐色土 炭化物微量
2. 10YR3/3 暗褐色土
3. 7.5YR3/2 黒褐色土 炭化物少量 SB56
4. 10YR3/2 黒褐色土
5. 10YR3/3 暗褐色土
6. 10YR5/6 黄褐色土 SiL
7. 10YR6/6 明黄褐色土 S

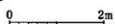


1. 7.5YR3/2 黒褐色土 SiC 粘粒なし L296L
2. 10YR3/2 暗褐色土 SiC 粘粒なし L296L

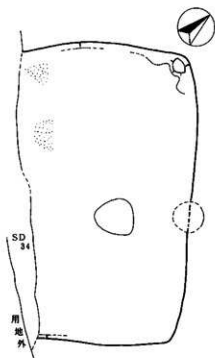
SB58



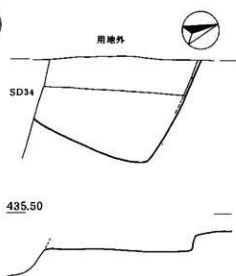
SB60



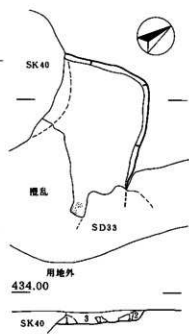
第18図 SB53, 56, 57, 58, 59, 60



SB 62

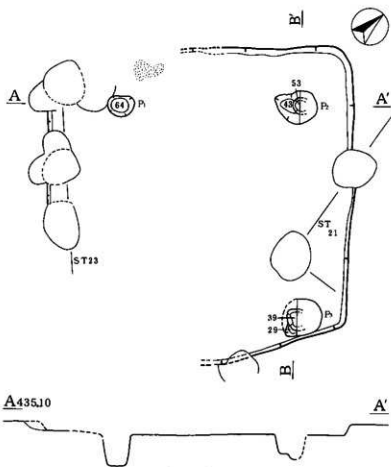


SB65

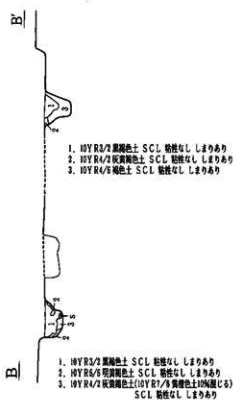


SB68

1. 10YR2/6 黄褐色土(10YR2/1) 灰白色土(9%磁石) 粘性ややあり しまりあり
2. 10YR6/4 におい黄褐色土 粘性なし しまりあり
3. 10YR3/1 黒褐色土 粘性ややあり しまりあり 炭化物混じる

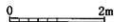


SB64

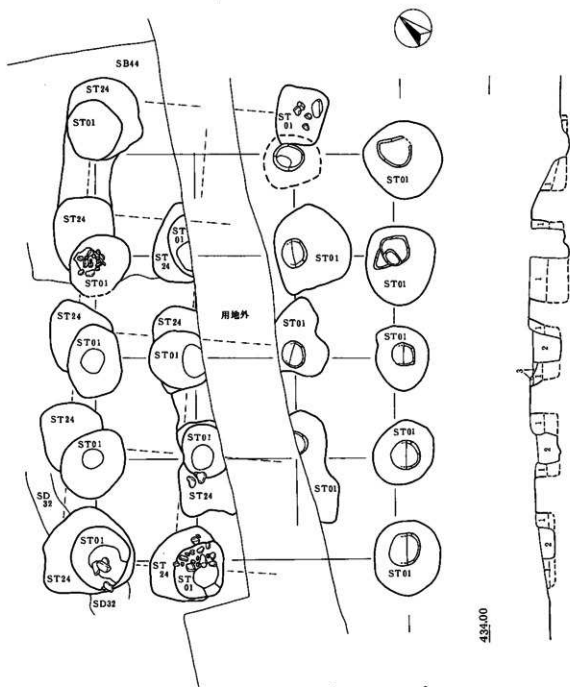


1. 10YR2/6 黄褐色土 SCL 粘性なし しまりあり
2. 10YR4/6 灰黄褐色土 SCL 粘性なし しまりあり
3. 10YR4/5 褐色土 SCL 粘性なし しまりあり

1. 10YR3/1 黒褐色土 SCL 粘性なし しまりあり
2. 10YR6/6 明黄褐色土 SCL 粘性なし しまりあり
3. 10YR4/2 灰黄褐色土(10YR7/8 黄褐色土10%混じる) SCL 粘性なし しまりあり



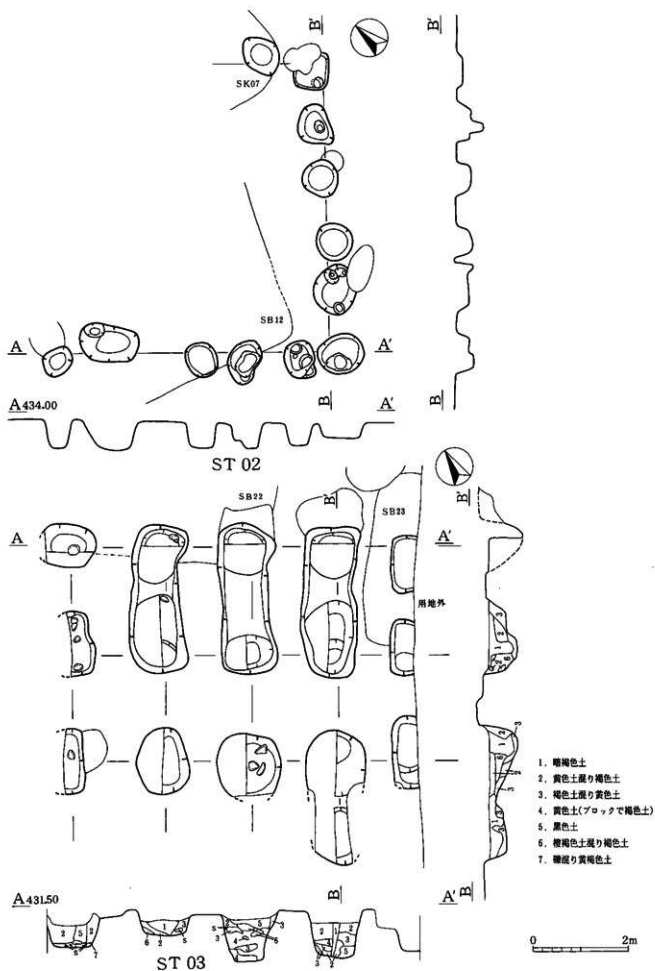
第19図 SB62, 64, 65, 68



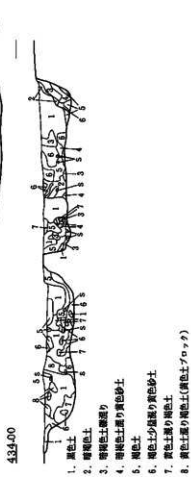
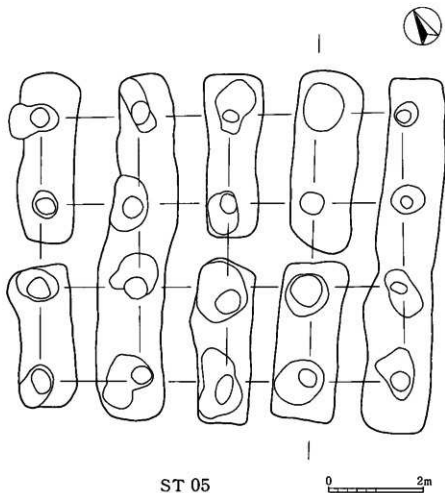
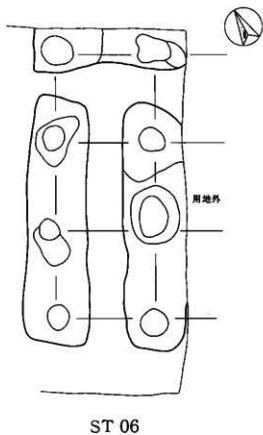
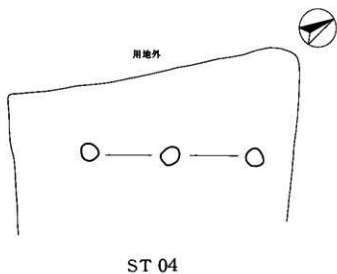
ST 01-24

0 2m

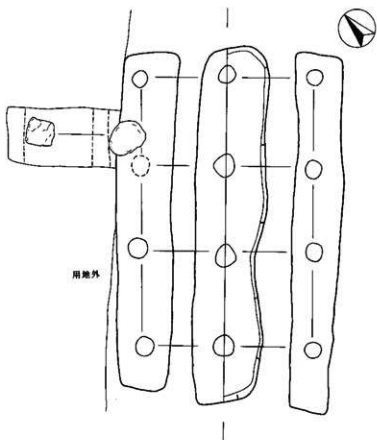
1. 褐色砂質土 (掘り方を覆めた土…地山を掘った時に出た土)
2. 暗褐色土 (柱痕)
3. 暗褐色土に褐色砂土混じる



第21図 ST02, 03



第22図 ST 04, 05, 06

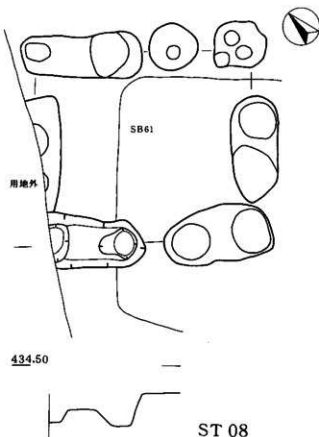


ST 07

434.40

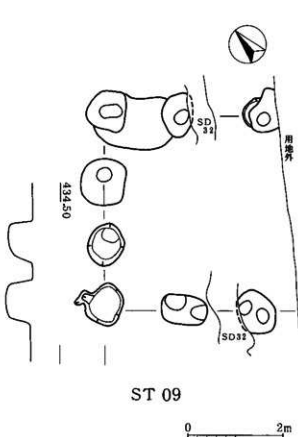


- (注) 1. 10Y R3/2 黄褐色土
 2. 10Y R3/3 暗褐色土
 3. 10Y R3/3 黄褐色土 (黄褐色S i Lの混りが多い)
 4. 10Y R3/4 暗褐色土 (黄褐色S i L混る)
 5. 10Y R5/6 黄褐色土
 6. 10Y R3/3 暗褐色土 (黄褐色S i Lがブロックで混る)
 7. 10Y R3/3 暗褐色土 (黄褐色S i L、褐色S i L混る)
 8. 10Y R3/4 暗褐色土 (黄褐色S i Lがブロックで混る)
 9. 10Y R4/3 黄褐色土 (黄褐色S i Lがわずかに混る)
 10. 10Y R3/4 暗褐色土
 11. 10Y R3/3 暗褐色土
 12. 10Y R2/3 黄褐色土



ST 08

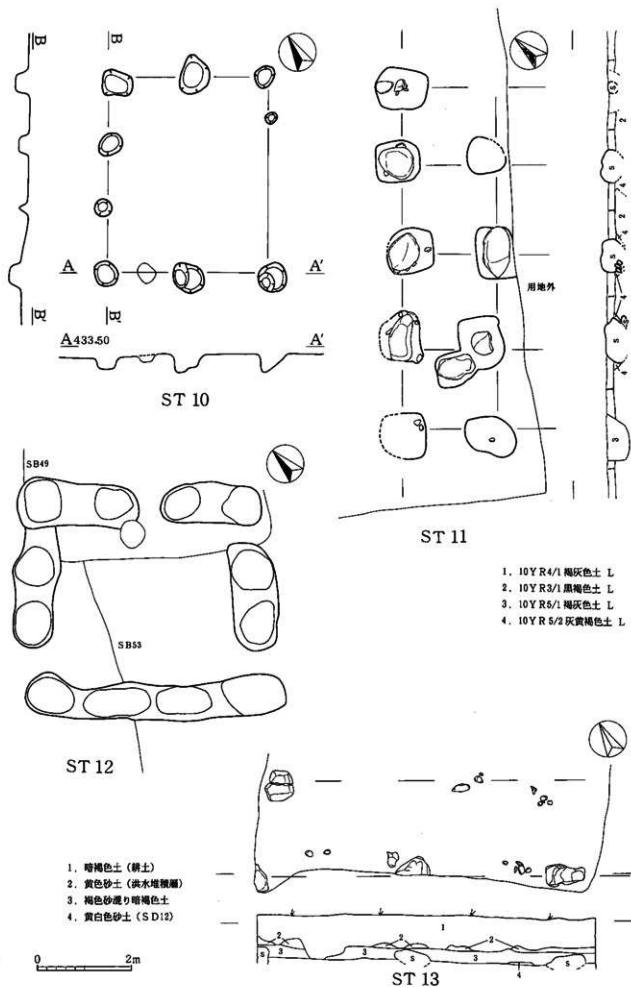
434.50



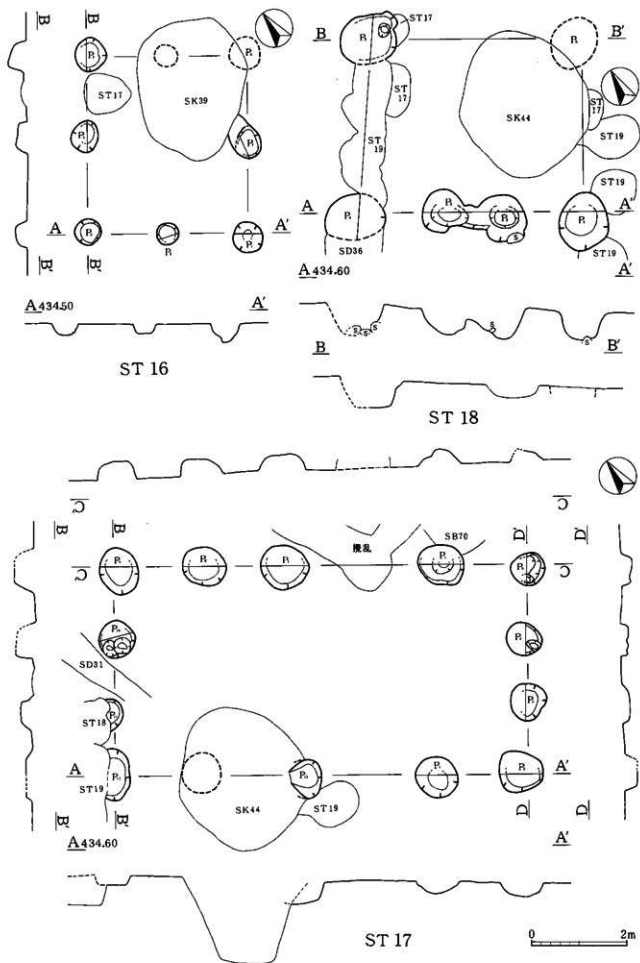
ST 09

434.50

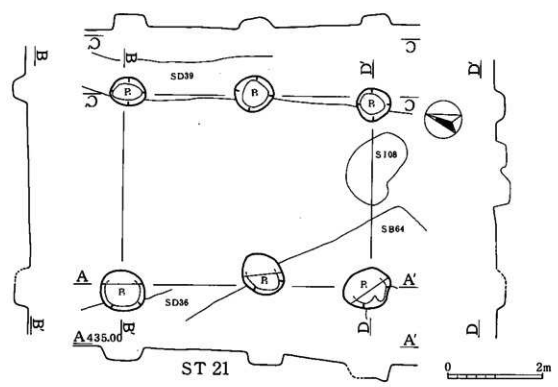
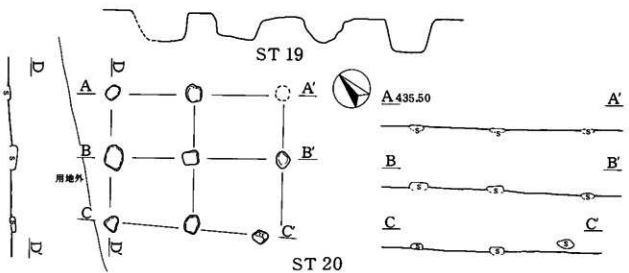
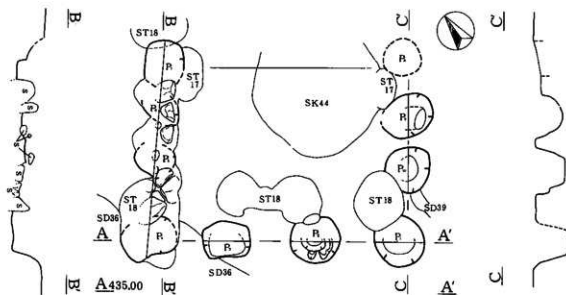
0 2m



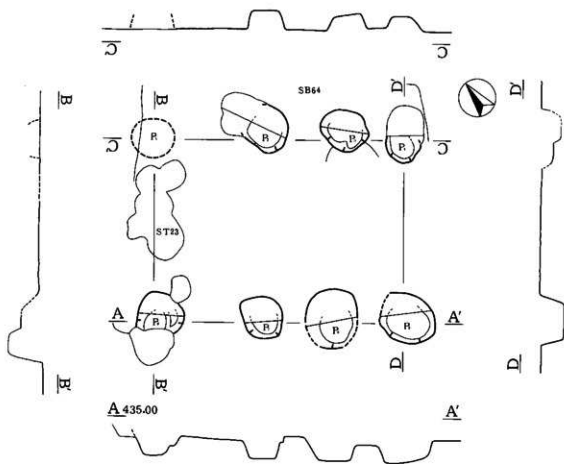
第24図 ST10. 11. 12. 13



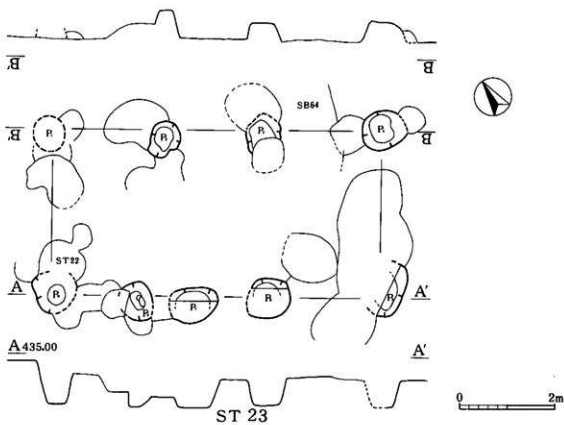
第25圖 ST16. 17. 18



第26图 ST 19, 20, 21

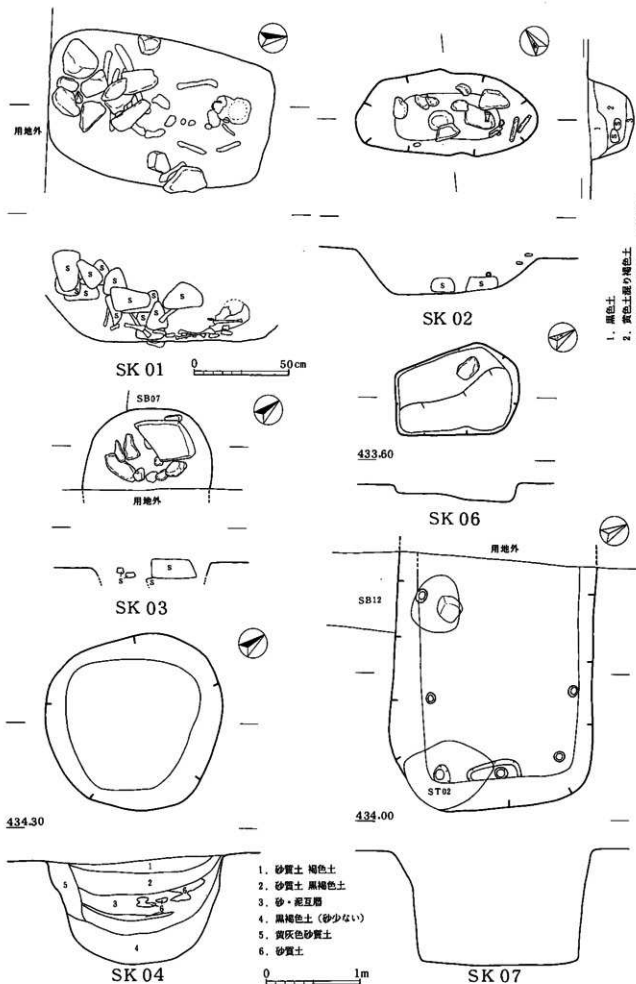


ST 22

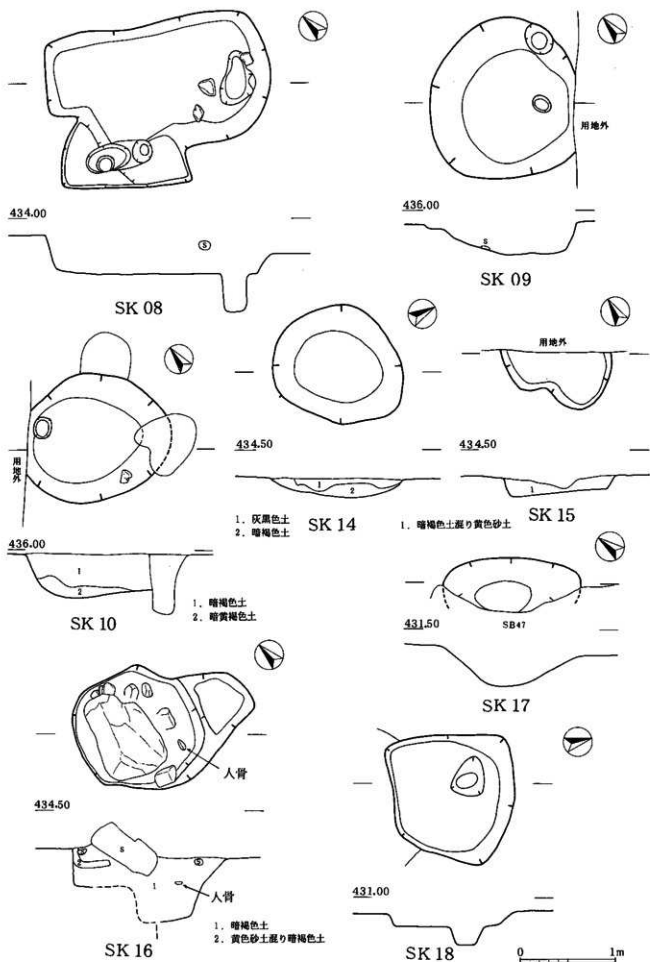


ST 23

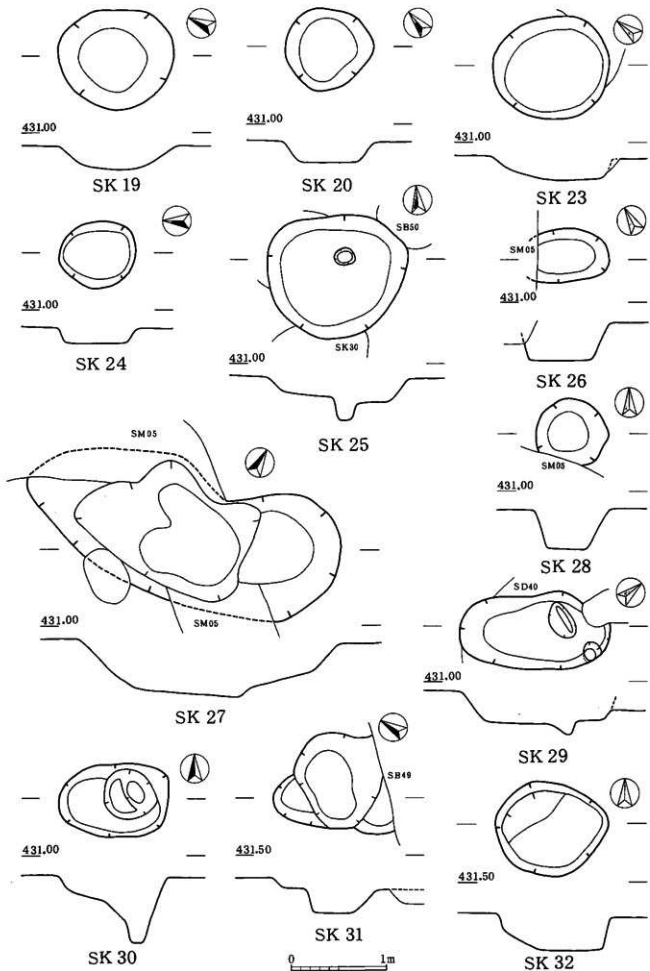
第27圖 ST 22, 23



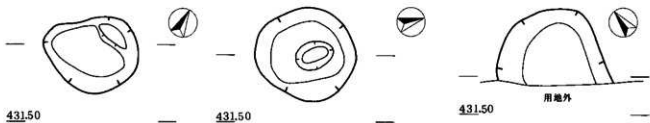
第28図 SK01~04, 06, 07



第29図 SK08~10, 14~18



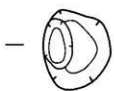
第30圖 SK 19, 20, 23~32



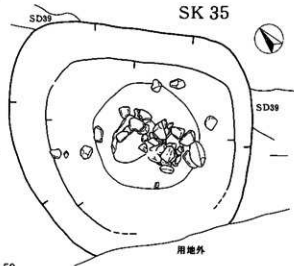
SK 33

SK 34

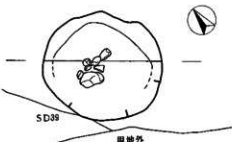
SK 35



SK 36

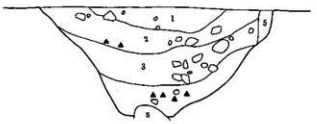


SK 38



SK 37

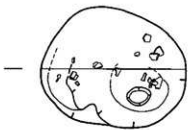
1. 10YR7/8 黄褐色土 (3/1 厚褐色土が10%混じる) SCL 粘性なし しまりあり
2. 10YR4/1 暗灰色土 SCL 粘性ややあり しまりあり
3. 10YR2/1 黒褐色土 SCL 粘性ややあり しまりあり



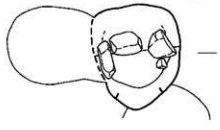
1. 10YR2/1 暗褐色土 (10YR4/1 褐色土がフロッグ状に混じる) SCL 粘性ややあり しまりあり 炭化物少々あり
 2. 10YR2/2 暗褐色土 SCL 粘性あり しまりあり 炭化物あり
 3. 10YR2/1 暗褐色土 SCL 粘性あり しまりあり 炭化物あり ござりおよび大の石が集中している
 4. 10YR2/1 暗褐色土 SCL 粘性あり しまりあり 炭化物あり
 5. 10YR2/1 暗褐色土 (10YR2/3 黄褐色土がフロッグ状に混じる) SCL 粘性なし しまりあり
- 炭化物
▲ 炭化木



1. 10YR7/8 黄褐色土 SCL 粘性なし しまりあり
2. 10YR2/1 暗褐色土 SCL 粘性ややあり しまりあり
3. 10YR2/1 暗褐色土 SCL 粘性ややあり しまりあり
4. 10YR2/1 暗褐色土 SCL 粘性ややあり しまりあり
5. 10YR2/1 暗褐色土 SCL 粘性ややあり しまりあり
6. 10YR2/1 暗褐色土 SCL 粘性ややあり しまりあり
7. 10YR2/1 暗褐色土 SCL 粘性ややあり しまりあり
8. 10YR2/1 暗褐色土 SCL 粘性ややあり しまりあり
9. 10YR2/1 暗褐色土 SCL 粘性ややあり しまりあり

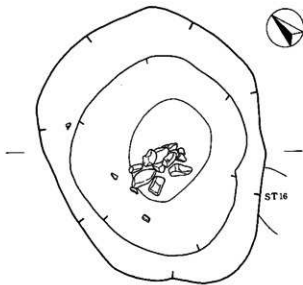


SK 41



SK 42

第31図 SK 33~38, 41, 42

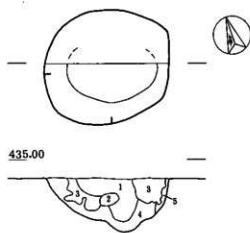


434.50



SK 39

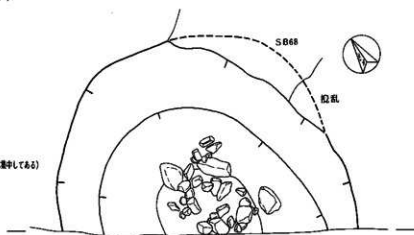
1. 10YR5/6 黄褐色土 SCL 粘性なし しまりあり 炭化米・炭化物あり
 2. 10YR3/3 赤褐色土 SCL 粘性なし しまりあり 炭化物あり
 3. 10YR4/6 褐色土 SCL 粘性なし しまりあり 炭化物少あり
 4. 10YR4/4 褐色土 SCL 粘性ややあり しまりあり 炭化物少あり
 5. 10YR3/1 黒褐色土 SCL 粘性ややあり しまりあり
 6. 10YR2/3 暗褐色土 SCL 粘性ややあり しまりあり 炭化物少なかり (炭化米・木炭中してある)
 7. 10YR1/4 暗褐色土 SCL 粘性なし しまりあり
- ▲ 炭化米



435.00

SK 43

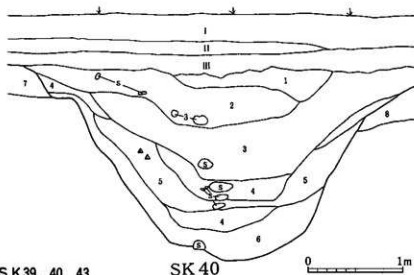
1. 10YR3/2 黒褐色土 SCL 粘性なし しまりあり
2. 10YR3/1 黒褐色土 SCL 粘性なし しまりあり
3. 10YR2/3 暗褐色土 SCL 粘性なし しまりあり
4. 10YR4/4 褐色土 SCL 粘性なし しまりあり
5. 10YR5/6 黄褐色土 SCL 粘性なし しまりあり



435.50

崩壊外

- I. 10YR4/1 暗灰褐色土(砂土)
 - II. 10YR3/2 黒褐色土
 - III. 10YR4/3 ぶい・黄褐色砂質土(未編水)
 1. 10YR4/3 ぶい・黄色土
 2. 10YR4/3 ぶい・黄色土、黒色(10YR1.7/1)混り
 3. 10YR4/4 褐色砂質土
 4. 10YR3/4 暗褐色土
 5. 10YR2/3 黒褐色土
 6. 10YR2/2 黒褐色土
 7. 10YR4/6 褐色土
 8. 10YR3/3 暗褐色土 (S B68 覆土)
- ▲ 炭化米

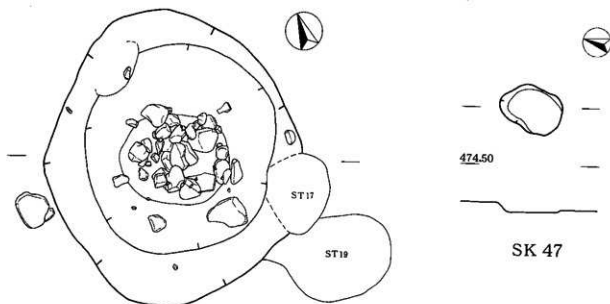


第32図 SK 39, 40, 43

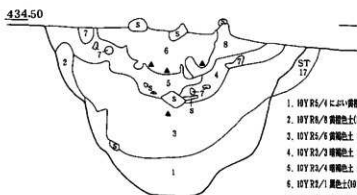
SK 40

0 1m

第32図 SK 39, 40, 43

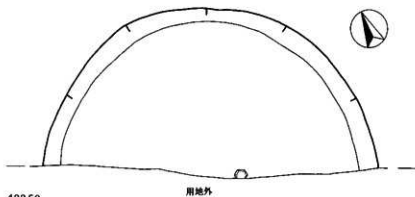


SK 47



SK 44

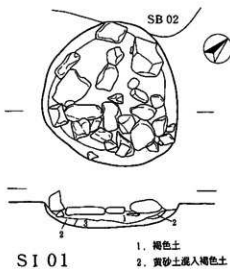
1. 10Y R5/4 におひ黄褐色土 S.L. 粘性ややあり しまりなし (炭化米、薄紙葉片出土)
 2. 10Y R6/8 黄褐色土 (10Y R5/8 黄褐色土に多少混じる) S.L. 粘性なし しまりあり
 3. 10Y R5/8 黄褐色土 S.L. 粘性ややあり しまりあり (炭化米少々出土) 10Y R2/1 黒色土がブロック状に入る
 4. 10Y R2/1 暗褐色土 S.L. 粘性なし しまりあり
 5. 10Y R2/4 暗褐色土 S.L. 粘性なし しまりあり
 6. 10Y R2/1 黒色土 (10Y R2/3 暗褐色土に多少混じる) 炭化物(木)点状する S.L. 粘性なし しまりあり
 7. 10Y R2/1 黒色土 S.L. 粘性なし しまりあり 基本的には6層と同層のもので、炭化物が少々混じる、4層、6層にブロック状に入る
 8. 10Y R2/1 黒褐色土 S.L. 粘性なし しまりあり 炭化物少々混じる
- ▲ 炭化米



SK 45

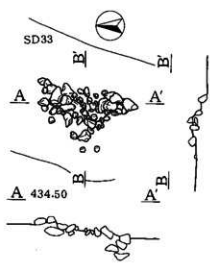
1. におひ黄褐色土 S.L. (砂粒多し)
2. 黒褐色土 S.L. (砂多し)
3. 暗褐色土 S.L. (砂粒多し)
4. 黒褐色土 S.L.
5. 青灰色土 S.L. (粘性がある)
6. 暗褐色土 S.L. (粒の小さい砂)
7. 黒褐色土 S.L. (黄 S.L. 混)
8. 暗褐色土 S.L. (黒 S.L. と黄 S.L. の混色)
9. 黄褐色土 S.L.
10. 黄褐色土 S.L. (ブロック)

第33図 SK 44, 45, 47

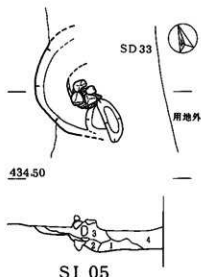


SI 01

1. 褐色土
2. 黄砂土混入褐色土
3. 黄砂土

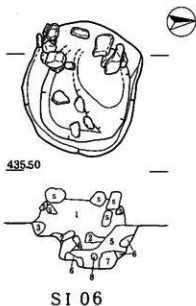


SI 04



SI 05

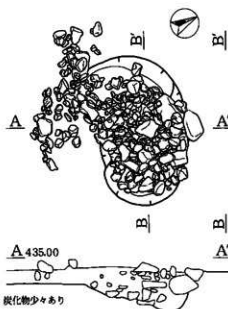
1. 10YR 7/6 明黄褐色土 SCL 粘性なし しまりあり
2. 10YR 8/8 黄褐色土 SCL 粘性なし しまりあり
3. 10YR 4/2 灰黄褐色土 SCL 粘性ややあり しまりあり
4. 10YR 3/2 黒褐色土 SCL 粘性ややあり しまりあり



SI 06

1. 10YR 4/3 におい黄褐色土 SCL 粘性なし しまりあり 炭化物少々あり (花崗岩性多く含む)
2. 10YR 7/8 黄褐色土 SCL 粘性なし しまりあり 炭化物少々あり
3. 10YR 4/2 灰黄褐色土 SCL 粘性なし しまりあり 炭化物少々あり
4. 10YR 8/8 黄褐色土 SCL 粘性なし しまりあり
5. 10YR 3/2 黒褐色土 SCL 粘性なし しまりあり 炭化物少々あり (10YR 7/8 黄褐色土10%混じる)
6. 10YR 6/8 明黄褐色土 SCL 粘性なし しまりあり 炭化物少々あり
7. 10YR 5/4 におい黄褐色土 SCL 粘性ややあり しまりあり 炭化物少々あり
8. 10YR 5/6 黄褐色土 SCL 粘性なし しまりあり

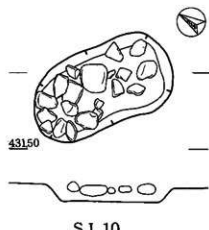
SI 07



SI 08

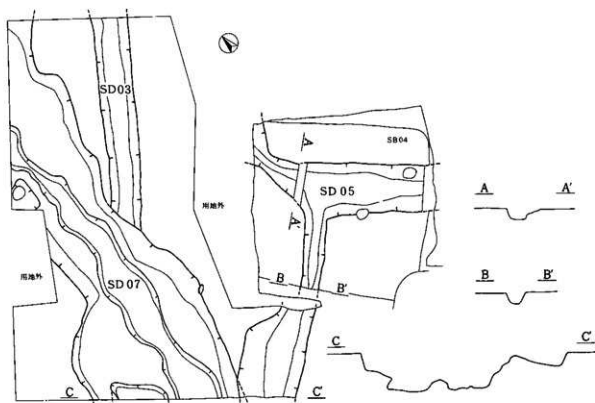


SI 09

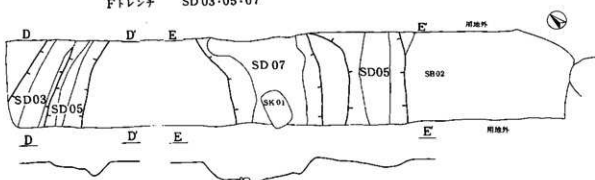


SI 10

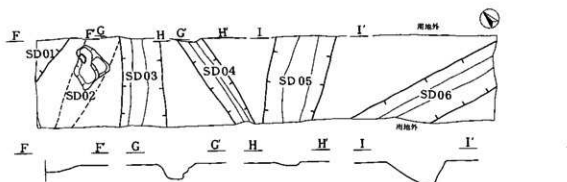
第34図 S 101. 04~10



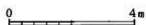
Fトレンチ SD 03-05-07



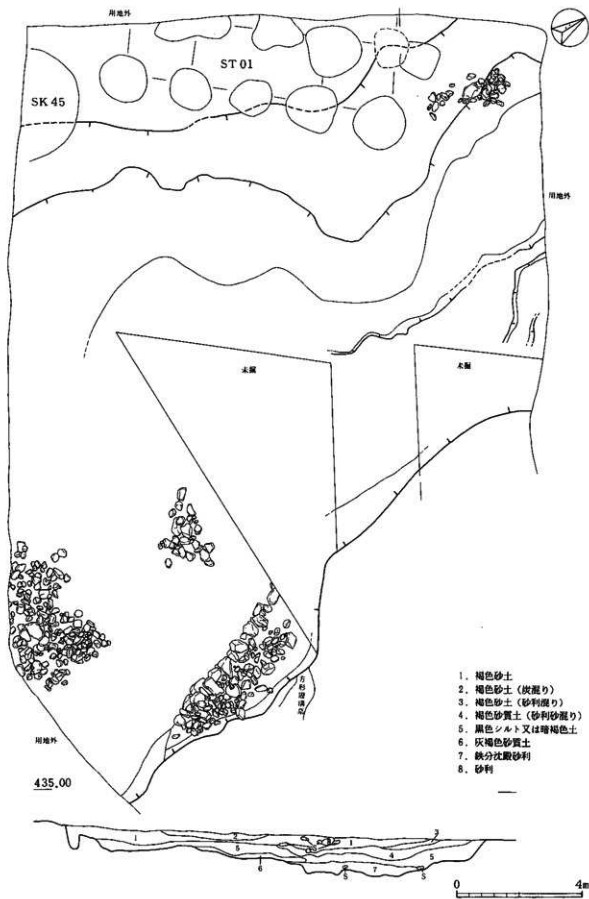
Aトレンチ SD 03-05-07



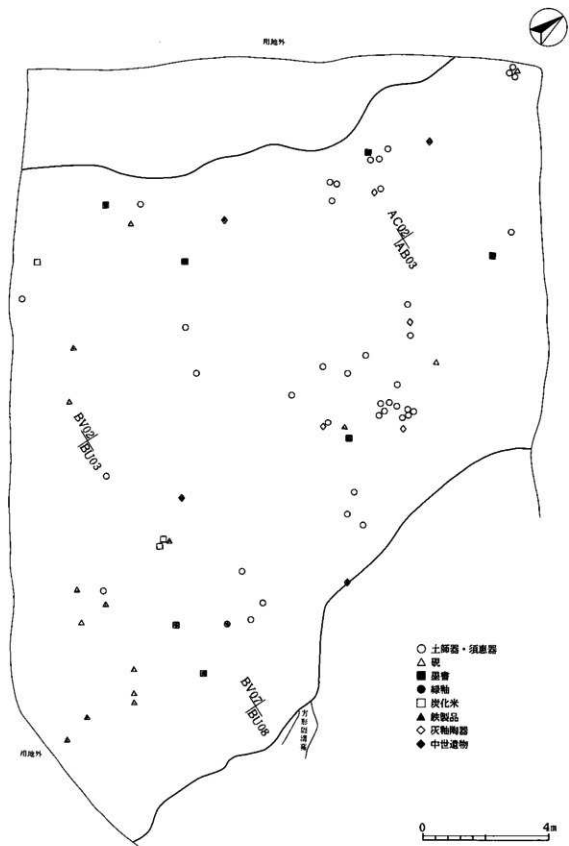
Kトレンチ SD 01-02-03-04-05



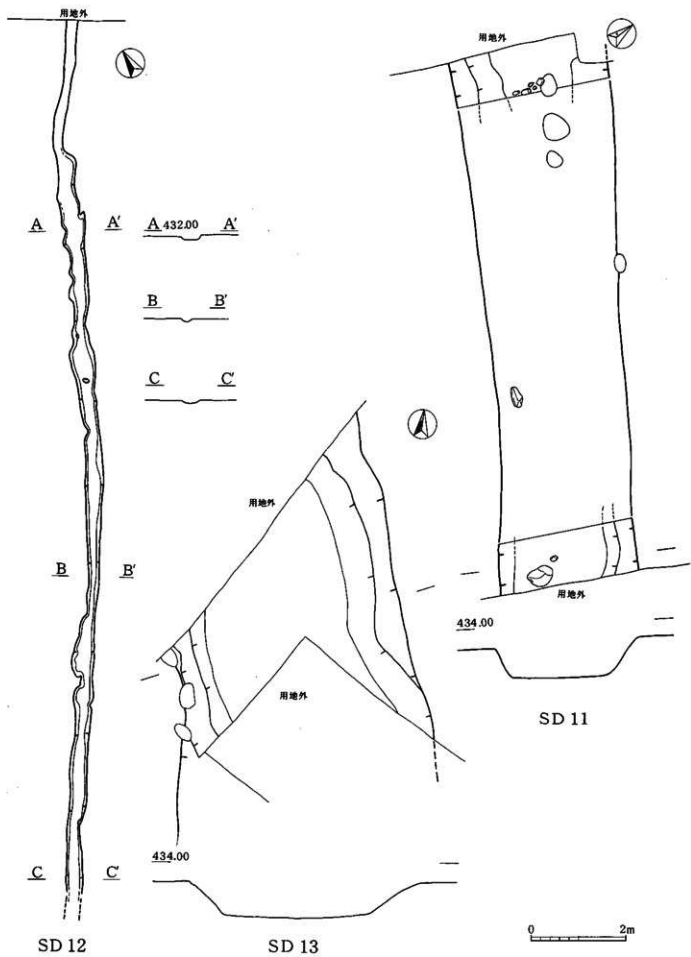
第35図 SD01. 02. 03. 04. 05. 07



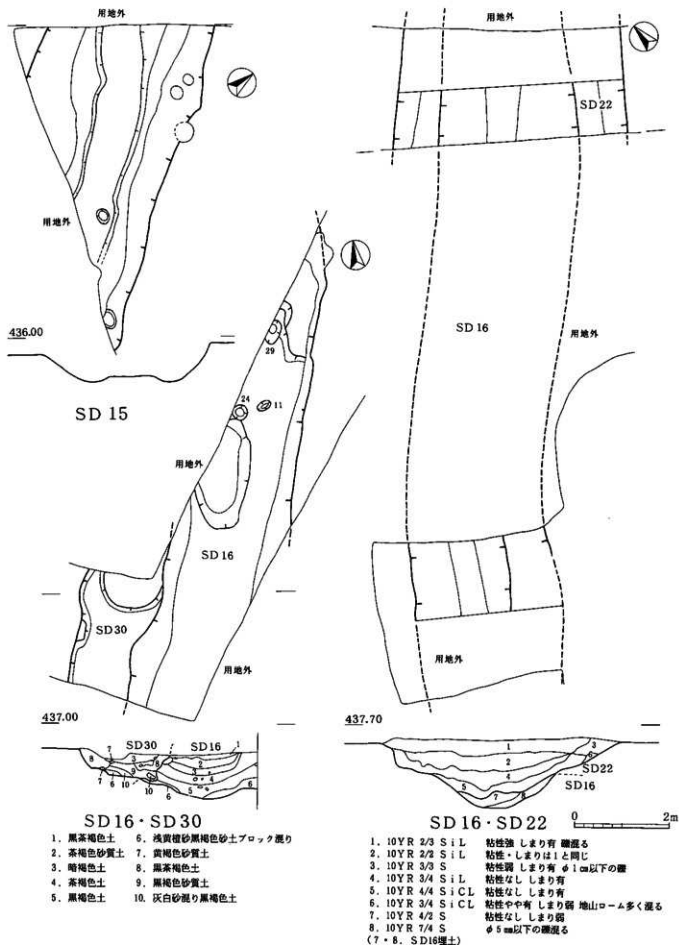
第36図 SD10



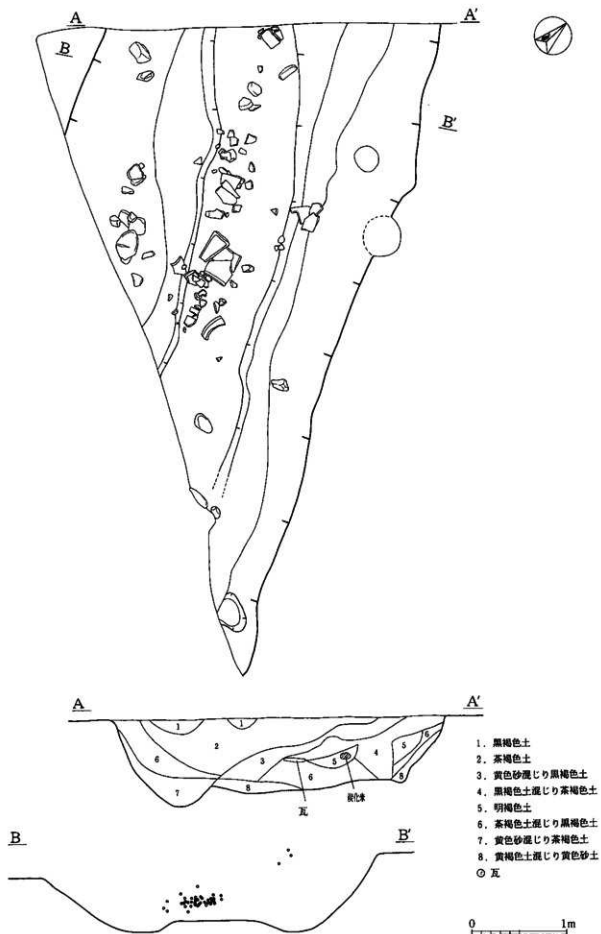
第37図 S D 10 遺物分布図



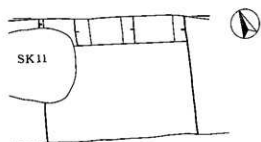
第38圖 SD 11, 12, 13



第39図 SD 15, 16, 22, 30

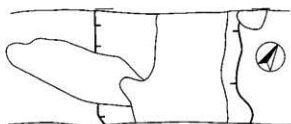


第40図 SD15 遺物 (瓦) 分布図



437.00

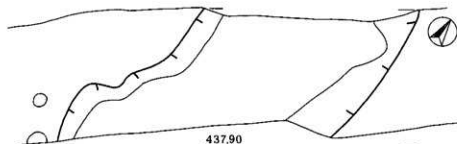
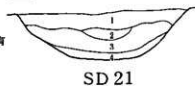
SD 17



437.80

SD 21

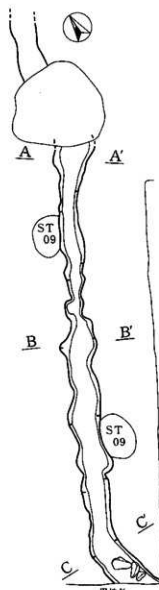
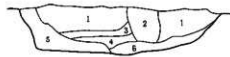
1. 10YR 5/6 黄褐色土 SiL
2. 10YR 5/2 灰黄褐色土 SiL
φ1cm位の粘土ブロック入る 粘性やや有
3. 10YR 2/1 黒色土 SiL
少量の炭化物混る 粘性やや有
4. 10YR 6/6 明黄褐色土 SL
大型の礫混る



437.90

SD 20

1. 10YR 7/4 におい黄褐色土 LS
2. 10YR 8/1 灰白色土 S
3. 10YR 7/6 明黄褐色土 S
4. 10YR 6/4 におい黄褐色土 LS
5. 10YR 3/1 黒褐色土 SL
φ5cm位の礫混入
6. 10YR 2/1 黒色土 SL



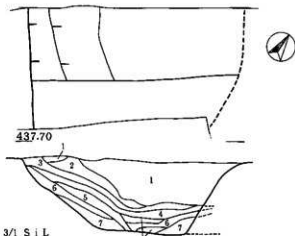
SD 32

A 434.00 A'

B B'

C C'

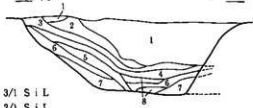
1. 10YR 4/4 S
部分的に
(10YR 5/2 S
10YR 3/3 S
混る)
2. 10YR 4/4 SiL
φ5cmほどの礫多く含む
3. 10YR 1.7/1 SiL
4. 10YR 3/1 SiL
5. 10YR 2/1 SiL
炭化物混入
6. 10YR 3/1 SiC
7. 10YR 3/4 SiCL
8. 10YR 4/4 S



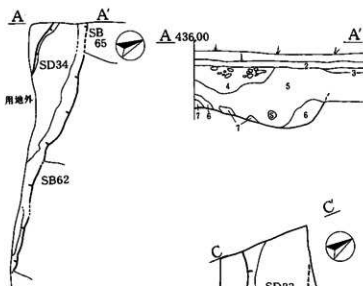
437.70

SD 24

0 2m



第41図 SD17, 20, 21, 24, 32



1. 粘土
2. 10YR 4/6 褐色土 (洪水堆積層)
3. 10YR 4/2 灰黄褐色土 SCL
粘性なししまりあり
4. 10YR 3/2 黒褐色土 SCL
粘性なししまりあり 礫石あり
5. 10YR 3/3 暗褐色土 SCL
粘性なししまりあり 炭化物あり
6. 10YR 4/6 褐色土 SCL
粘性なししまりあり
7. 10YR 7/8 黄褐色土 SCL
粘性なししまりあり



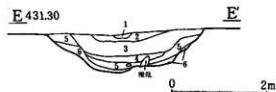
1. 10YR 4/4 褐色土 SL
2. 10YR 3/2 黒褐色土 SL
3. 10YR 2/1 黒土 SL
4. 10YR 2/1 黒土 SL (10YR 5/6 明褐色土 S L部)



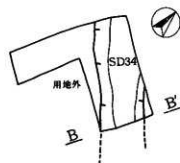
1. 10YR 2/3 黒褐色砂質土
2. 10YR 7/4 におい黄褐色砂礫土
3. 10YR 1.7/1 黒色砂質土
4. 10YR 4/4 褐色砂質土



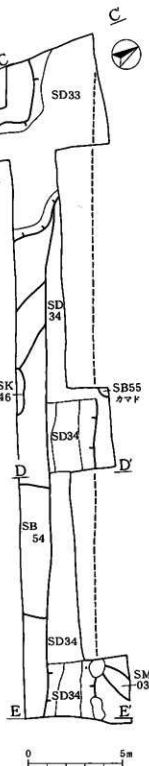
1. 10YR 4/4 褐色砂質土
2. 10YR 5/3 におい黄褐色砂土
3. 10YR 5/3 におい黄褐色砂土
4. 10YR 7/6 泥
5. 10YR 4/6 3/3混 褐色砂土



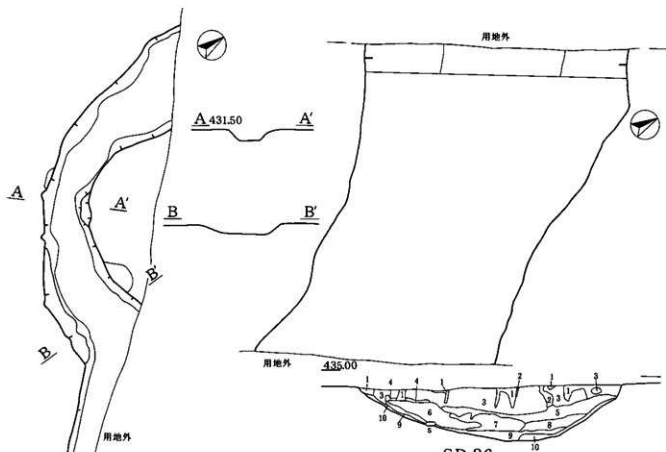
1. 10YR 7/4 におい黄褐色砂礫土
2. 10YR 1.7/1 黒色砂質土
3. 10YR 4/4 褐色砂質土
4. 10YR 4/6 褐色砂質土
5. 10YR 3/2 黒褐色砂質土
6. 5層泥 明黄褐色砂土 (地山)



SD 34

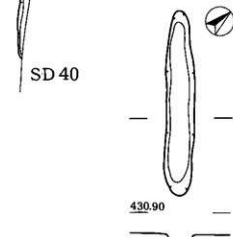


第42図 SD34

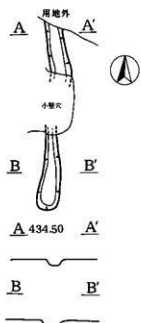


SD 36

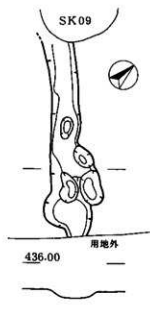
- | | | |
|-------------------------|------|-------|
| 1. 10YR 3/3 暗褐色土 SiC | 粘性なし | しまりなし |
| 2. 10YR 4/3 におい黄褐色土 SiC | 粘性なし | しまりなし |
| 3. 10YR 6/6 暗黄褐色土 S | 粘性なし | しまりなし |
| 4. 10YR 4/3 におい黄褐色土 S | 粘性なし | しまりなし |
| 5. 10YR 3/2 黒褐色土 S | 粘性なし | しまりなし |
| 6. 10YR 2/2 黒褐色土 S | 粘性なし | しまりなし |
| 7. 10YR 5/4 におい黄褐色土 S | 粘性なし | しまりなし |
| 8. 10YR 3/3 暗褐色土 S | 粘性なし | しまりなし |
| 9. 10YR 4/3 におい黄褐色土 S | 粘性なし | しまりなし |
| 10. 10YR 4/4 褐色土 S | 粘性なし | しまりなし |



SD 40



SD 41

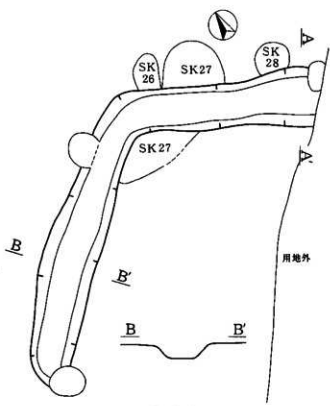


SD 42

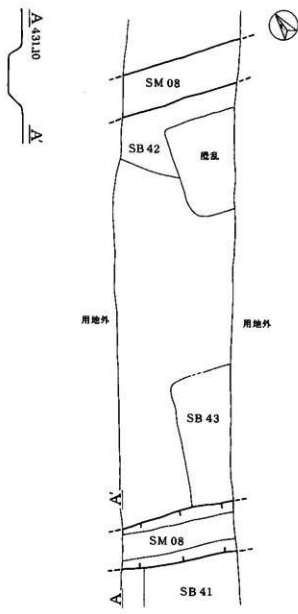


SD 35

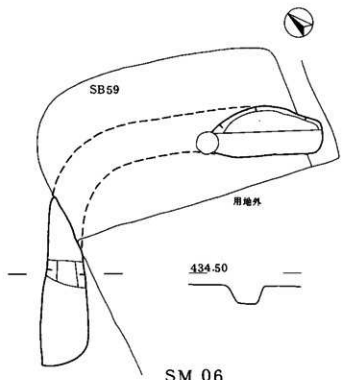
第43図 S D35, 36, 40, 41, 42



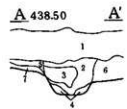
SM 05



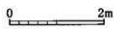
SM 08



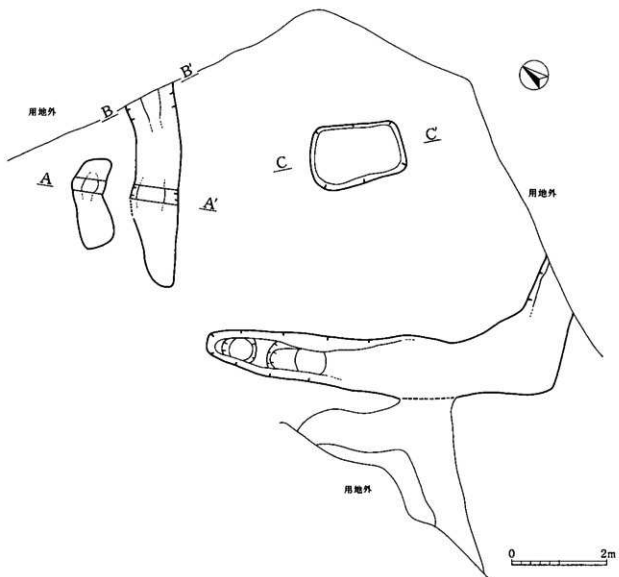
SM 06



1. 擾乱・粘土・礫山
2. 10YR 3/4 S i L 粘性なししまり弱い
3. 10YR 2/1 S i L 粘性なししまり弱い
4. 10YR 4/2 S 粘性なししまり弱い
5. 10YR 3/1 S i L 粘性なししまり弱い
6. 10YR 4/2 S i C L 粘性なししまりやや有り
7. 10YR 5/4 S i L ϕ 3mm程度の礫を含む



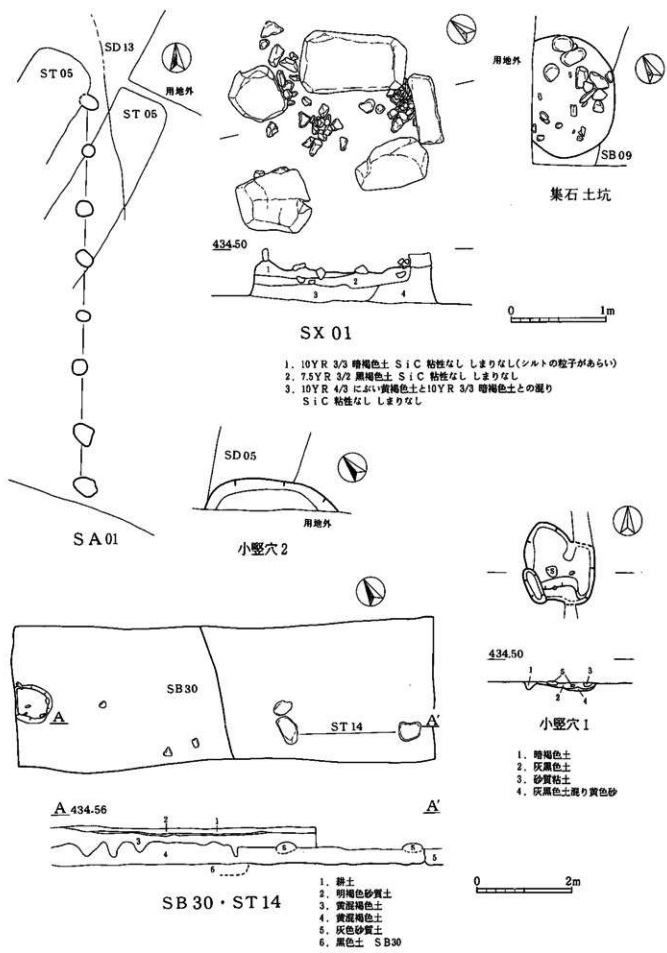
第44図 SM05, 06, 08



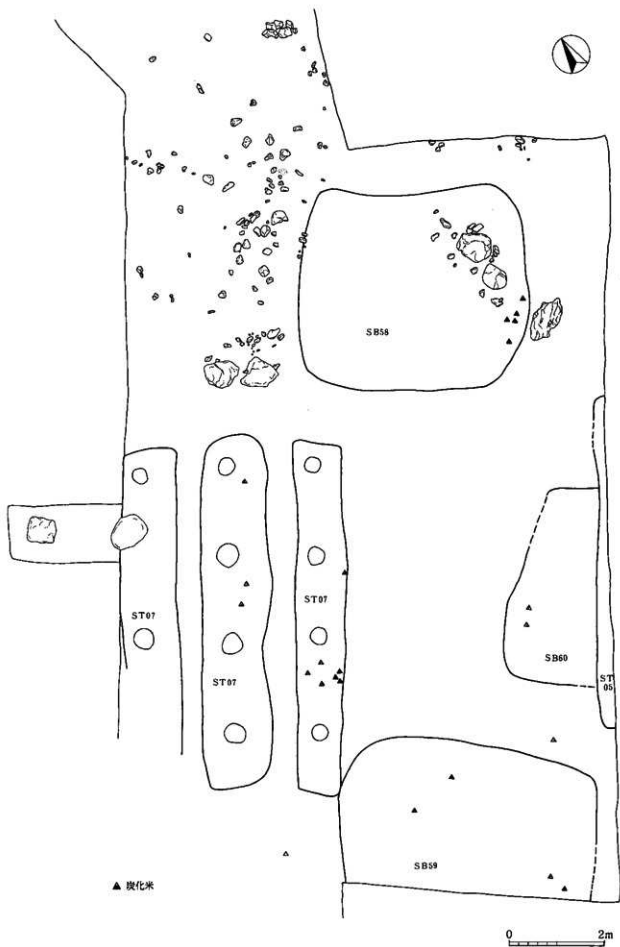
1. 濃黒色土
2. 褐色土
(濃黒色土、ブロック覆り)
3. 暗褐色土
(濃黒色土、黄色土ブロック覆り)
4. 灰褐色土

1. 茶褐色土
2. 黄色土覆り茶褐色土
3. 黄色土

第45図 SM07



第46図 SA01. SX01 集石土坑. 小壜穴 1, 2. SB30. ST14



第47図 炭化米分布、石配置図

写真図版

新屋敷地籍 (ARY)

薬師垣外地籍 (YKS)



恒川遺跡群



ARY 4762

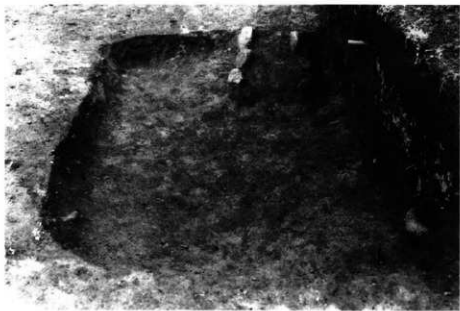


ARY 4946

S B 61 · 64



S B 62



S B 168





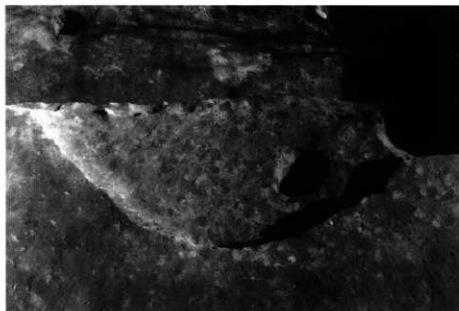
S B 169



S B 169 カマド



S B 170



S B 171



S B 172



S B 180



S T 23



S T 65



S T 62



S K 28 · 29



S I 11



S I 11



小鑿穴14



S I 13



小鑿穴16



S D09 (4767-8)



S D09 (4824-2)



S D09 (4824-2)



YKS 4687



YKS 4733



YKS 4746-1



YKS 4745-4



YKS 4693-1



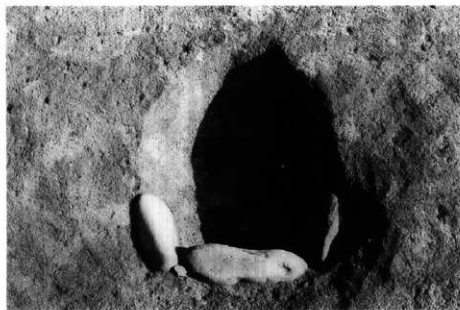
YKS 4755



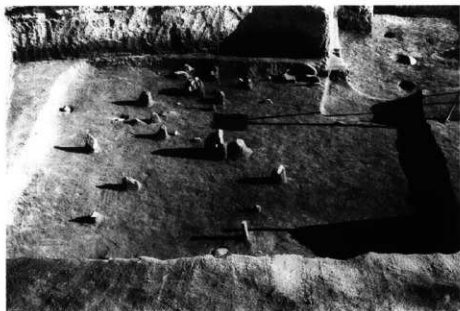
S B 01



S B 02



S B 02 炉



SB04



SB05



SB08



S B08



S B08 カマド

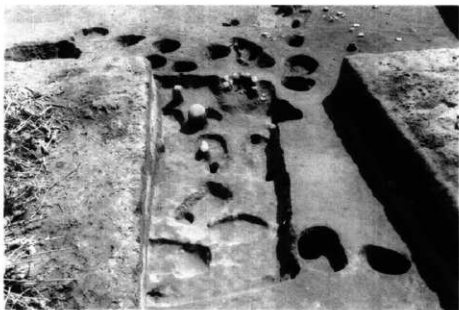


S B09

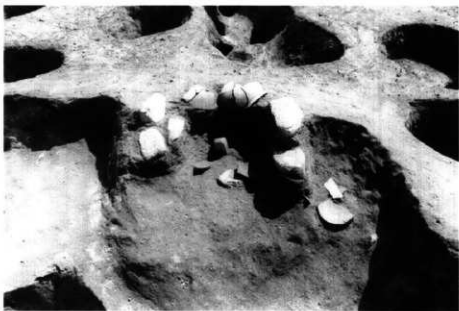
SB10



SB12



SB12 カマド

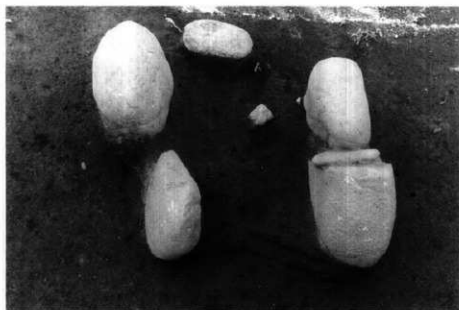




S B 15



S B 15 カマド



S B 16



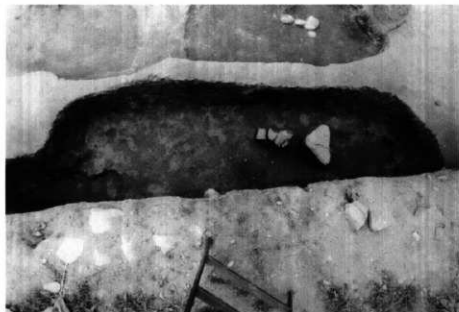
SB17 カマド



SB21



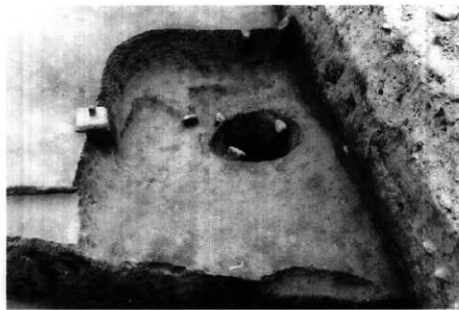
SB22



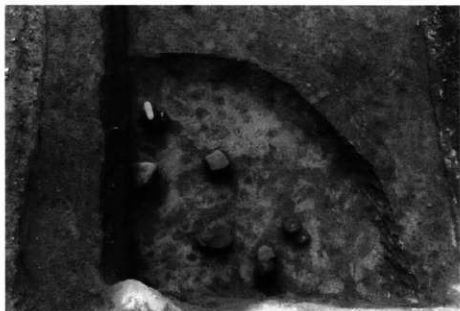
S B 23



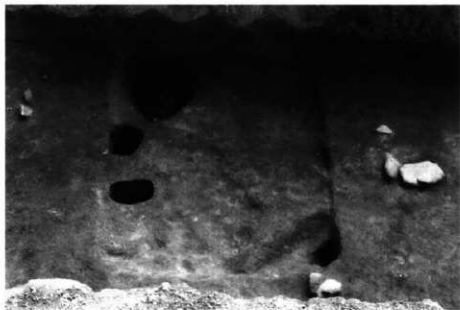
S B 24



S B 25



S B33



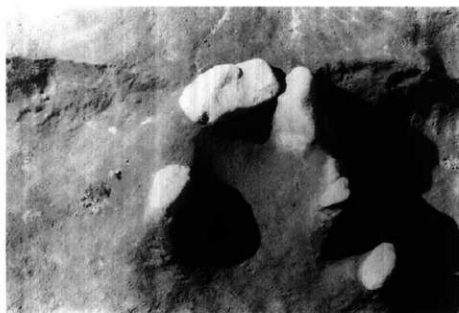
S B35



S B36



S B 37



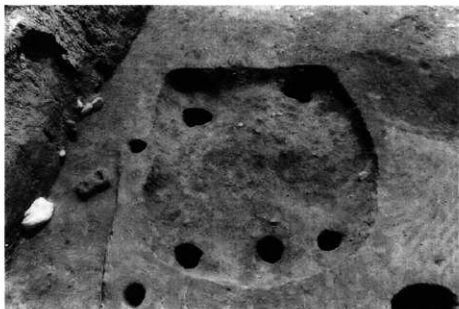
S B 37 カマド



S B 45



S B46



S B46



S B47



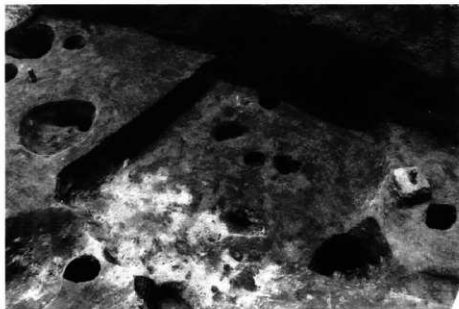
S B 49



S B 49 カマド



S B 51



S B 52



S B 53



S B 56



S B 57



S B 62



S B 68

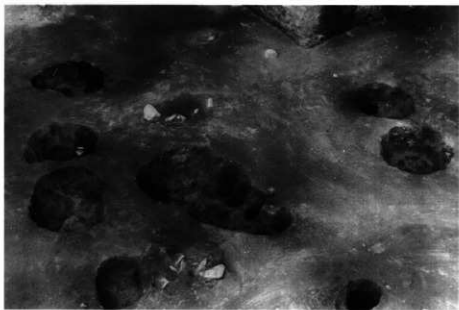
S T 01・24 (4753)

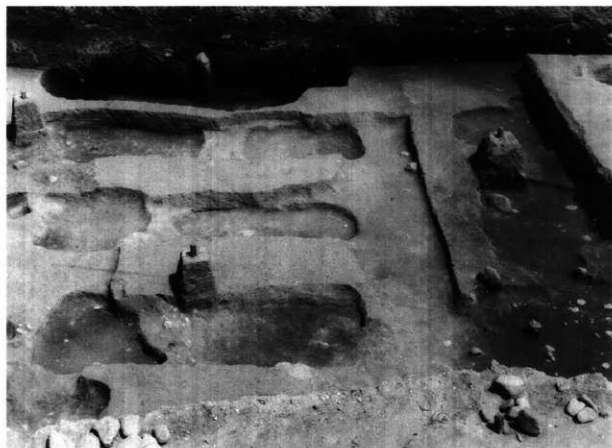


S T 01 (4758)



S T 02





S T 03



S T 03



S T 05



S T 05



S T 06



S T 05 (奥) ・ S T 06 (手前)



S T 07



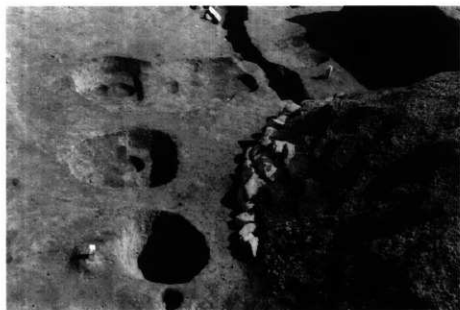
S T 07



S T 07



S T 08



S T 09



S T 10



S T 11 礎石



S T 11 礎石



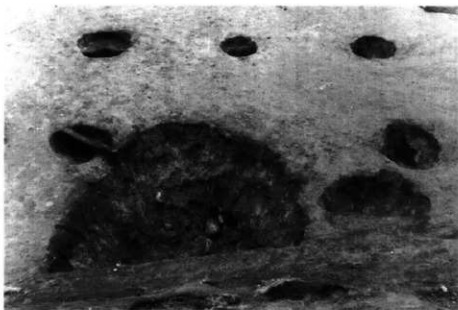
S T 11



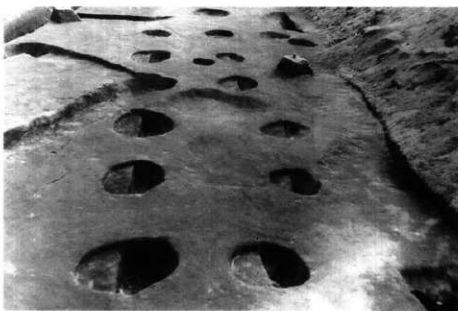
S T 12



S T 13



S T 16



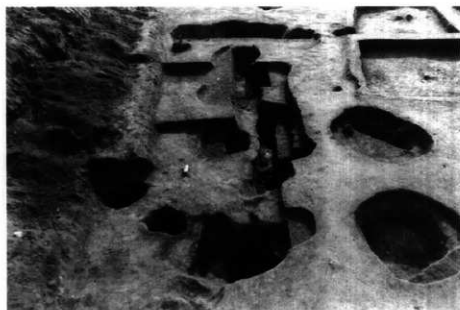
S T 17



ST18・19・SK44



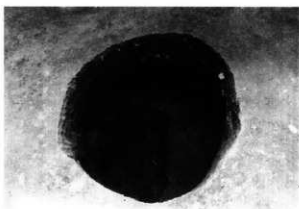
ST20



ST22・23・SB64



S K 01



S K 04



S K 02



S K 07



S K 02



S K 09



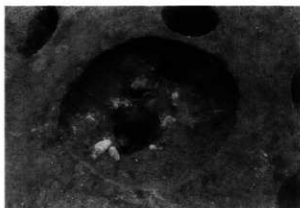
S K 03



S K 14



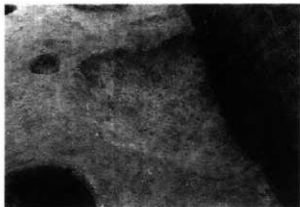
S K 15



S K 34



S K 16



S K 35



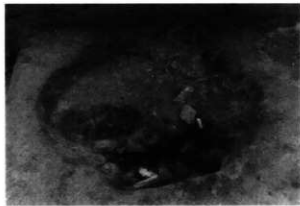
S K 23



S K 36



S K 33



S K 37



S K 38



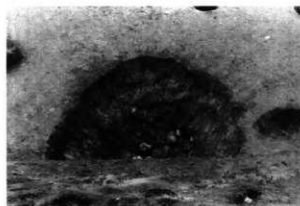
S K 41



S K 38



S K 42



S K 39



S K 44



S K 40



S K 45



S 101



S 107



S 104



S 108



S 105



S 109



S 106



S 110



Fトレンチ
S D03・07

Fトレンチ
S B04・S D05



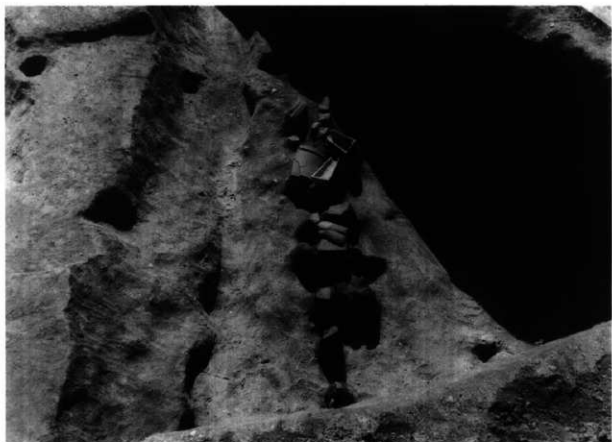
Kトレンチ S D01~04



Aトレンチ
S B02・S D05・07・S I 01



S D 10



S D 15



S D 15 瓦出土状況



S D 15



S D 16



S D 17



S D 20



S D21



S D24



S D32



S D33



S D40



S D34